

法学部に在籍する学生に対する法曹志望に関するアンケート調査結果

法 務 省
文部科学省

1. 目的・趣旨

法学部(法学系課程を含む。以下「法学部」という。)に在籍する学生を対象に志望動向等に関する意識調査を実施し、調査を通じて得たデータを収集・分析することによって、法曹志望者の減少に関する要因等を把握し、今後の施策の検討に活用することを目的とする。

2. 調査方法等

(1) 調査方法

ウェブアンケート

(2) 調査実施期間

令和4年度調査: 令和4年9月30日(金)～令和4年10月31日(月)

(3) 対象範囲

下記大学の法学部に在籍する学生

(4) 対象大学・回答数等(平成29年度以降の各調査を含む)

平成29年度調査から令和元年度調査は、調査翌年度以降、学生の募集を継続する法科大学院を設置する大学のうち法学部を設置している大学が対象

令和4年度調査は、令和4年度以降、入学者の募集を継続する法科大学院を設置する大学及び令和4年度(9月21日時点)において連携法曹基礎課程(法曹コース)を置く大学が対象

(5) 記述統計

記述統計については、学生回答者全体(以下「全学生」という。)を示したものと別に、女性の回答者を抽出したもの(以下「女性」という。)も示している。

	連携 協定	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和3年度			令和4年度		
		対象 者数	回答 数	回答 率	対象 者数	回答 数	回答 率	対象 者数	回答 数	回答 率	対象 者数	回答 数	回答 率	対象 者数	回答 数	回答 率
北海道大学		879	142	16.2%	879	82	9.3%	672	73	10.9%	902	143	15.9%	871	63	7.2%
東北大学		734	87	11.9%	734	66	9.0%	714	108	15.1%	702	159	22.6%	696	151	21.7%
筑波大学		253	10	4.0%	253	36	14.2%	211	6	2.8%	49	6	12.2%	57	5	8.8%
千葉大学		852	105	12.3%	852	159	18.7%	817	145	17.7%	829	87	10.5%	822	102	12.4%
東京大学		1,799	458	25.5%	1799	278	15.5%	1795	237	13.2%	1,803	247	13.7%	1,806	78	4.3%
一橋大学		796	158	19.8%	796	97	12.2%	772	69	8.9%	758	119	15.7%	754	94	12.5%
新潟大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	787	136	17.3%	757	158	20.9%
金沢大学		725	249	34.3%	725	226	31.2%	731	314	43.0%	717	158	22.0%	693	194	28.0%
信州大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	345	50	14.5%	345	58	16.8%
名古屋大学		680	94	13.8%	680	40	5.9%	694	74	10.7%	683	54	7.9%	647	66	10.2%
京都大学		1,506	292	19.4%	1506	235	15.6%	1459	198	13.6%	1,455	57	3.9%	1,436	27	1.9%
大阪大学		1,089	80	7.3%	707	66	9.3%	1077	120	11.1%	1,084	146	13.5%	1,085	127	11.7%
神戸大学		814	88	10.8%	814	130	16.0%	825	89	10.8%	822	30	3.6%	800	26	3.3%
岡山大学		984	380	38.6%	984	208	21.1%	964	270	28.0%	991	121	12.2%	972	231	23.8%
広島大学		815	201	24.7%	815	159	19.5%	795	232	29.2%	771	184	23.9%	770	136	17.7%
九州大学		854	69	8.1%	854	60	7.0%	834	82	9.8%	815	59	7.2%	818	89	10.9%
熊本大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	900	73	8.1%	889	226	25.4%
鹿児島大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,795	44	2.5%	1,049	24	2.3%
琉球大学		240	68	28.3%	240	35	14.6%	246	32	13.0%	322	9	2.8%	332	13	3.9%
東京都立大学		868	101	11.6%	868	91	10.5%	867	35	4.0%	862	64	7.4%	874	42	4.8%
大阪市立大学		707	44	6.2%	1089	27	2.5%	716	70	9.8%	702	57	8.1%	717	31	4.3%
北海学園大学	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,938	172	8.9%	1,956	41	2.1%
学習院大学		2,095	161	7.7%	2095	89	4.2%	2058	114	5.5%	1,985	190	9.6%	1,980	195	9.8%
慶應義塾大学		5,284	68	1.3%	5284	34	0.6%	5148	118	2.3%	5,252	308	5.9%	5,165	124	2.4%
駒澤大学		3,009	165	5.5%	3009	114	3.8%	2988	101	3.4%	2,833	133	4.7%	2,794	110	3.9%
上智大学		1,452	44	3.0%	1452	289	19.9%	1424	242	17.0%	1,413	194	13.7%	1,401	34	2.4%
専修大学		3,452	45	1.3%	3452	66	1.9%	3190	1	0.0%	3,025	100	3.3%	3,016	63	2.1%

創価大学		1,162	109	9.4%	1162	328	28.2%	1096	406	37.0%	1,084	138	12.7%	1,010	28	2.8%
中央大学		6,041	560	9.3%	6041	611	10.1%	5818	523	9.0%	5,794	128	2.2%	5,563	196	3.5%
日本大学		6,763	1,166	17.2%	6763	464	6.9%	6864	442	6.4%	7,326	1,151	15.7%	7,379	306	4.1%
法政大学		3,835	378	9.9%	3835	220	5.7%	3728	315	8.4%	3,431	197	5.7%	3,441	236	6.9%
明治大学		3,766	149	4.0%	3766	141	3.7%	3662	79	2.2%	3,691	170	4.6%	3,717	184	5.0%
明治学院大学	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,557	381	14.9%	2,586	620	24.0%
立教大学	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,423	156	6.4%	2,420	114	4.7%
早稲田大学		3,460	353	10.2%	3460	430	12.4%	3062	276	9.0%	3,152	198	6.3%	3,160	301	9.5%
愛知大学		1,524	276	18.1%	1524	286	18.8%	1466	2	0.1%	1,475	52	3.5%	1,522	28	1.8%
南山大学		1,269	180	14.2%	1269	207	16.3%	1164	188	16.2%	1,116	225	20.2%	1,109	172	15.5%
同志社大学		3,472	168	4.8%	3472	211	6.1%	3700	95	2.6%	2,604	168	6.5%	3,499	169	4.8%
立命館大学		3,469	625	18.0%	3469	595	17.2%	3024	537	17.8%	2,920	150	5.1%	2,963	291	9.8%
関西大学		3,269	33	1.0%	3269	36	1.1%	3109	23	0.7%	2,943	196	6.7%	3,035	309	10.2%
近畿大学		2,834	1,156	40.8%	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関西学院大学		2,938	367	12.5%	2938	323	11.0%	2888	32	1.1%	2,800	213	7.6%	2,848	294	10.3%
甲南大学		1,674	55	3.3%	1674	34	2.0%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西南学院大学	○	1,721	554	32.2%	—	—	—	—	—	—	1,727	87	5.0%	1,676	212	12.6%
福岡大学		2,717	420	15.5%	2717	266	9.8%	2654	166	6.3%	2,555	201	7.9%	2,541	146	5.7%
計	8	79,801	9,658	12.1%	75,246	6,739	9.0%	71,232	5,814	8.2%	82,138	6,911	8.4%	81,971	6,114	7.5%

目次

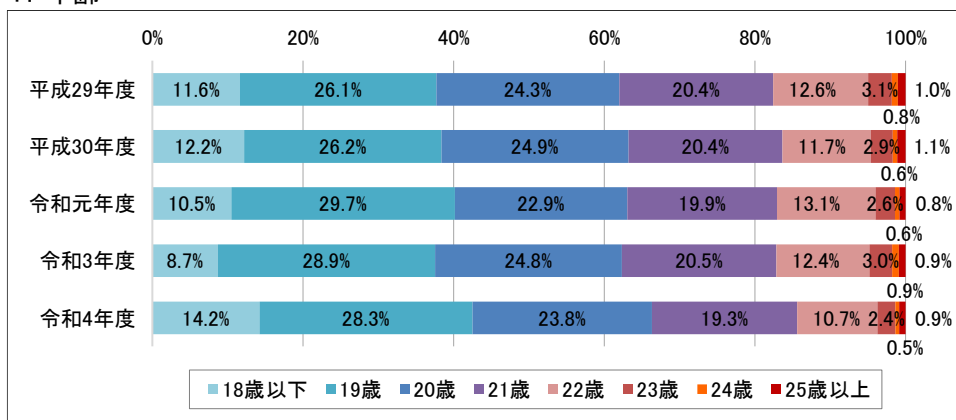
第1 回答者の属性.....	1
2. 性別.....	1
3. 在籍学年.....	2
第2 法学部選択理由.....	3
第3 進路選択.....	5
1. 法曹等志望の有無.....	5
2. 過去の法曹等志望の有無.....	6
3. 将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験の考慮.....	7
4. 将来の職業志望(第一志望).....	9
5. 職業選択に当たり重視すること.....	12
第4 法曹等志望の時期・進路・契機、法曹等の魅力等.....	18
1. 法曹等を志望した時期.....	18
2. 法曹等を志望したきっかけ.....	20
3. 法曹等の魅力.....	31
4. 法曹等としての進路.....	36
第5 法曹等を志望するに当たっての不安や迷い、法曹等を断念した理由等.....	37
1. 法曹等を志望するに当たっての不安や迷いの有無.....	37
2. 法曹等を志望するに当たって感じている不安や迷いの内容.....	38
3. 不安や迷いを軽減、払拭するためにあったらよいと思うもの.....	43
4. 法曹等を断念した(選択肢から外した)理由.....	44
5. 法曹等を志望しない(選択肢の1つとしても考えない)理由.....	49
6. 法曹等に魅力を感じない理由.....	53
第6 法曹コース(連携法曹基礎課程)・法科大学院への進学希望の有無等.....	55
1. 法曹コースの認知度.....	55
2. 法曹コースへの進学希望.....	57
3. 法曹コースへの進学希望理由.....	58
4. 法曹コースを希望しない理由.....	60
5. 法科大学院への進学予定.....	62
6. 法科大学院選択の際に重視するもの.....	67
7. 予備試験受験予定.....	71
8. 予備試験受験理由.....	72
9. 予備試験に合格した場合の法科大学院進学予定.....	76
10. 予備試験に合格しなかった場合の法科大学院進学予定.....	78
11. 司法試験予備校の利用の有無.....	80
12. 在学中受験の予定.....	83
13. 在学中受験を希望する理由.....	86
14. 在学中受験を希望しない理由.....	88
第7 法曹等の活動領域拡大についての認知度・関心.....	89
1. 法曹等の活動領域拡大についての認知度.....	89
2. 拡大領域への関心の有無.....	92
3. 具体的な関心分野.....	93
資料(調査票).....	95

第1 回答者の属性

回答者の性別については、女性の割合が増加傾向にあり、令和4年度調査は、ほぼ男女同数で、わずかに女性が男性を上回っている。

また、回答者の在籍学年については、1・2年次がおよそ 60%を占めている。

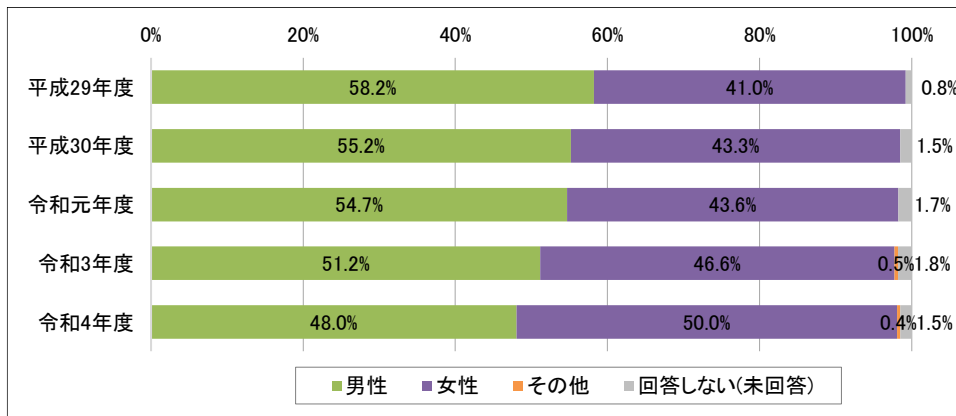
1. 年齢



SA	選択肢	18歳以下	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳以上	回答者数
平成 29 年度	回答数	1,122	2,520	2,345	1,972	1,219	304	77	99	9,658
	割合	11.6%	26.1%	24.3%	20.4%	12.6%	3.1%	0.8%	1.0%	100.0%
平成 30 年度	回答数	821	1,764	1,676	1,376	789	198	40	75	6,739
	割合	12.2%	26.2%	24.9%	20.4%	11.7%	2.9%	0.6%	1.1%	100.0%
令和元年度	回答数	608	1,726	1,332	1,156	759	151	36	46	5,814
	割合	10.5%	29.7%	22.9%	19.9%	13.1%	2.6%	0.6%	0.8%	100.0%
令和3年度	回答数	600	1,994	1,713	1,419	854	207	62	62	6,911
	割合	8.7%	28.9%	24.8%	20.5%	12.4%	3.0%	0.9%	0.9%	100.0%
令和4年度	回答数	868	1,730	1,457	1,178	653	145	31	52	6,114
	割合	14.2%	28.3%	23.8%	19.3%	10.7%	2.4%	0.5%	0.9%	100.0%

※平成 30 年度調査までは9月末日現在、令和元年度調査以降は 10 月末日現在の年齢

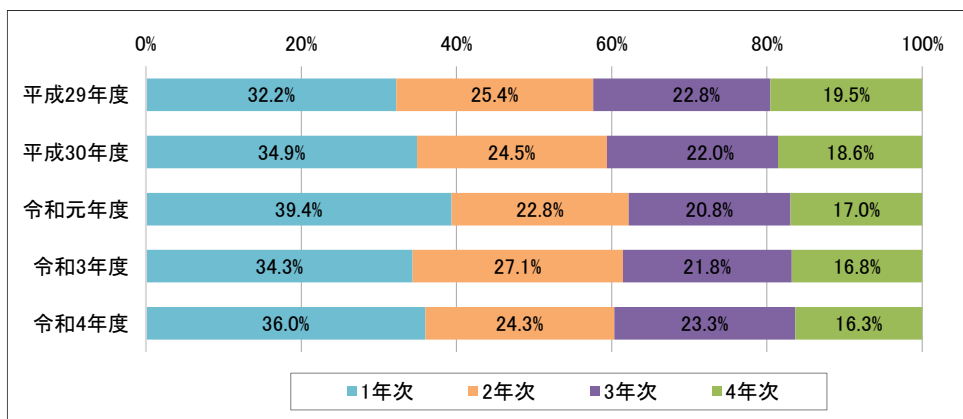
2. 性別



SA	選択肢	男性	女性	その他	回答しない(未回答)	回答者数
平成 29 年度	回答数	5,625	3,957	—	76	9,658
	割合	58.2%	41.0%	—	0.8%	100.0%
平成 30 年度	回答数	3,720	2,919	—	100	6,739
	割合	55.2%	43.3%	—	1.5%	100.0%
令和元年度	回答数	3,180	2,533	—	101	5,814
	割合	54.7%	43.6%	—	1.7%	100.0%
令和3年度	回答数	3,536	3,218	32	125	6,911
	割合	51.2%	46.6%	0.5%	1.8%	100.0%
令和4年度	回答数	2,937	3,059	25	93	6,114
	割合	48.0%	50.0%	0.4%	1.5%	100.0%

※令和3年度調査から、選択肢に「その他」及び「回答しない」を追加

3. 在籍学年



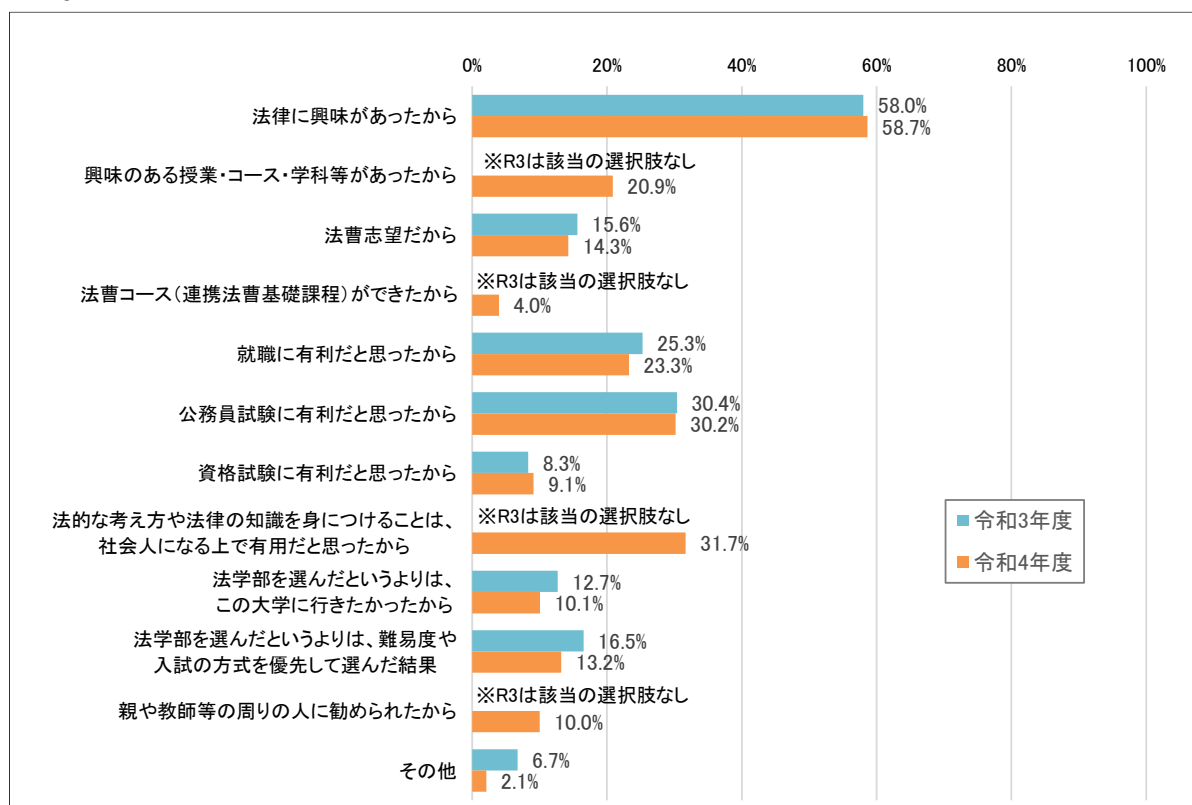
SA	選択肢	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	回答者数
平成 29 年度	回答数	3,114	2,451	2,205	1,888	9,658
	割合	32.2%	25.4%	22.8%	19.5%	100.0%
平成 30 年度	回答数	2,353	1,650	1,485	1,251	6,739
	割合	34.9%	24.5%	22.0%	18.6%	100.0%
令和元年度	回答数	2,288	1,328	1,211	987	5,814
	割合	39.4%	22.8%	20.8%	17.0%	100.0%
令和3年度	回答数	2,373	1,873	1,504	1,161	6,911
	割合	34.3%	27.1%	21.8%	16.8%	100.0%
令和4年度	回答数	2,200	1,488	1,427	999	6,114
	割合	36.0%	24.3%	23.3%	16.3%	100.0%

第2 法学部選択理由

大学進学の際、法学部（法学系課程を含む）を選んだ理由を尋ねた結果、「法律に興味があったから」との回答割合が約 59%と最も高く、「法的な考え方や法律の知識を身につけることは、社会人になる上で有用だと思ったから」（約 32%）、「公務員試験に有利だと思ったから」（約 30%）、「就職に有利だと思ったから」（約 23%）となった。女性に限って見た場合も、各選択肢の回答割合は全体とほぼ同様であった。

なお、「その他」として、令和4年度調査では、「多種多様な考え方を得られると考えたから」、「進路選択の幅が広そうだから」、「オープンキャンパスの講義を聞いて先生に教わりたと思ったから」、「推薦等入試方式の結果・滑り止め等入試の結果」などの回答があった。

ア 全学生



MA	選択肢	法律に興味があったから	興味のある授業・コース・学科等があったから	法曹志望だから	法曹コース（連携法曹基礎課程）ができたから	就職に有利だと思ったから	公務員試験に有利だと思ったから	資格試験に有利だと思ったから	法的な考え方や法律の知識を身につけることは、社会人になる上で有用だと思ったから	法学部を選んだというよりは、この大学に行きたかったから	法学部を選んだというよりは、難易度や入試の 방식을優先して選んだ結果	親や教師等の周りの人に勧められたから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	4,011	-	1,079	-	1,748	2,100	575	-	876	1,142	-	466	6,911
	割合	58.0%	-	15.6%	-	25.3%	30.4%	8.3%	-	12.7%	16.5%	-	6.7%	-
令和4年度	回答数	3,586	1,276	872	243	1,422	1,846	558	1,937	615	808	612	129	6,114
	割合	58.7%	20.9%	14.3%	4.0%	23.3%	30.2%	9.1%	31.7%	10.1%	13.2%	10.0%	2.1%	-

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※2番目の選択肢（興味のある授業・コース・学科等があったから）は令和4年度調査から新たに設けたもの

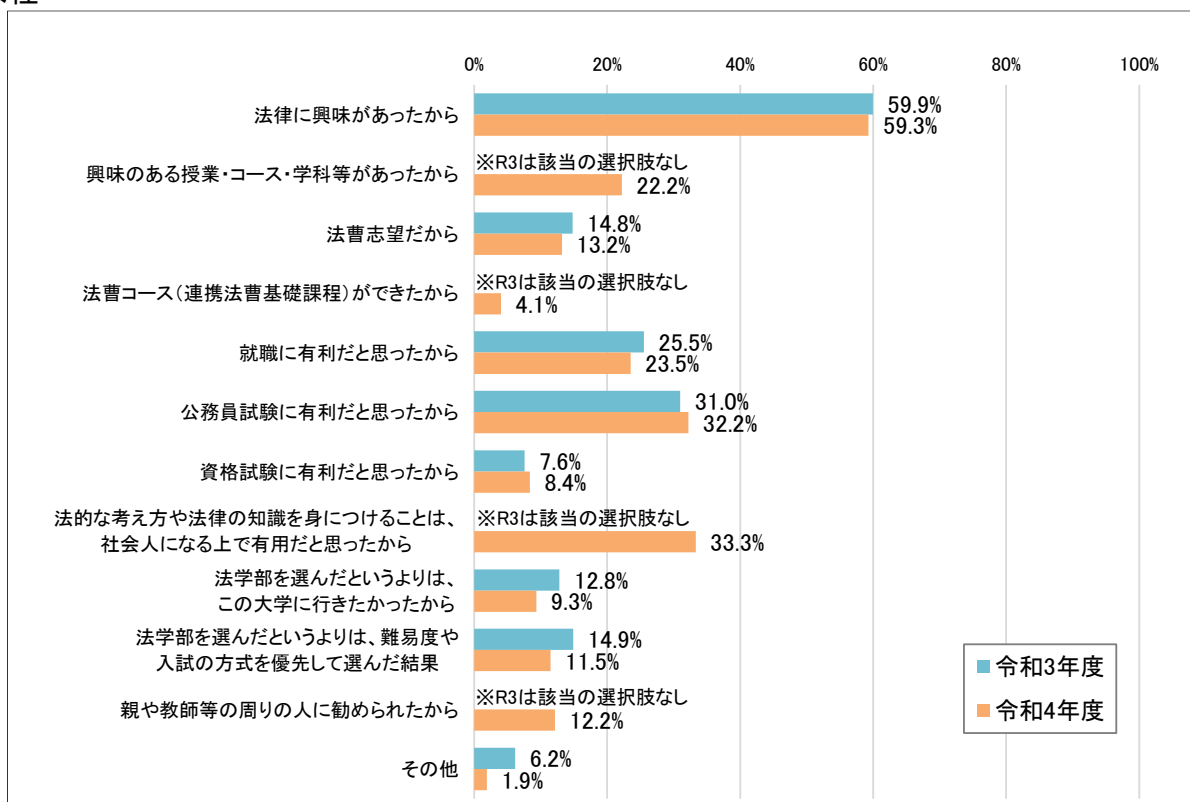
※4番目の選択肢（法曹コースができたから）は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢（法的な考え方や法律の知識を身につけることは、社会人になる上で有用だと思ったから）

は令和4年度調査から新たに設けたもの

※11番目の選択肢（親や教師等の周りの人に勧められたから）は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 女性



MA	選択肢	法律に興味があったから	興味のある授業・コース・学科等があったから	法曹志望だから	法曹コース(連携法曹基礎課程)ができたから	就職に有利だと思ったから	公務員試験に有利だと思ったから	資格試験に有利だと思ったから	法的な考え方や法律の知識を身につけることは、社会人になる上で有用だと思ったから	法学部を選んだというよりは、この大学に行きたかったから	法学部を選んだというよりは、難易度や入試の方式を優先して選んだ結果	親や教師等の周りの人に勧められたから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	1,929	-	477	-	822	997	244	-	413	480	-	199	3,218
令和3年度	割合	59.9%	-	14.8%	-	25.5%	31.0%	7.6%	-	12.8%	14.9%	-	6.2%	-
令和4年度	回答数	1,814	680	404	124	720	986	257	1,019	286	352	372	59	3,059
令和4年度	割合	59.3%	22.2%	13.2%	4.1%	23.5%	32.2%	8.4%	33.3%	9.3%	11.5%	12.2%	1.9%	-

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※2番目の選択肢(興味のある授業・コース・学科等があったから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※4番目の選択肢(法曹コースができたから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(法的な考え方や法律の知識を身につけることは、社会人になる上で有用だと思ったから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※11番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められたから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

第3 進路選択

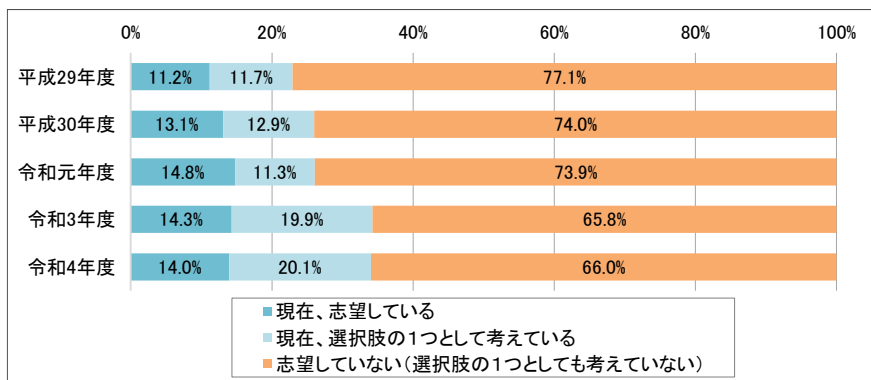
1. 法曹等志望の有無

法曹等※を志望する学生の割合は令和4年度調査で約14%、選択肢の1つとして考えている学生の割合は約20%となっており、令和3年度とほぼ同じ割合となっており、「現在、志望している」と「現在、選択肢の一つとして考えている」の回答割合の合計は、平成29年度から令和元年度までと比べて増加している。

女性に限って見た場合、全体と比べて各回答割合に大きな違いはなく、「現在、志望している」と「現在、選択肢の1つとして考えている」の回答割合の合計もやはり令和3年度とほぼ同じである。

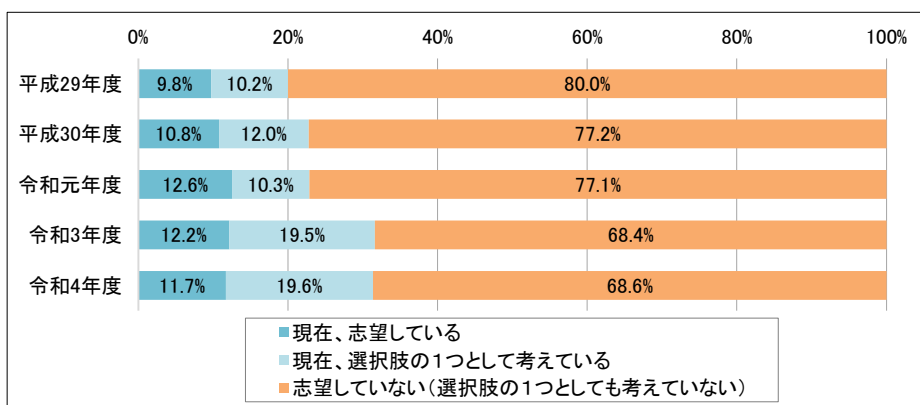
※ 法曹(裁判官、検察官及び弁護士)のみならず、司法試験合格後法曹資格を取得せず活動する場合を含む。以下、同じ。

ア 全学生



SA	選択肢	現在、志望している	現在、選択肢の1つとして考えている	志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)	回答者数
平成29年度	回答数	1,081	1,131	7,446	9,658
	割合	11.2%	11.7%	77.1%	100.0%
平成30年度	回答数	882	869	4,988	6,739
	割合	13.1%	12.9%	74.0%	100.0%
令和元年度	回答数	860	655	4,299	5,814
	割合	14.8%	11.3%	73.9%	100.0%
令和3年度	回答数	989	1,377	4,545	6,911
	割合	14.3%	19.9%	65.8%	100.0%
令和4年度	回答数	853	1,227	4,034	6,114
	割合	14.0%	20.1%	66.0%	100.0%

イ 女性

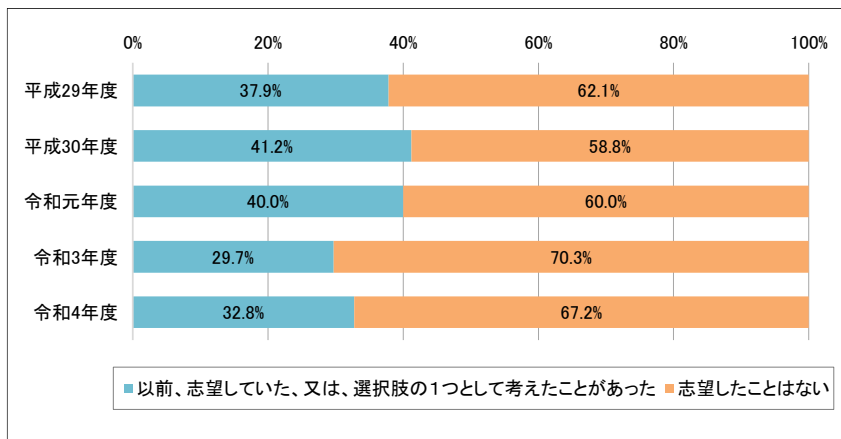


SA	選択肢	現在、志望している	現在、選択肢の1つとして考えている	志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)	回答者数
平成29年度	回答数	386	405	3,166	3,957
	割合	9.8%	10.2%	80.0%	100.0%
平成30年度	回答数	315	350	2,254	2,919
	割合	10.8%	12.0%	77.2%	100.0%
令和元年度	回答数	319	260	1,954	2,533
	割合	12.6%	10.3%	77.1%	100.0%
令和3年度	回答数	392	626	2,200	3,218
	割合	12.2%	19.5%	68.4%	100.0%
令和4年度	回答数	358	601	2,100	3,059
	割合	11.7%	19.6%	68.6%	100.0%

2. 過去の法曹等志望の有無

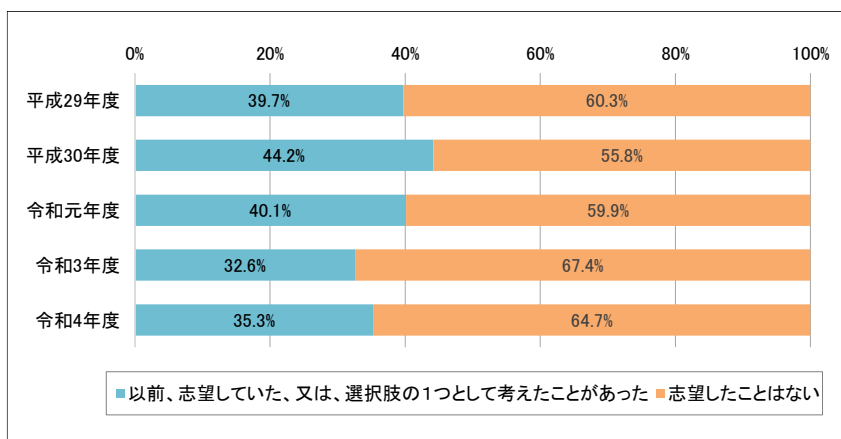
法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)と回答した学生に、過去に法曹等を志望したことがあるかを尋ねた結果、令和4年度調査では約33%の学生が「以前、志望していた、又は選択肢の1つとして考えたことがあった」と回答した。過去に法曹等を志望していた(選択肢の1つとして考えていた)学生の割合は、平成30年度調査以降減少していたが、令和4年度は若干増加しており、女性に限って見た場合にも同様の傾向にある。

ア 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生



SA	選択肢	以前、志望していた、又は、選択肢の1つとして考えたことがあった	志望したことはない	回答者数
平成 29 年度	回答数	2,819	4,627	7,446
	割合	37.9%	62.1%	100.0%
平成 30 年度	回答数	2,056	2,932	4,988
	割合	41.2%	58.8%	100.0%
令和元年度	回答数	1,720	2,579	4,299
	割合	40.0%	60.0%	100.0%
令和3年度	回答数	1,350	3,195	4,545
	割合	29.7%	70.3%	100.0%
令和4年度	回答数	1,322	2,712	4,034
	割合	32.8%	67.2%	100.0%

イ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)女性



SA	選択肢	以前、志望していた、又は、選択肢の1つとして考えたことがあった	志望したことはない	回答者数
平成 29 年度	回答数	1,258	1,908	3,166
	割合	39.7%	60.3%	100.0%
平成 30 年度	回答数	996	1,258	2,254
	割合	44.2%	55.8%	100.0%
令和元年度	回答数	784	1,170	1,954
	割合	40.1%	59.9%	100.0%
令和3年度	回答数	717	1,483	2,200
	割合	32.6%	67.4%	100.0%
令和4年度	回答数	742	1,358	2,100
	割合	35.3%	64.7%	100.0%

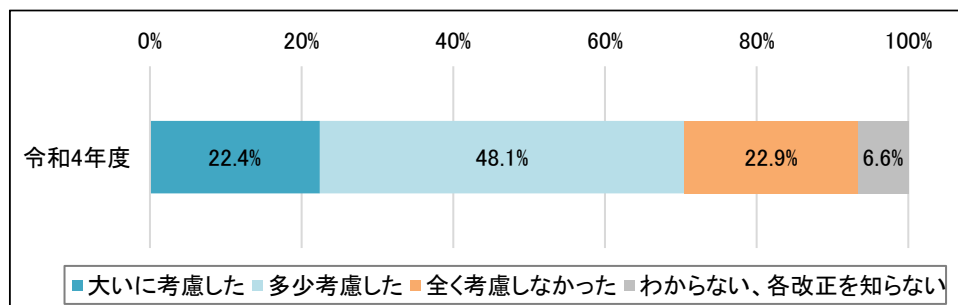
3. 将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験の考慮

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹コースの導入や、法科大学院在学中に司法試験を受験できるようになることは、将来の職業等を選択するにあたり、考慮したか尋ねたところ、約22%の学生が「大いに考慮した」と回答し、約48%の学生が「多少考慮した」と回答しており、70%以上の学生が、ある程度考慮している。

女性に限って見た場合も、全体とほぼ同様であった。

法曹等を志望している学生については、「大いに考慮した」が38%となっている。また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生については、「全く考慮しなかった」が約47%となっている。

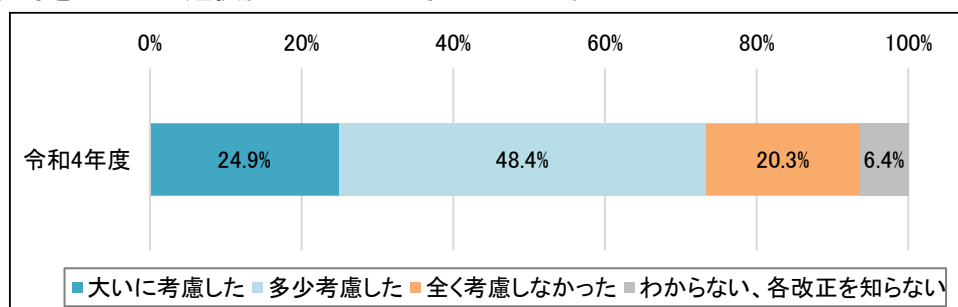
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	大いに考慮した	多少考慮した	全く考慮しなかった	わからない、各改正を知らない	回答者数
令和4年度	回答数	466	1,000	476	138	2,080
	割合	22.4%	48.1%	22.9%	6.6%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した質問

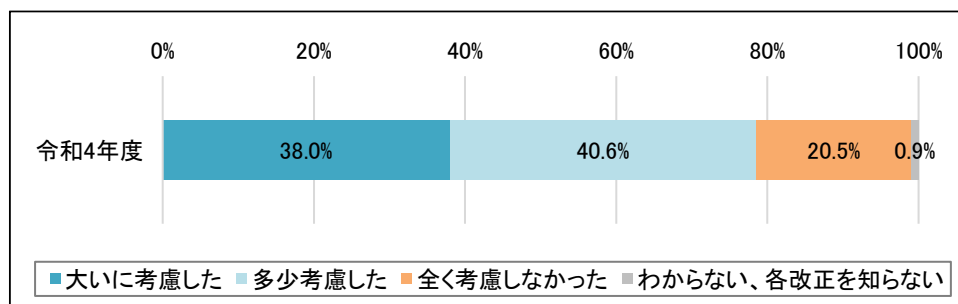
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	大いに考慮した	多少考慮した	全く考慮しなかった	わからない、各改正を知らない	回答者数
令和4年度	回答数	239	464	195	61	959
	割合	24.9%	48.4%	20.3%	6.4%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した質問

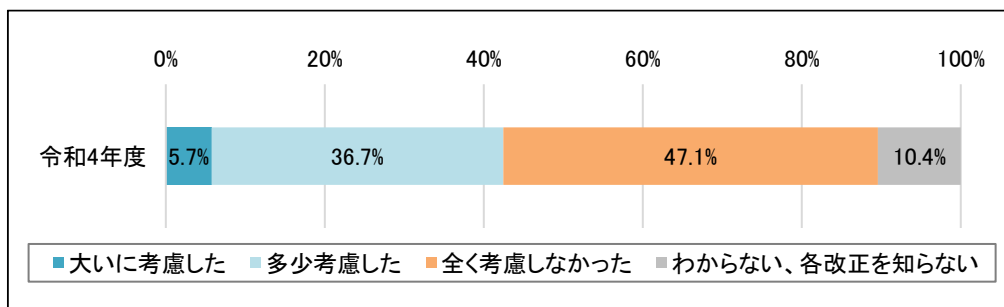
ウ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	大いに考慮した	多少考慮した	全く考慮しなかった	わからない、各改正を知らない	回答者数
令和4年度	回答数	324	346	175	8	853
	割合	38.0%	40.6%	20.5%	0.9%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した質問

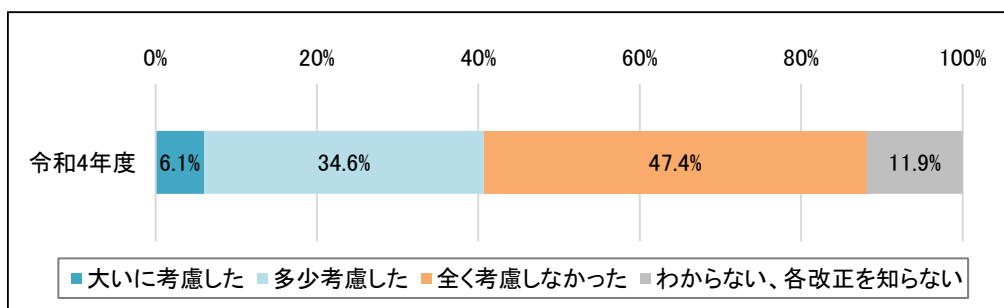
エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



SA	選択肢	大いに考慮した	多少考慮した	全く考慮しなかった	わからない、各改正を知らない	回答者数
令和4年度	回答数	76	485	623	138	1,322
	割合	5.7%	36.7%	47.1%	10.4%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した質問

オ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



SA	選択肢	大いに考慮した	多少考慮した	全く考慮しなかった	わからない、各改正を知らない	回答者数
令和4年度	回答数	45	257	352	88	742
	割合	6.1%	34.6%	47.4%	11.9%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した質問

4. 将来の職業志望(第一志望)

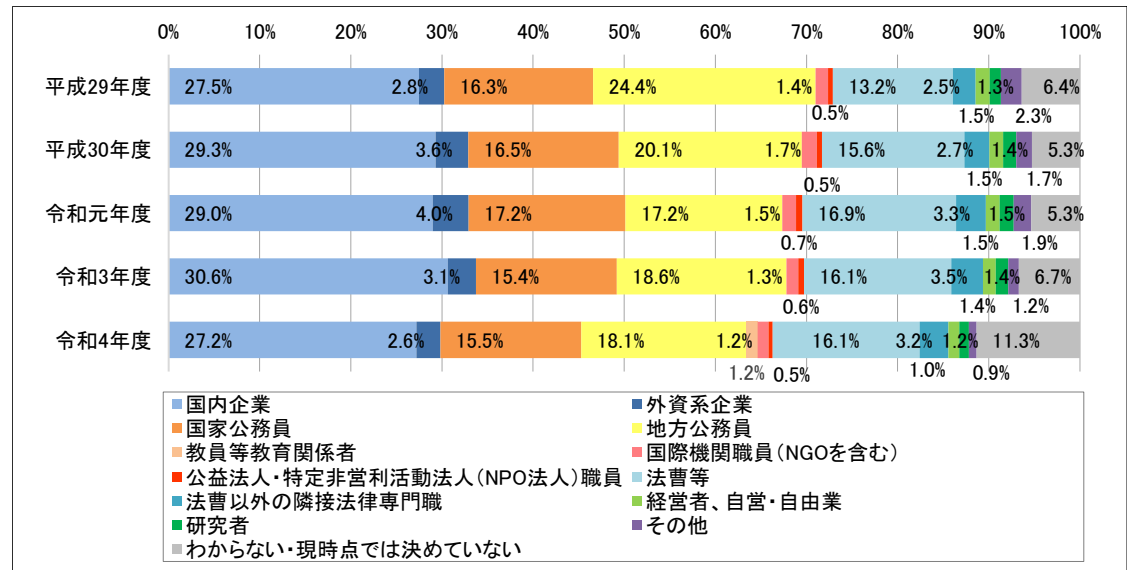
現時点で第一志望として考えている職業について尋ねた結果、平成 29 年度以降、「国内企業」が 30% 前後と最も高く、次いで「地方公務員」、「法曹等」、「国家公務員」の志望割合が高かった。公務員志望者は全体として減少傾向、法曹等志望者は令和4年度とほぼ同じ割合となっている。

女性に限って見た場合、全体と比べて顕著な違いは見られないが、相対的に「国家公務員」の志望割合が高く、「法曹等」の志望割合が低い。

学年別で見ると、「国内企業」の志望者は年次を追うごとに増加する傾向にあり、逆に「法曹等」の志望者は減少する傾向にある。

なお、「その他」として令和4年度調査では、芸能関係、マスコミ、政治家、農家などの回答があった。

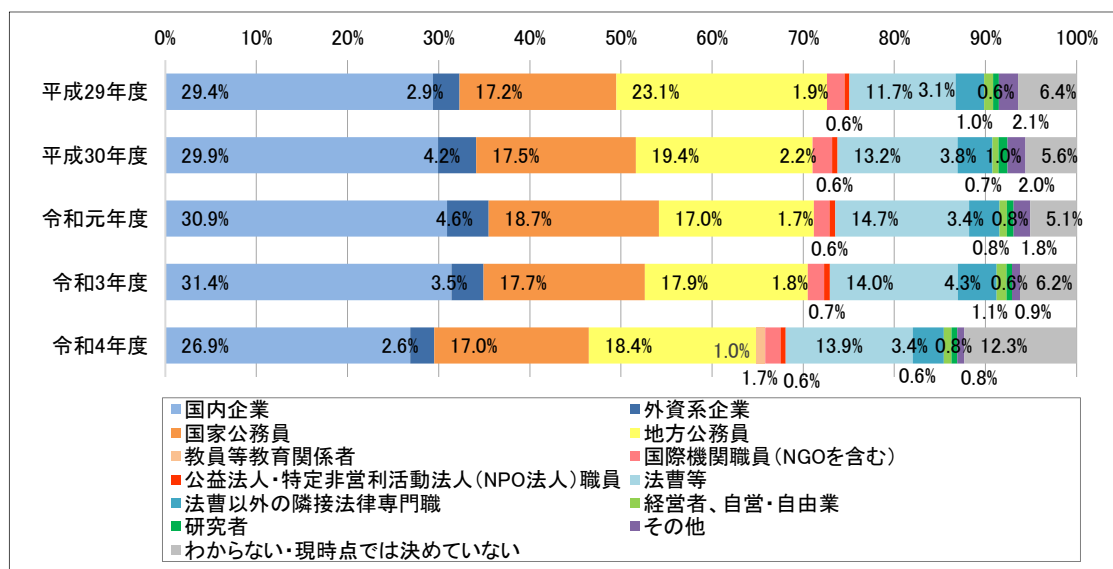
ア 全学生



SA	選択肢	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	教員等教育関係者	国際機関職員(NGOを含む)	公益法人・特定非営利活動法人(NPO法人)職員	法曹等	法曹以外の隣接法律専門職	経営者、自営・自由業	研究者	その他	わからない・現時点では決めていない	回答者数
平成29年度	回答数	2,653	269	1,578	2,358	-	132	49	1,273	240	149	121	219	617	9,658
	割合	27.5%	2.8%	16.3%	24.4%	-	1.4%	0.5%	13.2%	2.5%	1.5%	1.3%	2.3%	6.4%	100.0%
平成30年度	回答数	1,974	243	1,113	1,353	-	112	37	1,053	184	103	96	116	355	6,739
	割合	29.3%	3.6%	16.5%	20.1%	-	1.7%	0.5%	15.6%	2.7%	1.5%	1.4%	1.7%	5.3%	100.0%
令和元年度	回答数	1,685	230	1,000	1,001	-	88	39	982	189	88	90	113	309	5,814
	割合	29.0%	4.0%	17.2%	17.2%	-	1.5%	0.7%	16.9%	3.3%	1.5%	1.5%	1.9%	5.3%	100.0%
令和3年度	回答数	2,117	215	1,067	1,287	-	90	43	1,116	242	95	95	81	463	6,911
	割合	30.6%	3.1%	15.4%	18.6%	-	1.3%	0.6%	16.1%	3.5%	1.4%	1.4%	1.2%	6.7%	100.0%
令和4年度	回答数	1,664	159	945	1,109	74	73	29	985	193	74	64	52	693	6,114
	割合	27.2%	2.6%	15.5%	18.1%	1.2%	1.2%	0.5%	16.1%	3.2%	1.2%	1.0%	0.9%	11.3%	100.0%

※13 番目の選択肢について、令和3年度調査までは「特になし」
※5番目の選択肢(教員等教育関係者)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 女性

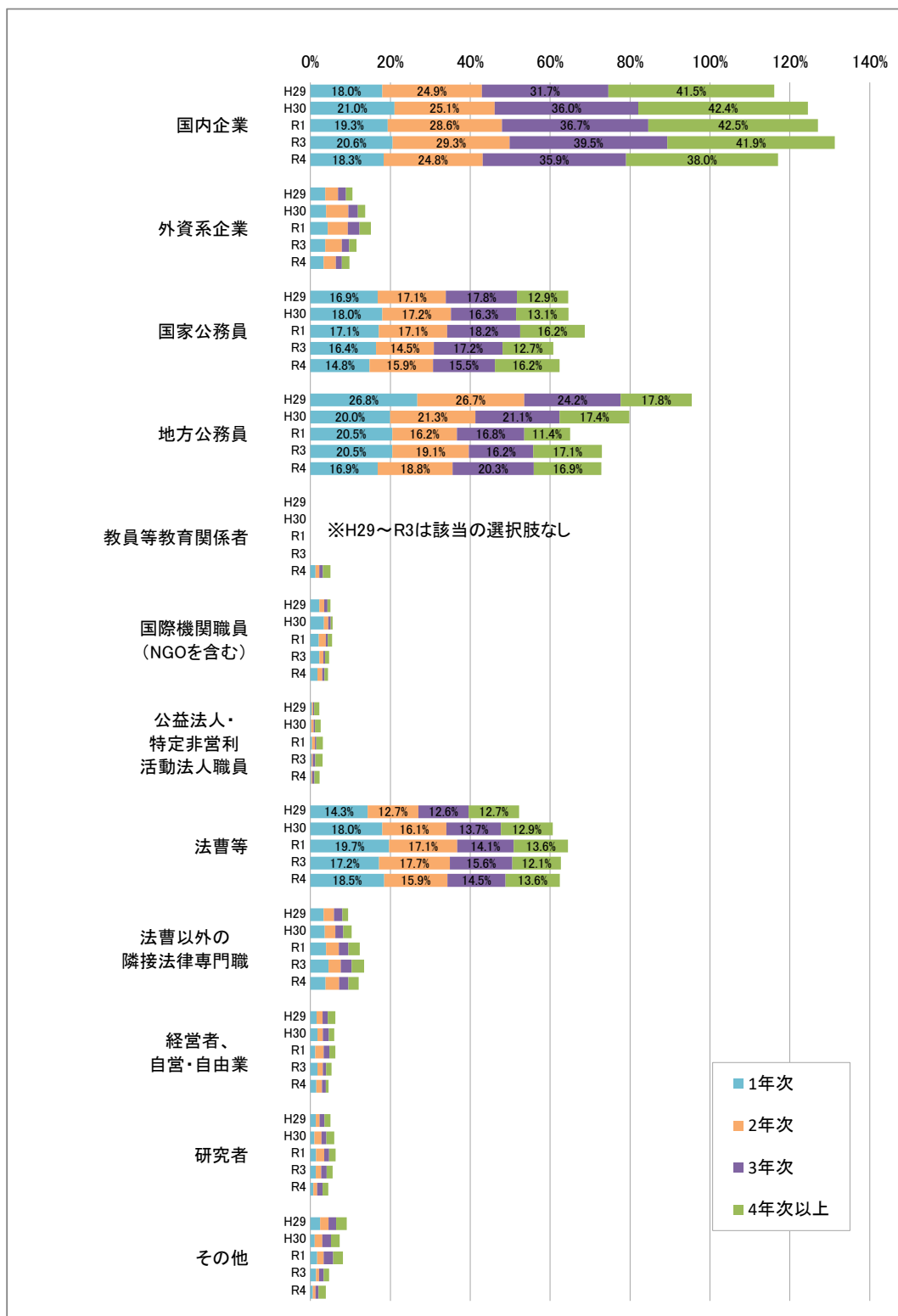


SA	選択肢	国内企業	外資系企業	国家公務員	地方公務員	教員等教育関係者	国際機関職員(NGOを含む)	公益法人・特定非営利活動法人(NPO法人)職員	法曹等	法曹以外の隣接法律専門職	経営者、自営・自由業	研究者	その他	わからない・現時点では決めていない	回答者数
平成29年度	回答数	1,162	115	681	915	—	76	22	461	124	39	24	84	254	3,957
	割合	29.4%	2.9%	17.2%	23.1%	—	1.9%	0.6%	11.7%	3.1%	1.0%	0.6%	2.1%	6.4%	100.0%
平成30年度	回答数	874	122	511	566	—	63	17	385	111	20	29	57	164	2,919
	割合	29.9%	4.2%	17.5%	19.4%	—	2.2%	0.6%	13.2%	3.8%	0.7%	1.0%	2.0%	5.6%	100.0%
令和元年度	回答数	783	116	473	431	—	43	16	372	85	20	19	46	129	2,533
	割合	30.9%	4.6%	18.7%	17.0%	—	1.7%	0.6%	14.7%	3.4%	0.8%	0.8%	1.8%	5.1%	100.0%
令和3年度	回答数	1,011	113	570	575	—	57	21	452	137	35	19	28	200	3,218
	割合	31.4%	3.5%	17.7%	17.9%	—	1.8%	0.7%	14.0%	4.3%	1.1%	0.6%	0.9%	6.2%	100.0%
令和4年度	回答数	822	81	519	562	30	51	18	426	104	26	19	24	377	3,059
	割合	26.9%	2.6%	17.0%	18.4%	1.0%	1.7%	0.6%	13.9%	3.4%	0.8%	0.6%	0.8%	12.3%	100.0%

※13番目の選択肢について、令和3年度調査までは「特になし」

※5番目の選択肢(教員等教育関係者)は、令和4年度調査から新たに設けたもの

ウ 学年別



	SA	選択肢	国内 企業	外資系 企業	国家 公務員	地方 公務員	教員等 教育関係者	国際機 関職員 (NGOを 含む)	公益法人 ・NPO 法 人職員	法曹等	法曹以 外の隣 接法律 専門職	経営 者、自 営・自 由業	研究者	その他	わから ない・現 時点で は決め ていな い	回答 者数
1年次	平成29年度	回答数	560	117	525	834	—	70	11	446	104	48	43	76	280	3,114
		割合	18.0%	3.8%	16.9%	26.8%	—	2.2%	0.4%	14.3%	3.3%	1.5%	1.4%	2.4%	9.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	495	93	424	470	—	79	4	423	84	42	24	26	189	2,353
		割合	21.0%	4.0%	18.0%	20.0%	—	3.4%	0.2%	18.0%	3.6%	1.8%	1.0%	1.1%	8.0%	100.0%
	令和元年度	回答数	442	100	392	469	—	48	9	450	90	28	32	38	190	2,288
		割合	19.3%	4.4%	17.1%	20.5%	—	2.1%	0.4%	19.7%	3.9%	1.2%	1.4%	1.7%	8.3%	100.0%
	令和2年度	回答数	489	89	390	487	—	53	6	408	107	42	32	34	236	2,373
		割合	20.6%	3.8%	16.4%	20.5%	—	2.2%	0.3%	17.2%	4.5%	1.8%	1.3%	1.4%	9.9%	100.0%
	令和3年度	回答数	403	73	326	371	28	38	4	406	83	32	16	13	407	2,200
		割合	18.3%	3.3%	14.8%	16.9%	1.3%	1.7%	0.2%	18.5%	3.8%	1.5%	0.7%	0.6%	18.5%	100.0%
2年次	平成29年度	回答数	611	77	418	655	—	29	7	311	63	37	22	51	170	2,451
		割合	24.9%	3.1%	17.1%	26.7%	—	1.2%	0.3%	12.7%	2.6%	1.5%	0.9%	2.1%	6.9%	100.0%
	平成30年度	回答数	414	92	283	352	—	18	10	265	44	22	29	31	90	1,650
		割合	25.1%	5.6%	17.2%	21.3%	—	1.1%	0.6%	16.1%	2.7%	1.3%	1.8%	1.9%	5.5%	100.0%
	令和元年度	回答数	380	66	227	215	—	23	10	227	42	28	27	22	61	1,328
		割合	28.6%	5.0%	17.1%	16.2%	—	1.7%	0.8%	17.1%	3.2%	2.1%	2.0%	1.7%	4.6%	100.0%
	令和2年度	回答数	548	77	271	358	—	19	6	332	58	25	26	14	139	1,873
		割合	29.3%	4.1%	14.5%	19.1%	—	1.0%	0.3%	17.7%	3.1%	1.3%	1.4%	0.7%	7.4%	100.0%
	令和3年度	回答数	369	45	236	279	14	19	4	236	51	22	14	10	189	1,488
		割合	24.8%	3.0%	15.9%	18.8%	0.9%	1.3%	0.3%	15.9%	3.4%	1.5%	0.9%	0.7%	12.7%	100.0%
3年次	平成29年度	回答数	698	44	392	533	—	18	6	277	46	29	28	42	92	2,205
		割合	31.7%	2.0%	17.8%	24.2%	—	0.8%	0.3%	12.6%	2.1%	1.3%	1.3%	1.9%	4.2%	100.0%
	平成30年度	回答数	534	35	242	313	—	9	5	203	29	22	18	32	43	1,485
		割合	36.0%	2.4%	16.3%	21.1%	—	0.6%	0.3%	13.7%	2.0%	1.5%	1.2%	2.2%	2.9%	100.0%
	令和元年度	回答数	444	36	221	204	—	6	4	171	29	17	15	29	35	1,211
		割合	36.7%	3.0%	18.2%	16.8%	—	0.5%	0.3%	14.1%	2.4%	1.4%	1.2%	2.4%	2.9%	100.0%
	令和2年度	回答数	594	28	258	243	—	6	10	235	41	12	20	17	40	1,504
		割合	39.5%	1.9%	17.2%	16.2%	—	0.4%	0.7%	15.6%	2.7%	0.8%	1.3%	1.1%	2.7%	100.0%
	令和3年度	回答数	512	22	221	290	13	7	8	207	33	13	20	11	70	1,427
		割合	35.9%	1.5%	15.5%	20.3%	0.9%	0.5%	0.6%	14.5%	2.3%	0.9%	1.4%	0.8%	4.9%	100.0%
4年次 以上	平成29年度	回答数	784	31	243	336	—	15	25	239	27	35	28	50	75	1,888
		割合	41.5%	1.6%	12.9%	17.8%	—	0.8%	1.3%	12.7%	1.4%	1.9%	1.5%	2.6%	4.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	531	23	164	218	—	6	18	162	27	17	25	27	33	1,251
		割合	42.4%	1.8%	13.1%	17.4%	—	0.5%	1.4%	12.9%	2.2%	1.4%	2.0%	2.2%	2.6%	100.0%
	令和元年度	回答数	419	28	160	113	—	11	16	134	28	15	16	24	23	987
		割合	42.5%	2.8%	16.2%	11.4%	—	1.1%	1.6%	13.6%	2.8%	1.5%	1.6%	2.4%	2.3%	100.0%
	令和2年度	回答数	486	21	148	199	—	12	21	141	36	16	17	16	48	1,161
		割合	41.9%	1.8%	12.7%	17.1%	—	1.0%	1.8%	12.1%	3.1%	1.4%	1.5%	1.4%	4.1%	100.0%
	令和3年度	回答数	380	19	162	169	19	9	13	136	26	7	14	18	27	999
		割合	38.0%	1.9%	16.2%	16.9%	1.9%	0.9%	1.3%	13.6%	2.6%	0.7%	1.4%	1.8%	2.7%	100.0%

※13 番目の選択肢について、令和3年度調査までは「特になし」

※5番目の選択肢(教員等教育関係者)は令和4年度調査から新たに設けたもの

5. 職業選択に当たり重視すること

職業選択に当たり重視することについて尋ねた結果、「自分の興味・関心のある分野で活躍できること」との回答割合が70%前後と最も高く、「経済的に安定していること」がおおよそ60%で続いている。

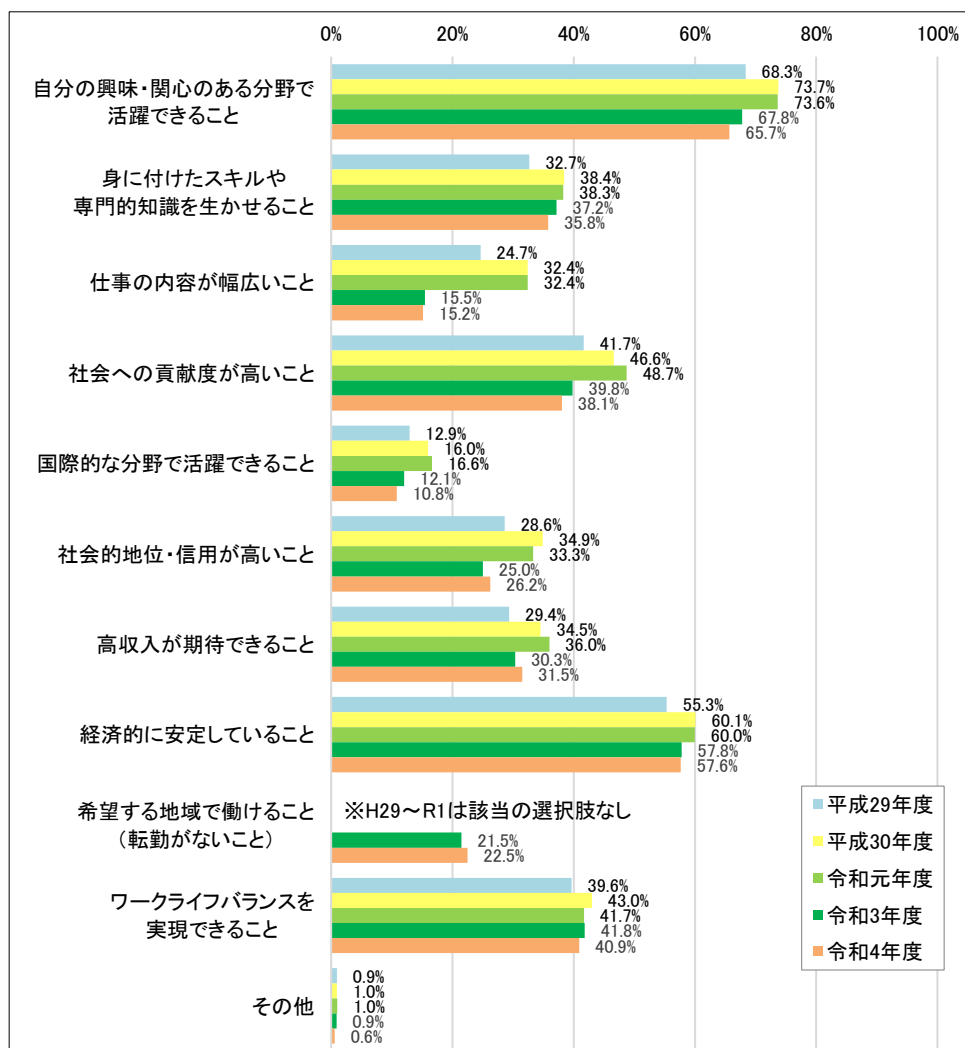
女性に限って見た場合、全体と比べて「ワークライフバランスを実現できること」との回答割合が相対的に高い。

法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に限って見ると、全体に比して「身に付けたスキルや専門的知識を生かせること」、「社会的地位・信用が高いこと」及び「高収入が期待できること」の回答割合が相対的に高く、その傾向は、法曹等を志望している学生のみを見た場合により顕著である。また、法曹等を志望している学生は、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生と比べて「身に付けたスキルや専門的知識を生かせること」、「社会への貢献度が高いこと」の回答割合が高い。

法曹等を志望していない学生では、全体と比べて「身に付けたスキルや専門的知識を生かせること」、「高収入が期待できること」との回答割合が相対的に低い。

なお、「その他」として、令和4年度調査では、「ストレスなく働けること」、「自分が成長できること」、「性別による差別がないこと」、「職場の人間関係が良好であること」などの回答があった。

ア 全学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること（転勤がないこと）	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
平成29年度	回答数	6,600	3,157	2,381	4,023	1,249	2,765	2,837	5,345	—	3,827	91	9,658
	割合	68.3%	32.7%	24.7%	41.7%	12.9%	28.6%	29.4%	55.3%	—	39.6%	0.9%	—
平成30年度	回答数	4,968	2,589	2,184	3,141	1,078	2,353	2,328	4,050	—	2,899	65	6,739
	割合	73.7%	38.4%	32.4%	46.6%	16.0%	34.9%	34.5%	60.1%	—	43.0%	1.0%	—
令和元年度	回答数	4,282	2,226	1,886	2,834	968	1,936	2,092	3,486	—	2,424	59	5,814
	割合	73.6%	38.3%	32.4%	48.7%	16.6%	33.3%	36.0%	60.0%	—	41.7%	1.0%	—
令和3年度	回答数	4,683	2,570	1,068	2,751	834	1,731	2,097	3,994	1,487	2,891	61	6,911
	割合	67.8%	37.2%	15.5%	39.8%	12.1%	25.0%	30.3%	57.8%	21.5%	41.8%	0.9%	—
令和4年度	回答数	4,015	2,190	928	2,327	662	1,604	1,926	3,524	1,375	2,501	36	6,114
	割合	65.7%	35.8%	15.2%	38.1%	10.8%	26.2%	31.5%	57.6%	22.5%	40.9%	0.6%	—

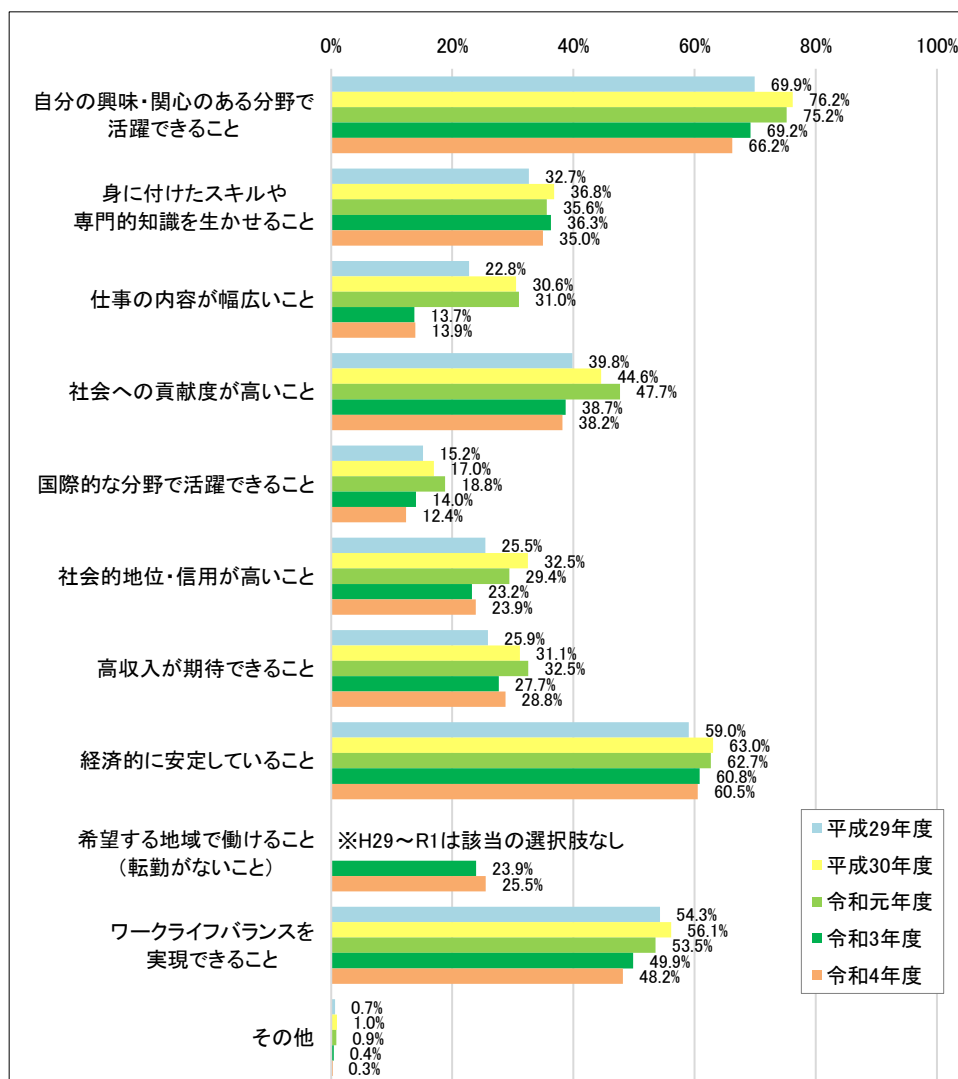
※2番目の選択肢について、令和元年調査までは「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3番目の選択肢について、令和元年調査までは「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9番目選択肢（希望する地域で働けること）は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10番目の選択肢について、令和元年調査までは「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

イ 女性



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること(転動がないこと)	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
平成29年度	回答数	2,766	1,292	901	1,576	601	1,008	1,025	2,336	—	2,148	26	3,957
	割合	69.9%	32.7%	22.8%	39.8%	15.2%	25.5%	25.9%	59.0%	—	54.3%	0.7%	—
平成30年度	回答数	2,224	1,075	892	1,301	495	949	909	1,840	—	1,638	29	2,919
	割合	76.2%	36.8%	30.6%	44.6%	17.0%	32.5%	31.1%	63.0%	—	56.1%	1.0%	—
令和元年度	回答数	1,904	902	785	1,208	477	745	824	1,588	—	1,356	22	2,533
	割合	75.2%	35.6%	31.0%	47.7%	18.8%	29.4%	32.5%	62.7%	—	53.5%	0.9%	—
令和3年度	回答数	2,228	1,167	442	1,246	451	748	890	1,958	770	1,605	14	3,218
	割合	69.2%	36.3%	13.7%	38.7%	14.0%	23.2%	27.7%	60.8%	23.9%	49.9%	0.4%	—
令和4年度	回答数	2,025	1,070	425	1,168	378	730	880	1,851	781	1,474	8	3,059
	割合	66.2%	35.0%	13.9%	38.2%	12.4%	23.9%	28.8%	60.5%	25.5%	48.2%	0.3%	—

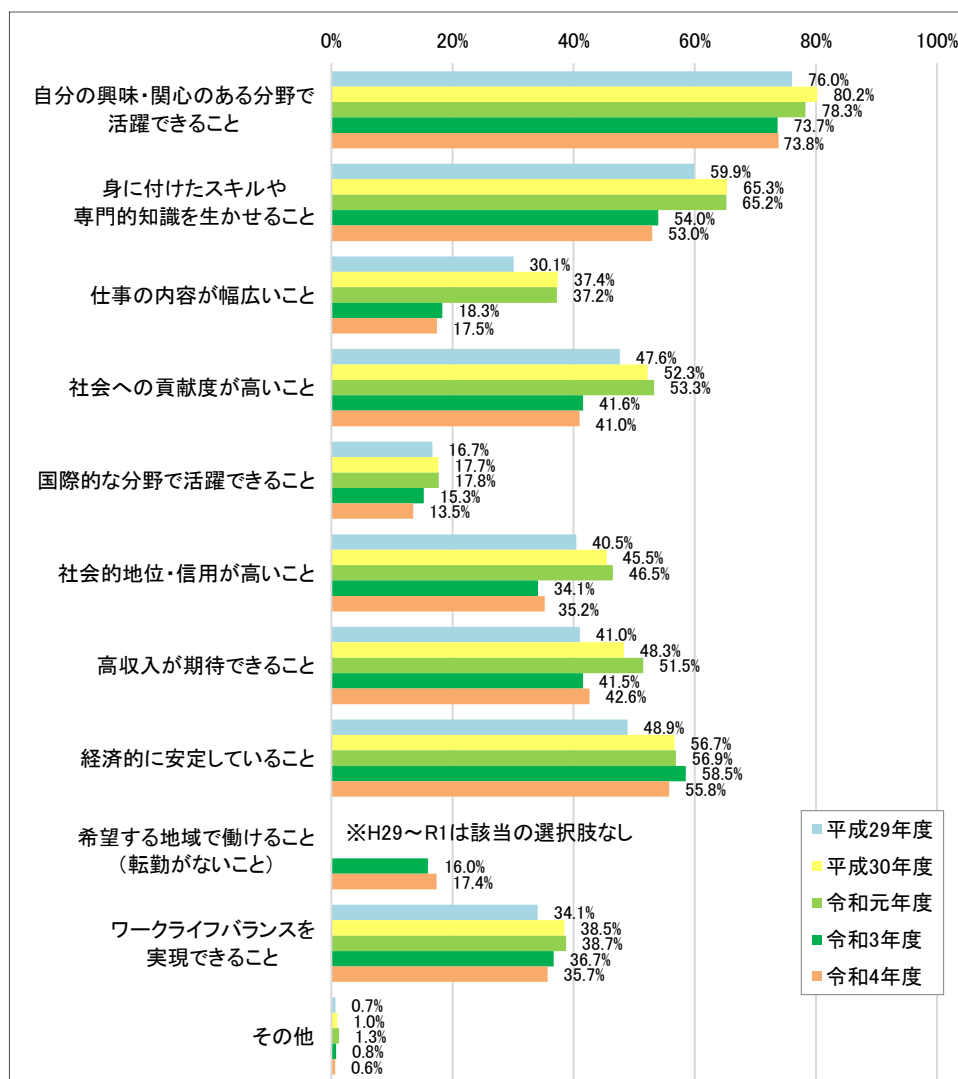
※2番目の選択肢について、令和元年調査までは「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3番目の選択肢について、令和元年調査までは「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9番目選択肢(希望する地域で働けること)は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10番目の選択肢について、令和元年調査までは「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

ウ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること (転勤がないこと)	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	1,682	1,325	666	1,054	369	895	908	1,082	—	754	15	2,212
	割合	76.0%	59.9%	30.1%	47.6%	16.7%	40.5%	41.0%	48.9%	—	34.1%	0.7%	—
平成 30 年度	回答数	1,405	1,144	655	915	310	796	846	992	—	674	17	1,751
	割合	80.2%	65.3%	37.4%	52.3%	17.7%	45.5%	48.3%	56.7%	—	38.5%	1.0%	—
令和元年度	回答数	1,186	988	564	807	269	704	780	862	—	587	19	1,515
	割合	78.3%	65.2%	37.2%	53.3%	17.8%	46.5%	51.5%	56.9%	—	38.7%	1.3%	—
令和3年度	回答数	1,743	1,277	434	984	361	807	983	1,385	378	869	19	2,366
	割合	73.7%	54.0%	18.3%	41.6%	15.3%	34.1%	41.5%	58.5%	16.0%	36.7%	0.8%	—
令和4年度	回答数	1,536	1,102	363	852	281	733	887	1,160	361	743	13	2,080
	割合	73.8%	53.0%	17.5%	41.0%	13.5%	35.2%	42.6%	55.8%	17.4%	35.7%	0.6%	—

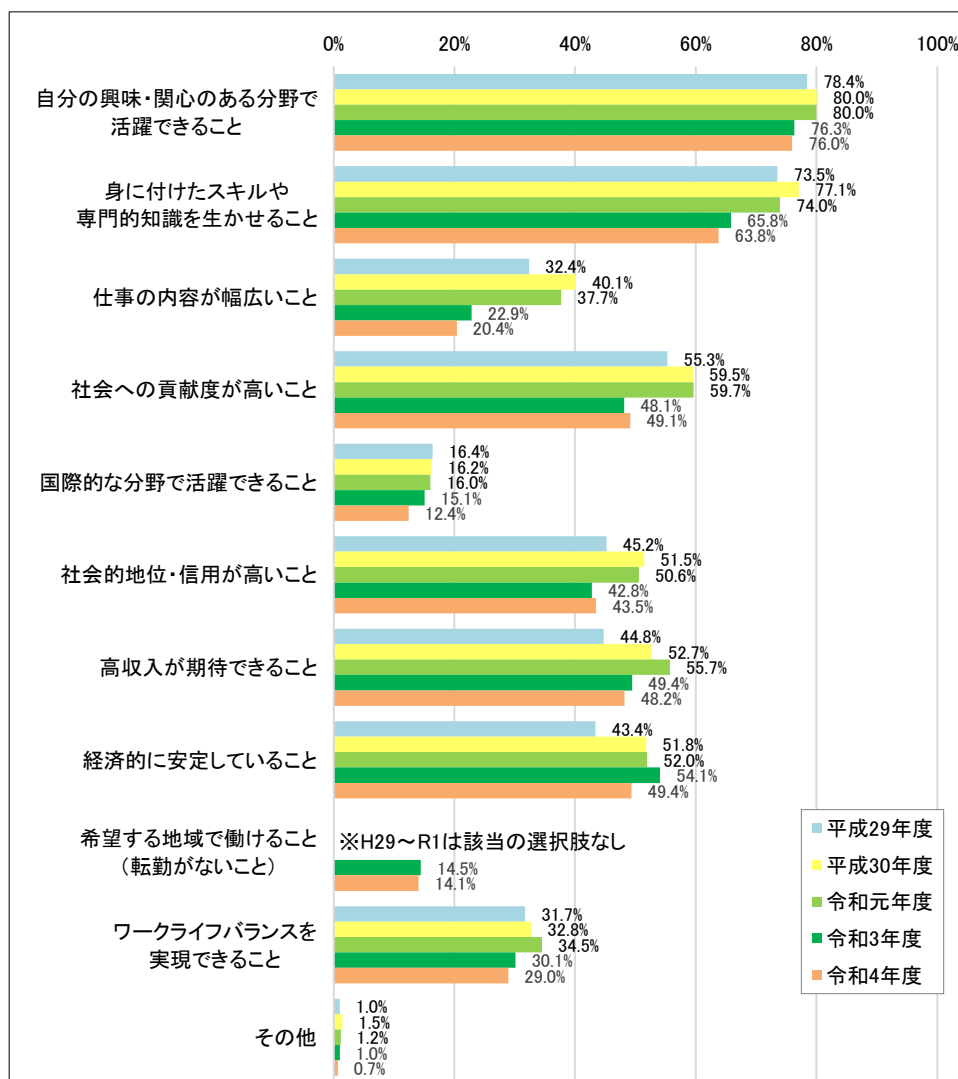
※2番目の選択肢について、令和元年調査までは「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3番目の選択肢について、令和元年調査までは「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9番目選択肢(希望する地域で働けること)は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10番目の選択肢について、令和元年調査までは「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

エ 法曹等を志望している学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること (転勤がないこと)	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
平成29年度	回答数	848	795	350	598	177	489	484	469	—	343	11	1,081
	割合	78.4%	73.5%	32.4%	55.3%	16.4%	45.2%	44.8%	43.4%	—	31.7%	1.0%	—
平成30年度	回答数	706	680	354	525	143	454	465	457	—	289	13	882
	割合	80.0%	77.1%	40.1%	59.5%	16.2%	51.5%	52.7%	51.8%	—	32.8%	1.5%	—
令和元年度	回答数	688	636	324	513	138	435	479	447	—	297	10	860
	割合	80.0%	74.0%	37.7%	59.7%	16.0%	50.6%	55.7%	52.0%	—	34.5%	1.2%	—
令和3年度	回答数	755	651	226	476	149	423	489	535	143	298	10	989
	割合	76.3%	65.8%	22.9%	48.1%	15.1%	42.8%	49.4%	54.1%	14.5%	30.1%	1.0%	—
令和4年度	回答数	648	544	174	419	106	371	411	421	120	247	6	853
	割合	76.0%	63.8%	20.4%	49.1%	12.4%	43.5%	48.2%	49.4%	14.1%	29.0%	0.7%	—

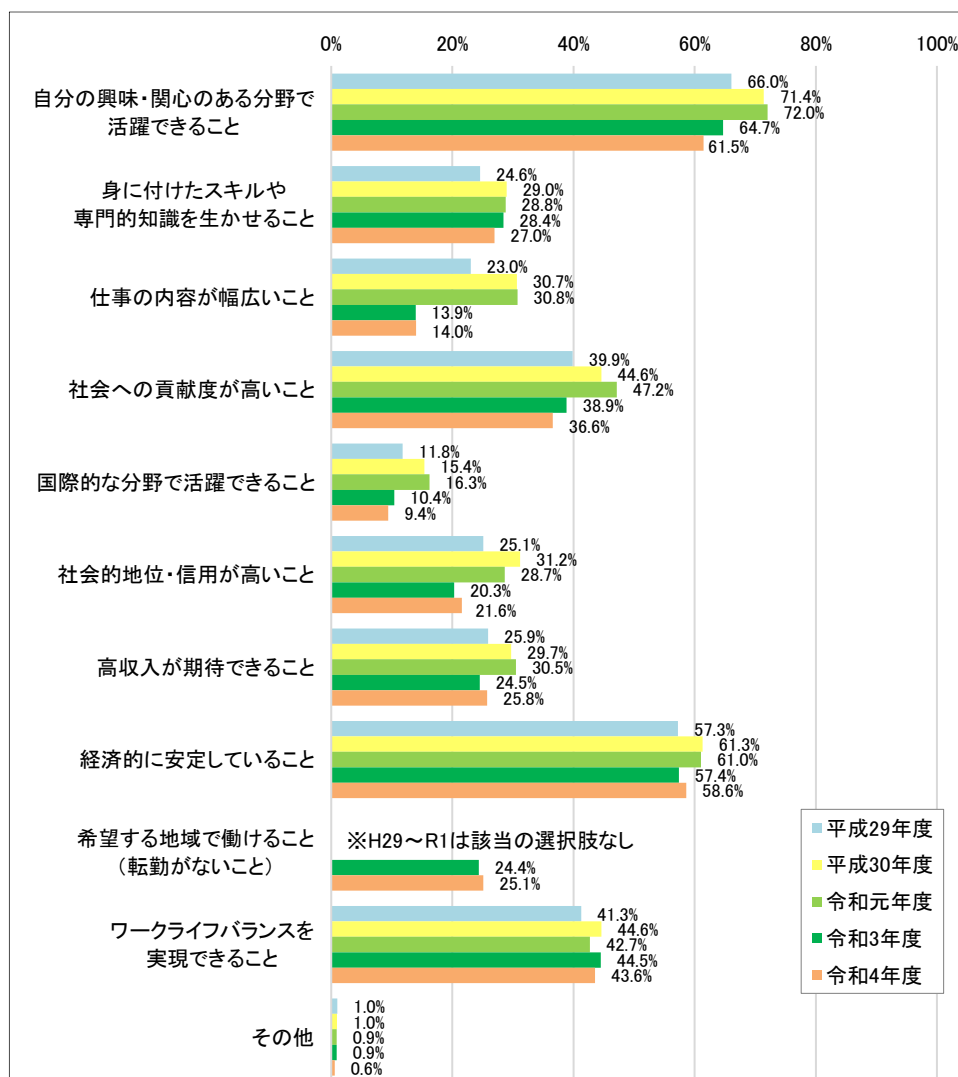
※2番目の選択肢について、令和元年調査までは「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3番目の選択肢について、令和元年調査までは「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9番目選択肢(希望する地域で働けること)は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10番目の選択肢について、令和元年調査までは「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

オ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生



MA	選択肢	自分の興味・関心のある分野で活躍できること	身に付けたスキルや専門的知識を生かせること	仕事の内容が幅広いこと	社会への貢献度が高いこと	国際的な分野で活躍できること	社会的地位・信用が高いこと	高収入が期待できること	経済的に安定していること	希望する地域で働けること(転勤がないこと)	ワークライフバランスを実現できること	その他	回答者数
平成29年度	回答数	4,918	1,832	1,715	2,969	880	1,870	1,929	4,263	—	3,073	76	7,446
	割合	66.0%	24.6%	23.0%	39.9%	11.8%	25.1%	25.9%	57.3%	—	41.3%	1.0%	—
平成30年度	回答数	3,563	1,445	1,529	2,226	768	1,557	1,482	3,058	—	2,225	48	4,988
	割合	71.4%	29.0%	30.7%	44.6%	15.4%	31.2%	29.7%	61.3%	—	44.6%	1.0%	—
令和元年度	回答数	3,096	1,238	1,322	2,027	699	1,232	1,312	2,624	—	1,837	40	4,299
	割合	72.0%	28.8%	30.8%	47.2%	16.3%	28.7%	30.5%	61.0%	—	42.7%	0.9%	—
令和3年度	回答数	2,940	1,293	634	1,767	473	924	1,114	2,609	1,109	2,022	42	4,545
	割合	64.7%	28.4%	13.9%	38.9%	10.4%	20.3%	24.5%	57.4%	24.4%	44.5%	0.9%	—
令和4年度	回答数	2,479	1,088	565	1,475	381	871	1,039	2,364	1,014	1,758	23	4,034
	割合	61.5%	27.0%	14.0%	36.6%	9.4%	21.6%	25.8%	58.6%	25.1%	43.6%	0.6%	—

※2番目の選択肢について、令和元年調査までは「身に付けた専門的知識をいかせること」

※3番目の選択肢について、令和元年調査までは「仕事の内容に多くの選択肢があること」

※9番目選択肢(希望する地域で働けること)は、令和3年度調査から新たに設けたもの

※10番目の選択肢について、令和元年調査までは「働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できること」

第4 法曹等志望の時期・進路・契機、法曹等の魅力等

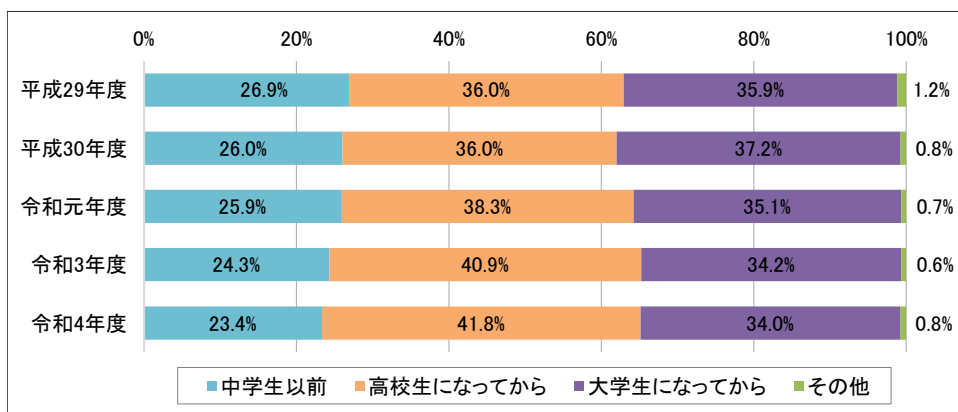
1. 法曹等を志望した時期

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に法曹等を志望した時期を尋ねた結果、60%以上の学生が高校生以前と回答した。

女性に限って見た場合も、全体とほぼ同様であった。

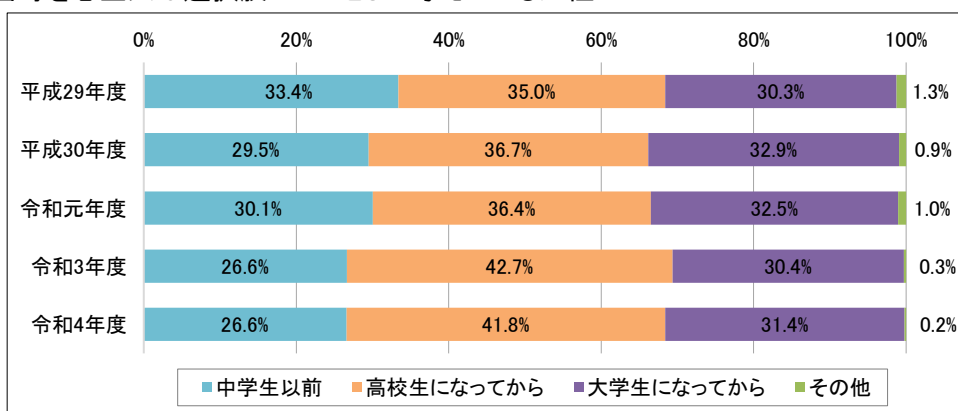
また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生については、高校生以前に志望した割合が70%以上であったところ、その中で「中学生以前」と回答した割合は約39%であり、現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生とほぼ同様であった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



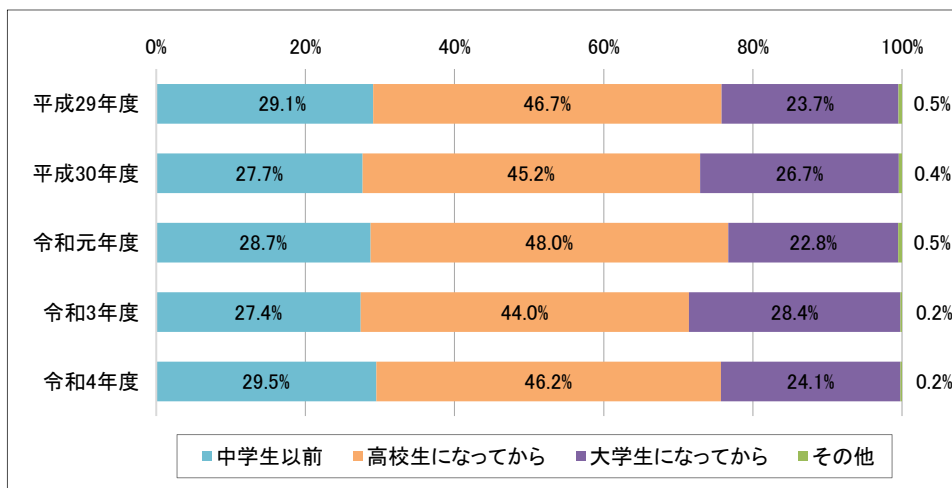
SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	595	797	794	26	2,212
	割合	26.9%	36.0%	35.9%	1.2%	100.0%
平成 30 年度	回答数	456	630	651	14	1,751
	割合	26.0%	36.0%	37.2%	0.8%	100.0%
令和元年度	回答数	393	580	532	10	1,515
	割合	25.9%	38.3%	35.1%	0.7%	100.0%
令和3年度	回答数	575	968	808	15	2,366
	割合	24.3%	40.9%	34.2%	0.6%	100.0%
令和4年度	回答数	486	869	708	17	2,080
	割合	23.4%	41.8%	34.0%	0.8%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



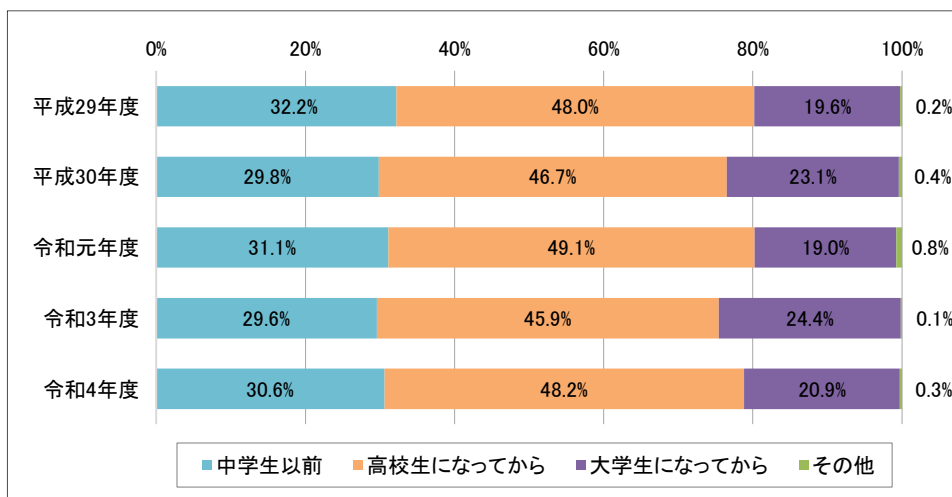
SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	264	277	240	10	791
	割合	33.4%	35.0%	30.3%	1.3%	100.0%
平成 30 年度	回答数	196	244	219	6	665
	割合	29.5%	36.7%	32.9%	0.9%	100.0%
令和元年度	回答数	174	211	188	6	579
	割合	30.1%	36.4%	32.5%	1.0%	100.0%
令和3年度	回答数	271	435	309	3	1,018
	割合	26.6%	42.7%	30.4%	0.3%	100.0%
令和4年度	回答数	255	401	301	2	959
	割合	26.6%	41.8%	31.4%	0.2%	100.0%

ウ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	820	1,317	668	14	2,819
	割合	29.1%	46.7%	23.7%	0.5%	100.0%
平成 30 年度	回答数	569	930	548	9	2,056
	割合	27.7%	45.2%	26.7%	0.4%	100.0%
令和元年度	回答数	494	825	392	9	1,720
	割合	28.7%	48.0%	22.8%	0.5%	100.0%
令和3年度	回答数	370	594	383	3	1,350
	割合	27.4%	44.0%	28.4%	0.2%	100.0%
令和4年度	回答数	390	611	318	3	1,322
	割合	29.5%	46.2%	24.1%	0.2%	100.0%

エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



SA	選択肢	中学生以前	高校生になってから	大学生になってから	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	405	604	246	3	1,258
	割合	32.2%	48.0%	19.6%	0.2%	100.0%
平成 30 年度	回答数	297	465	230	4	996
	割合	29.8%	46.7%	23.1%	0.4%	100.0%
令和元年度	回答数	244	385	149	6	784
	割合	31.1%	49.1%	19.0%	0.8%	100.0%
令和3年度	回答数	212	329	175	1	717
	割合	29.6%	45.9%	24.4%	0.1%	100.0%
令和4年度	回答数	227	358	155	2	742
	割合	30.6%	48.2%	20.9%	0.3%	100.0%

2. 法曹等を志望したきっかけ

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に法曹等を志望したきっかけを尋ねた結果、平成29年度調査以降の全調査において「法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから」との回答割合が最も高く、60%を超えている。続いて、「社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから」が40%前後、「テレビやドラマ、インターネット(You Tube 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから」が30%強で推移している。

「周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから」との回答割合は、令和元年度調査以降減少傾向にある。

女性に限って見た場合も全体と同じ傾向となっている。令和3年度同様、「社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから」、「テレビやドラマ、インターネット(You Tube 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから」、「学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから」との回答割合は全体と比べて相対的に高い。

また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生について見ると、現在志望又は選択肢の1つとして考えている学生に比べて、「テレビやドラマ、インターネット(You Tube 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから」との回答割合が相対的に高い。この傾向は、女性に限って見た場合も同様である。

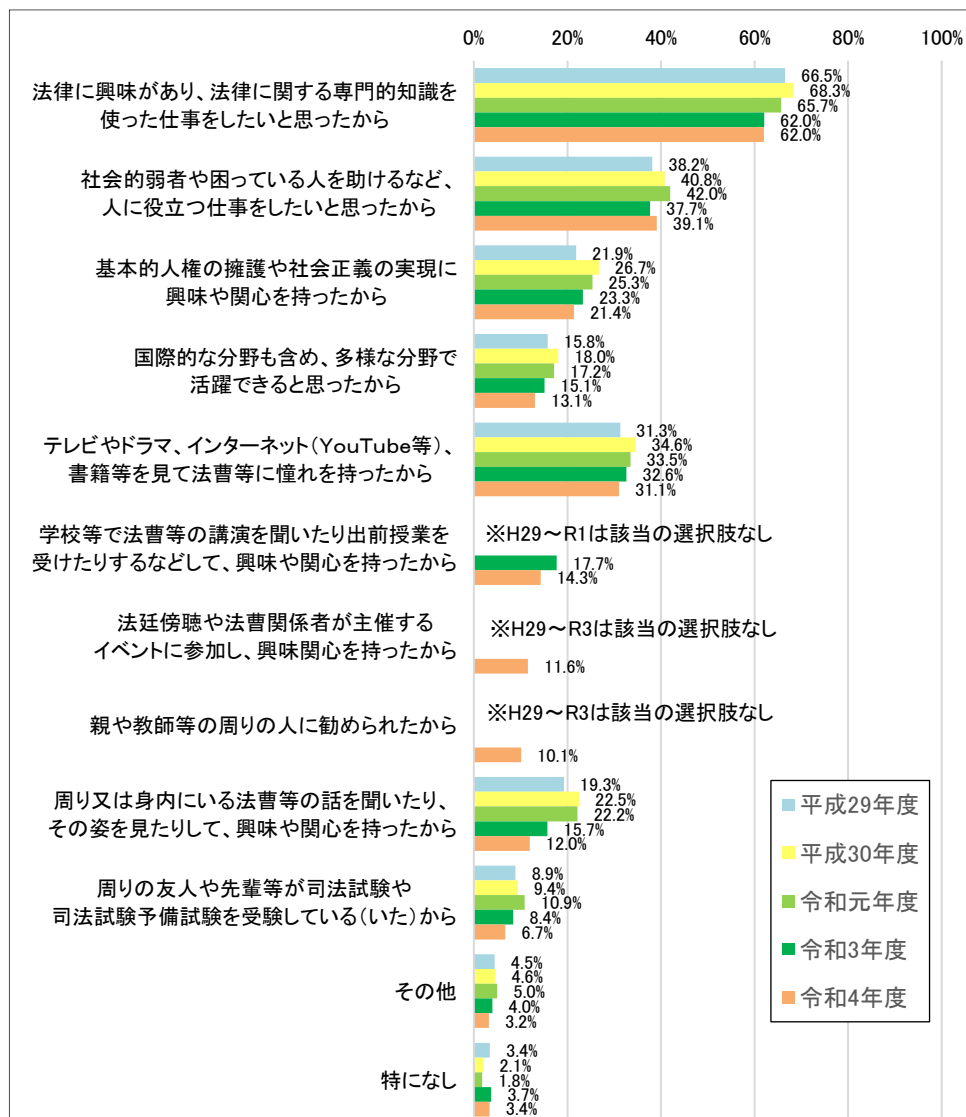
現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が中学生以前の学生については、「テレビやドラマ、インターネット(You Tube 等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから」との回答割合が相対的に高く、女性に限って見た場合も同様の傾向がみられる。

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が高校生になってからの学生については、「社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから」との回答割合が相対的に高い。この傾向は、女性に限って見た場合も同様である。

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が大学生になってからの学生については、「学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから」や「周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から」の回答割合が相対的に高い。この傾向は、女性に限って見た場合も同様である。

なお、「その他」として、令和4年度調査では、「高収入、社会的地位が高い」、「中学の先生の公民の授業、特に司法の分野の話がおもしろかったから」、「自分が弁護士に助けてもらった経験があるから」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	1,471	844	484	349	692	—	—	—	426	197	99	76	2,212
	割合	66.5%	38.2%	21.9%	15.8%	31.3%	—	—	—	19.3%	8.9%	4.5%	3.4%	—
平成30年度	回答数	1,196	715	468	316	605	—	—	—	394	164	80	36	1,751
	割合	68.3%	40.8%	26.7%	18.0%	34.6%	—	—	—	22.5%	9.4%	4.6%	2.1%	—
令和元年度	回答数	995	636	384	260	507	—	—	—	336	165	76	27	1,515
	割合	65.7%	42.0%	25.3%	17.2%	33.5%	—	—	—	22.2%	10.9%	5.0%	1.8%	—
令和3年度	回答数	1,468	891	552	357	772	419	—	—	372	199	94	88	2,366
	割合	62.0%	37.7%	23.3%	15.1%	32.6%	17.7%	—	—	15.7%	8.4%	4.0%	3.7%	—
令和4年度	回答数	1,290	813	445	272	646	297	241	211	249	140	67	70	2,080
	割合	62.0%	39.1%	21.4%	13.1%	31.1%	14.3%	11.6%	10.1%	12.0%	6.7%	3.2%	3.4%	—

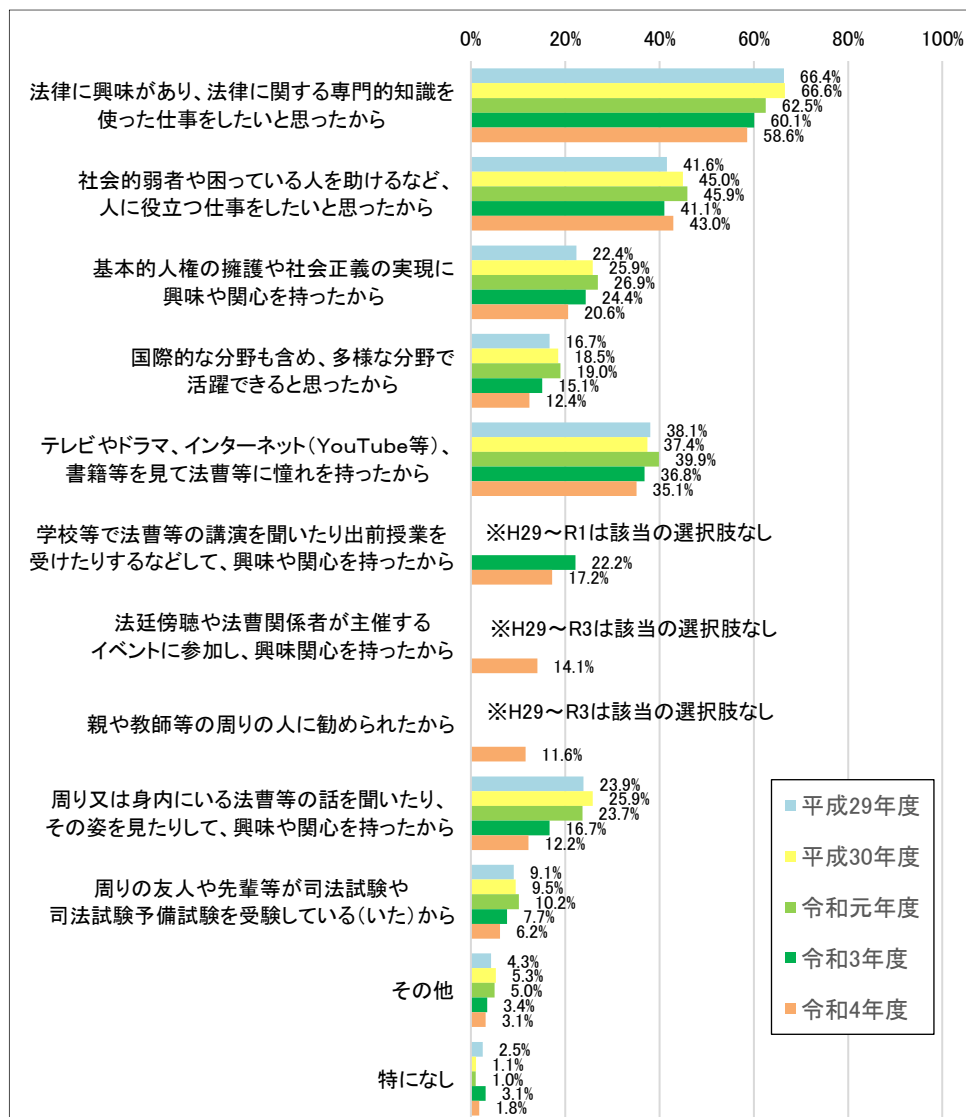
※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	525	329	177	132	301	—	—	—	189	72	34	20	791
	割合	66.4%	41.6%	22.4%	16.7%	38.1%	—	—	—	23.9%	9.1%	4.3%	2.5%	—
平成30年度	回答数	443	299	172	123	249	—	—	—	172	63	35	7	665
	割合	66.6%	45.0%	25.9%	18.5%	37.4%	—	—	—	25.9%	9.5%	5.3%	1.1%	—
令和元年度	回答数	362	266	156	110	231	—	—	—	137	59	29	6	579
	割合	62.5%	45.9%	26.9%	19.0%	39.9%	—	—	—	23.7%	10.2%	5.0%	1.0%	—
令和3年度	回答数	612	418	248	154	375	226	—	—	170	78	35	32	1,018
	割合	60.1%	41.1%	24.4%	15.1%	36.8%	22.2%	—	—	16.7%	7.7%	3.4%	3.1%	—
令和4年度	回答数	562	412	198	119	337	165	135	111	117	59	30	17	959
	割合	58.6%	43.0%	20.6%	12.4%	35.1%	17.2%	14.1%	11.6%	12.2%	6.2%	3.1%	1.8%	—

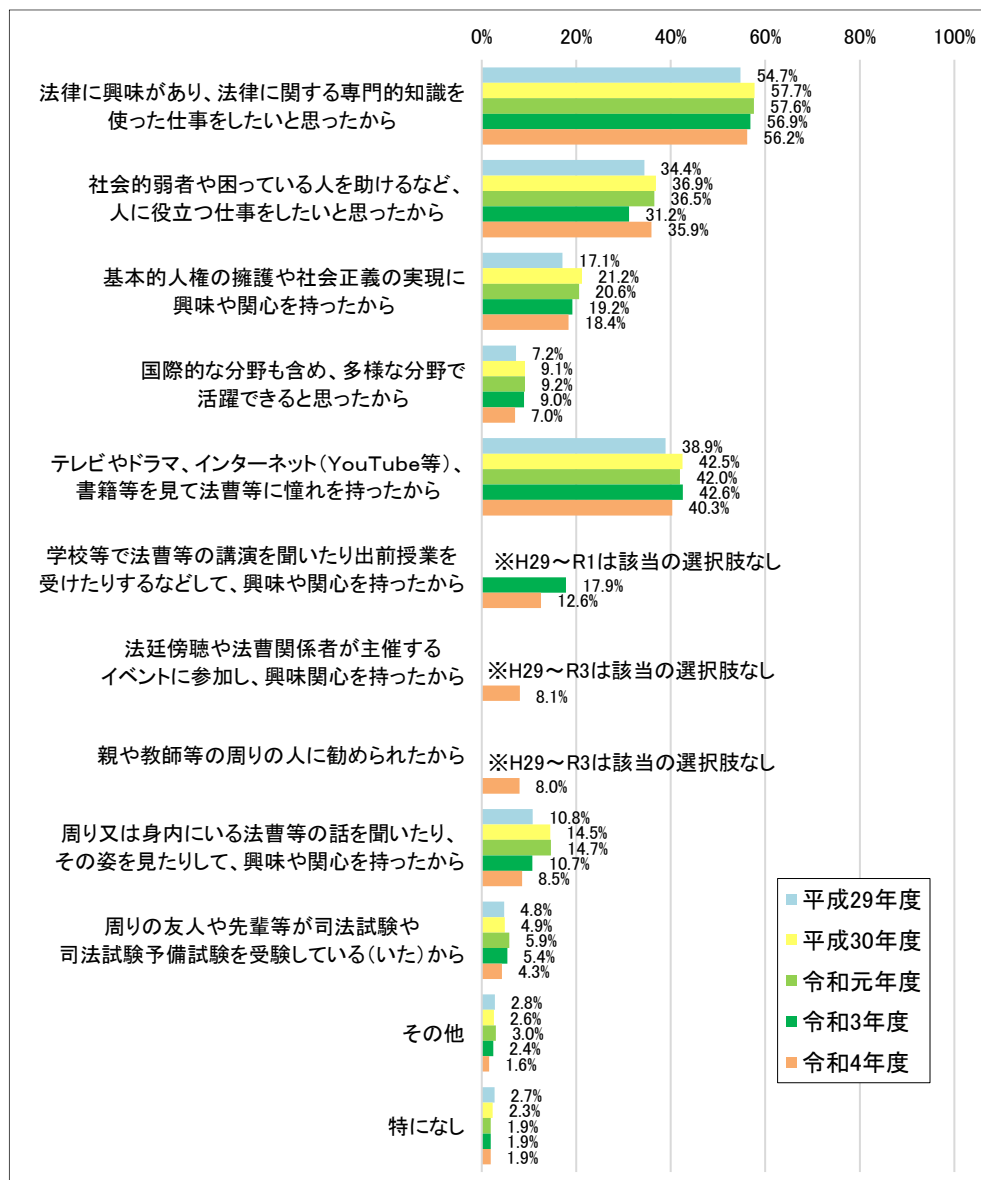
※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

ウ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	1,543	970	482	204	1,097	—	—	—	305	135	78	76	2,819
	割合	54.7%	34.4%	17.1%	7.2%	38.9%	—	—	—	10.8%	4.8%	2.8%	2.7%	—
平成30年度	回答数	1,187	758	436	188	874	—	—	—	299	101	53	48	2,056
	割合	57.7%	36.9%	21.2%	9.1%	42.5%	—	—	—	14.5%	4.9%	2.6%	2.3%	—
令和元年度	回答数	991	628	354	158	722	—	—	—	252	101	52	33	1,720
	割合	57.6%	36.5%	20.6%	9.2%	42.0%	—	—	—	14.7%	5.9%	3.0%	1.9%	—
令和3年度	回答数	768	421	259	121	575	241	—	—	145	73	33	26	1,350
	割合	56.9%	31.2%	19.2%	9.0%	42.6%	17.9%	—	—	10.7%	5.4%	2.4%	1.9%	—
令和3年度	回答数	743	475	243	93	533	166	107	106	113	57	21	25	1,322
	割合	56.2%	35.9%	18.4%	7.0%	40.3%	12.6%	8.1%	8.0%	8.5%	4.3%	1.6%	1.9%	—

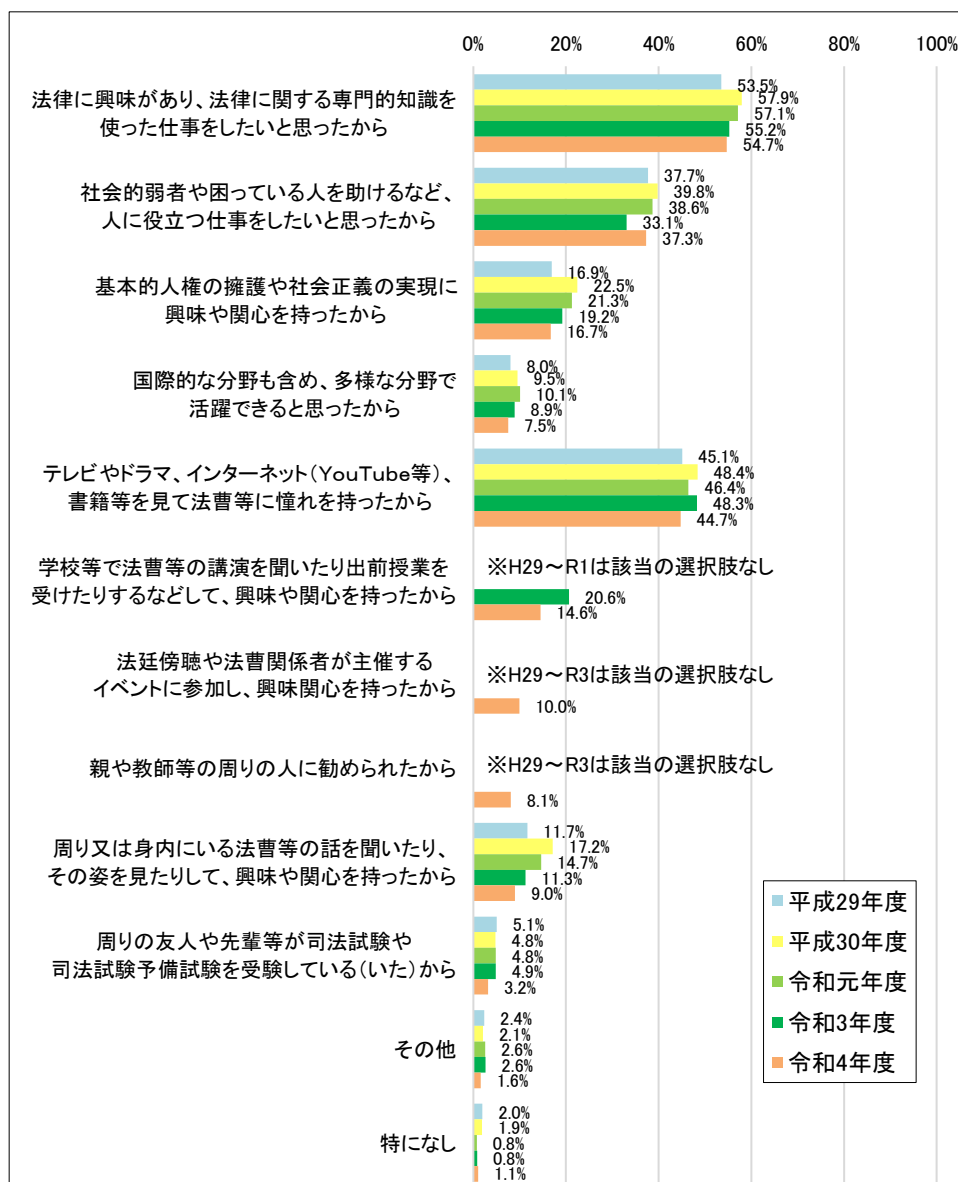
※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的な人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	673	474	213	101	567	—	—	—	147	64	30	25	1,258
	割合	53.5%	37.7%	16.9%	8.0%	45.1%	—	—	—	11.7%	5.1%	2.4%	2.0%	—
平成30年度	回答数	577	396	224	95	482	—	—	—	171	48	21	19	996
	割合	57.9%	39.8%	22.5%	9.5%	48.4%	—	—	—	17.2%	4.8%	2.1%	1.9%	—
令和元年度	回答数	448	303	167	79	364	—	—	—	115	38	20	6	784
	割合	57.1%	38.6%	21.3%	10.1%	46.4%	—	—	—	14.7%	4.8%	2.6%	0.8%	—
令和3年度	回答数	396	237	138	64	346	148	—	—	81	35	19	6	717
	割合	55.2%	33.1%	19.2%	8.9%	48.3%	20.6%	—	—	11.3%	4.9%	2.6%	0.8%	—
令和4年度	回答数	406	277	124	56	332	108	74	60	67	24	12	8	742
	割合	54.7%	37.3%	16.7%	7.5%	44.7%	14.6%	10.0%	8.1%	9.0%	3.2%	1.6%	1.1%	—

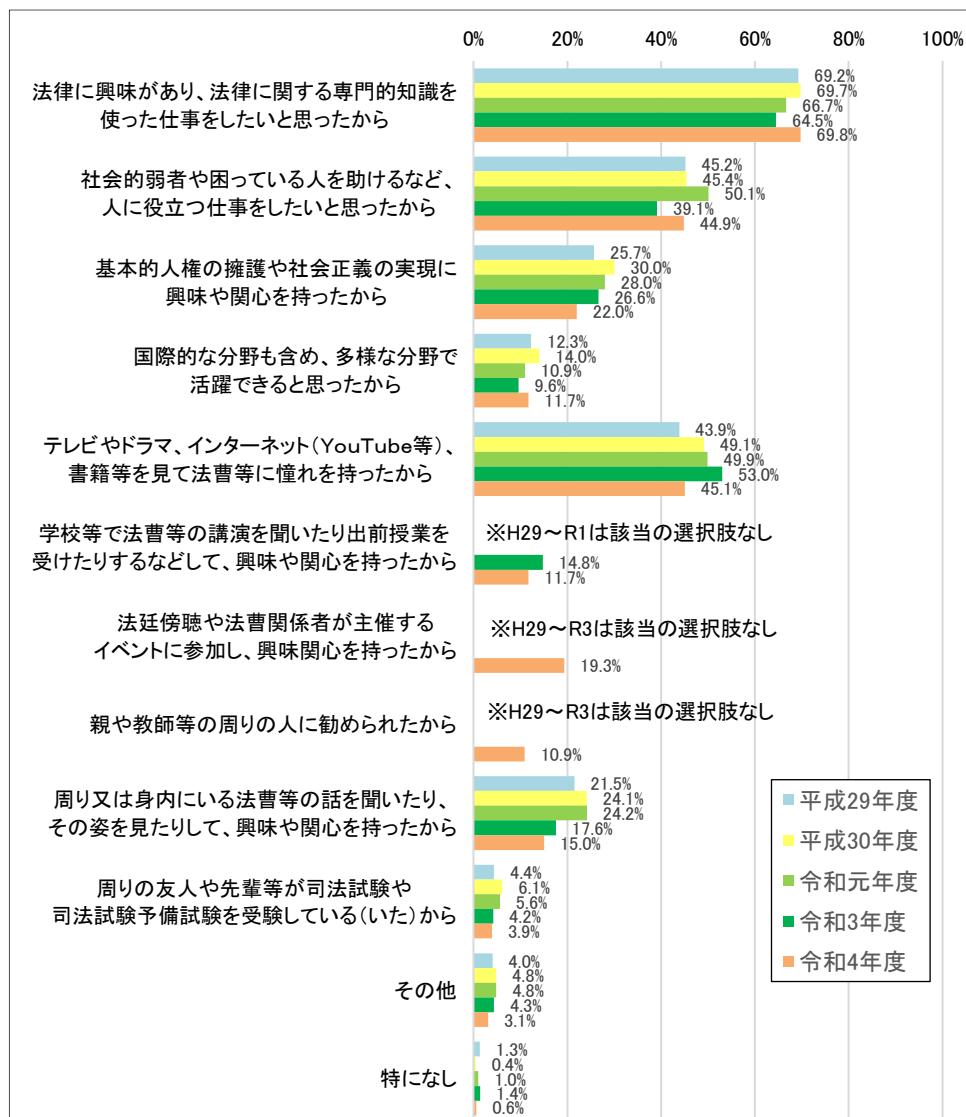
※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

オ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が中学生以前の学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
	平成29年度 回答数	412	269	153	73	261	—	—	—	128	26	24	8	595
	割合	69.2%	45.2%	25.7%	12.3%	43.9%	—	—	—	21.5%	4.4%	4.0%	1.3%	—
	平成30年度 回答数	318	207	137	64	224	—	—	—	110	28	22	2	456
	割合	69.7%	45.4%	30.0%	14.0%	49.1%	—	—	—	24.1%	6.1%	4.8%	0.4%	—
	令和元年度 回答数	262	197	110	43	196	—	—	—	95	22	19	4	393
	割合	66.7%	50.1%	28.0%	10.9%	49.9%	—	—	—	24.2%	5.6%	4.8%	1.0%	—
	令和3年度 回答数	371	225	153	55	305	85	—	—	101	24	25	8	575
	割合	64.5%	39.1%	26.6%	9.6%	53.0%	14.8%	—	—	17.6%	4.2%	4.3%	1.4%	—
	令和4年度 回答数	339	218	107	57	219	57	94	53	73	19	15	3	486
	割合	69.8%	44.9%	22.0%	11.7%	45.1%	11.7%	19.3%	10.9%	15.0%	3.9%	3.1%	0.6%	—

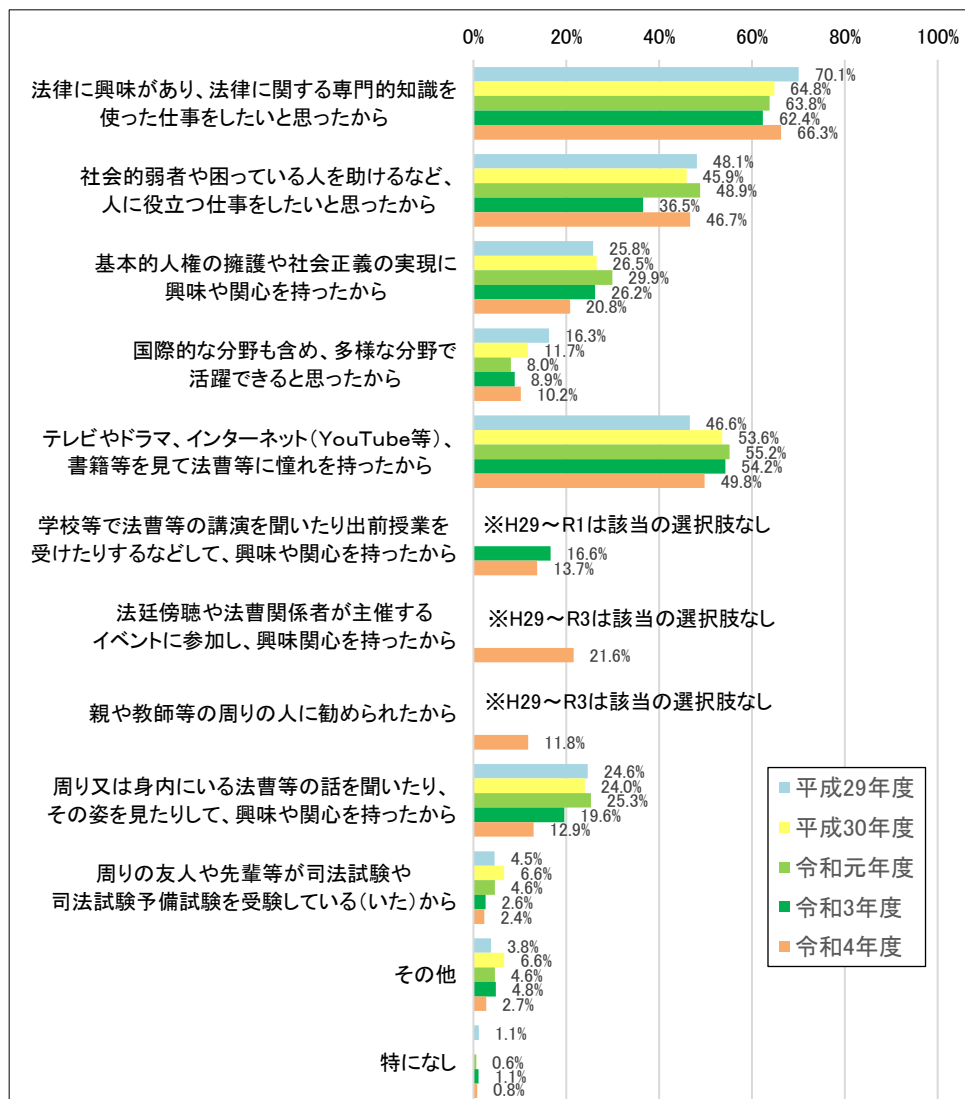
※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

カ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が中学生以前の女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	185	127	68	43	123	—	—	—	65	12	10	3	264
	割合	70.1%	48.1%	25.8%	16.3%	46.6%	—	—	—	24.6%	4.5%	3.8%	1.1%	—
平成30年度	回答数	127	90	52	23	105	—	—	—	47	13	13	0	196
	割合	64.8%	45.9%	26.5%	11.7%	53.6%	—	—	—	24.0%	6.6%	6.6%	0.0%	—
令和元年度	回答数	111	85	52	14	96	—	—	—	44	8	8	1	174
	割合	63.8%	48.9%	29.9%	8.0%	55.2%	—	—	—	25.3%	4.6%	4.6%	0.6%	—
令和3年度	回答数	169	99	71	24	147	45	—	—	53	7	13	3	271
	割合	62.4%	36.5%	26.2%	8.9%	54.2%	16.6%	—	—	19.6%	2.6%	4.8%	1.1%	—
令和4年度	回答数	169	119	53	26	127	35	55	30	33	6	7	2	255
	割合	66.3%	46.7%	20.8%	10.2%	49.8%	13.7%	21.6%	11.8%	12.9%	2.4%	2.7%	0.8%	—

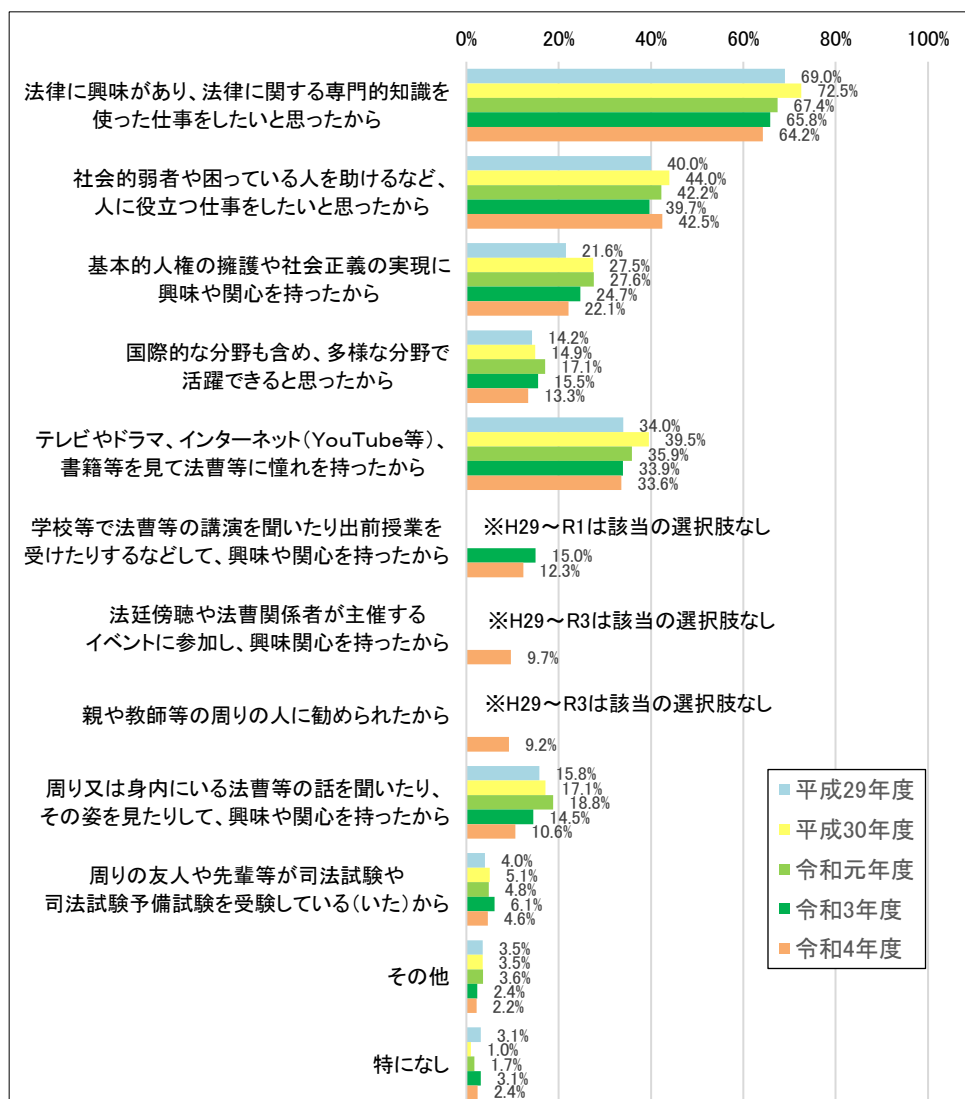
※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

キ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が高校生になってからの学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できと思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	550	319	172	113	271	-	-	-	126	32	28	25	797
	割合	69.0%	40.0%	21.6%	14.2%	34.0%	-	-	-	15.8%	4.0%	3.5%	3.1%	-
平成30年度	回答数	457	277	173	94	249	-	-	-	108	32	22	6	630
	割合	72.5%	44.0%	27.5%	14.9%	39.5%	-	-	-	17.1%	5.1%	3.5%	1.0%	-
令和元年度	回答数	391	245	160	99	208	-	-	-	109	28	21	10	580
	割合	67.4%	42.2%	27.6%	17.1%	35.9%	-	-	-	18.8%	4.8%	3.6%	1.7%	-
令和3年度	回答数	637	384	239	150	328	145	-	-	140	59	23	30	968
	割合	65.8%	39.7%	24.7%	15.5%	33.9%	15.0%	-	-	14.5%	6.1%	2.4%	3.1%	-
令和4年度	回答数	558	369	192	116	292	107	84	80	92	40	19	21	869
	割合	64.2%	42.5%	22.1%	13.3%	33.6%	12.3%	9.7%	9.2%	10.6%	4.6%	2.2%	2.4%	-

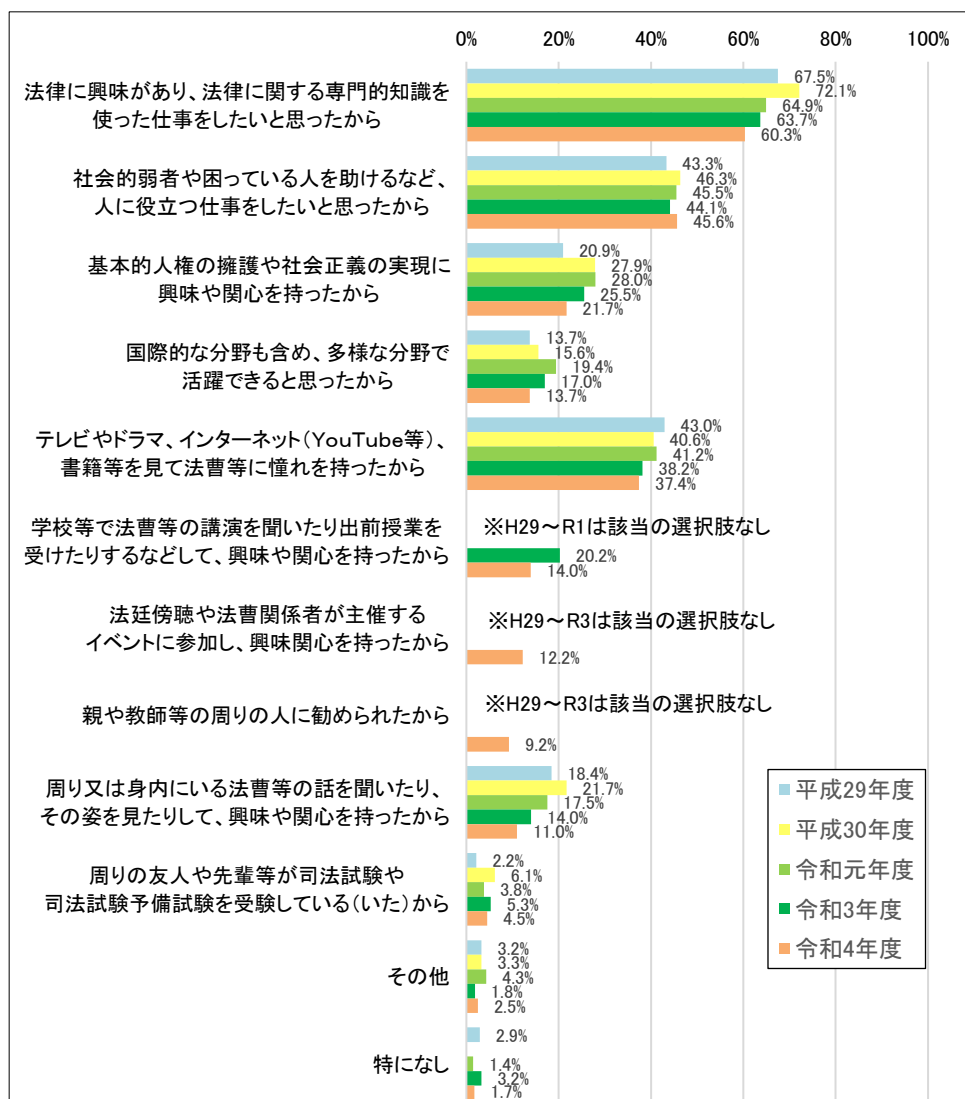
※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

ク 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が高校生になってからの女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	187	120	58	38	119	-	-	-	51	6	9	8	277
	割合	67.5%	43.3%	20.9%	13.7%	43.0%	-	-	-	18.4%	2.2%	3.2%	2.9%	-
平成30年度	回答数	176	113	68	38	99	-	-	-	53	15	8	0	244
	割合	72.1%	46.3%	27.9%	15.6%	40.6%	-	-	-	21.7%	6.1%	3.3%	0.0%	-
令和元年度	回答数	137	96	59	41	87	-	-	-	37	8	9	3	211
	割合	64.9%	45.5%	28.0%	19.4%	41.2%	-	-	-	17.5%	3.8%	4.3%	1.4%	-
令和3年度	回答数	277	192	111	74	166	88	-	-	61	23	8	14	435
	割合	63.7%	44.1%	25.5%	17.0%	38.2%	20.2%	-	-	14.0%	5.3%	1.8%	3.2%	-
令和4年度	回答数	242	183	87	55	150	56	49	37	44	18	10	7	401
	割合	60.3%	45.6%	21.7%	13.7%	37.4%	14.0%	12.2%	9.2%	11.0%	4.5%	2.5%	1.7%	-

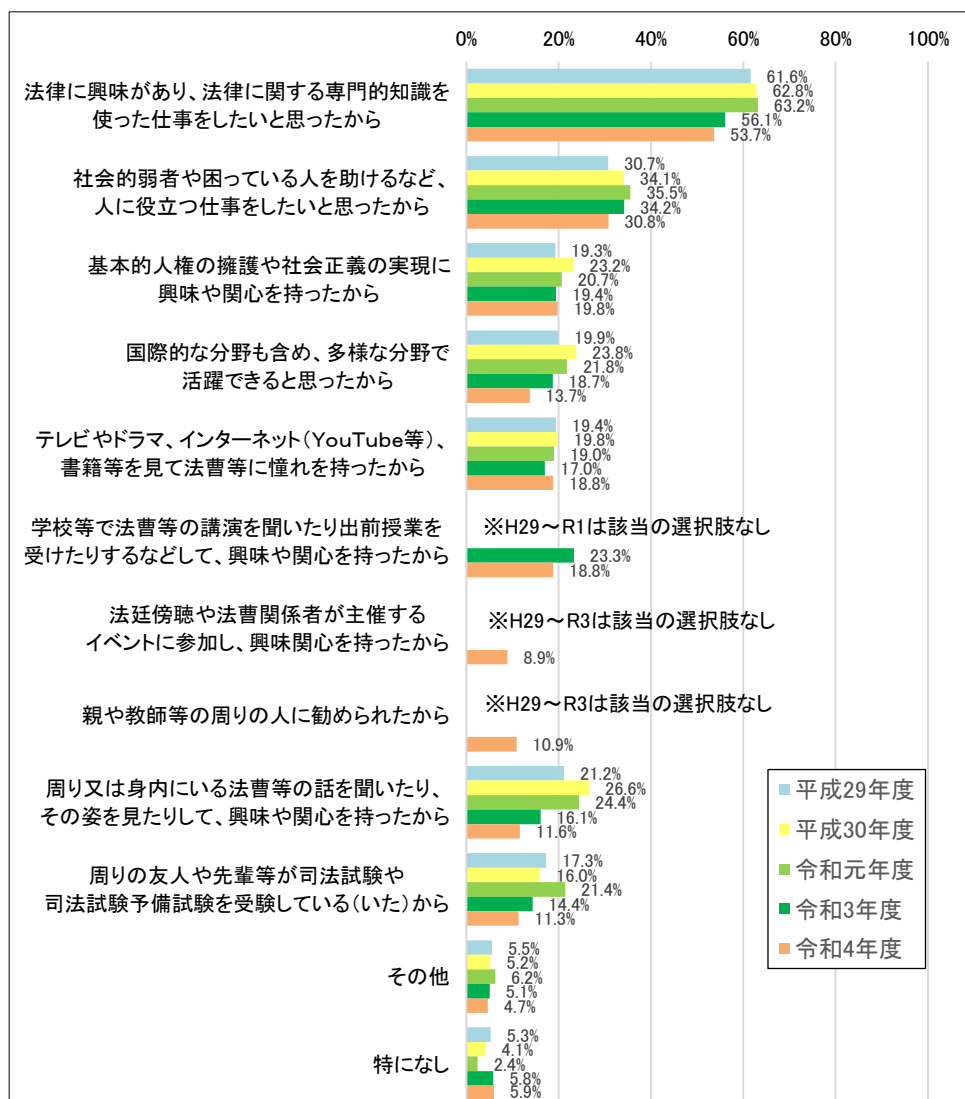
※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

ケ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が大学生になってからの学生



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	489	244	153	158	154	-	-	-	168	137	44	42	794
	割合	61.6%	30.7%	19.3%	19.9%	19.4%	-	-	-	21.2%	17.3%	5.5%	5.3%	-
平成30年度	回答数	409	222	151	155	129	-	-	-	173	104	34	27	651
	割合	62.8%	34.1%	23.2%	23.8%	19.8%	-	-	-	26.6%	16.0%	5.2%	4.1%	-
令和元年度	回答数	336	189	110	116	101	-	-	-	130	114	33	13	532
	割合	63.2%	35.5%	20.7%	21.8%	19.0%	-	-	-	24.4%	21.4%	6.2%	2.4%	-
令和3年度	回答数	453	276	157	151	137	188	-	-	130	116	41	47	808
	割合	56.1%	34.2%	19.4%	18.7%	17.0%	23.3%	-	-	16.1%	14.4%	5.1%	5.8%	-
令和4年度	回答数	380	218	140	97	133	133	63	77	82	80	33	42	708
	割合	53.7%	30.8%	19.8%	13.7%	18.8%	18.8%	8.9%	10.9%	11.6%	11.3%	4.7%	5.9%	-

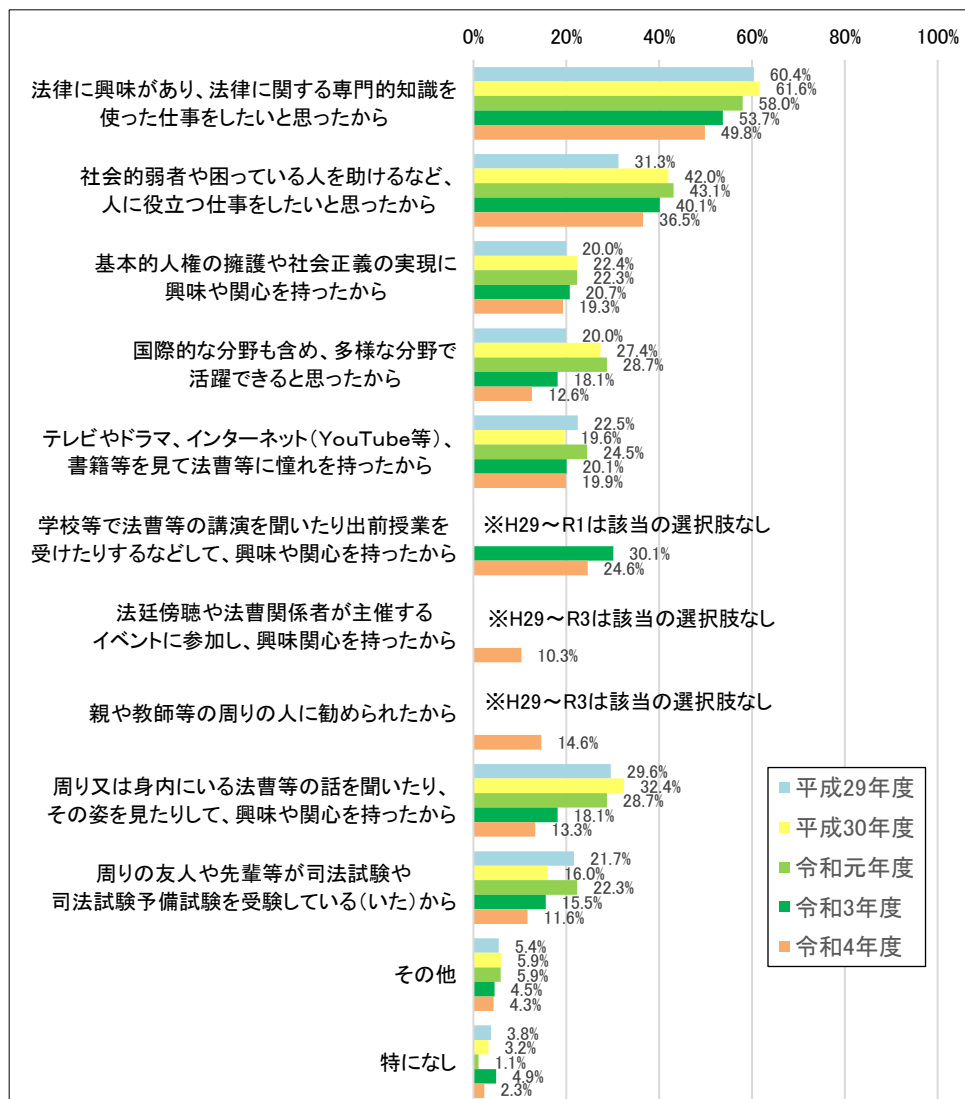
※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

コ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹等を志望した時期が大学生になってからの女性



MA	選択肢	法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから	社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから	基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから	国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから	テレビやドラマ、インターネット(YouTube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから	学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから	法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから	親や教師等の周りの人に勧められたから	周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたりその姿を見たりして、興味や関心を持ったから	周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	145	75	48	48	54	-	-	-	71	52	13	9	240
	割合	60.4%	31.3%	20.0%	20.0%	22.5%	-	-	-	29.6%	21.7%	5.4%	3.8%	-
平成30年度	回答数	135	92	49	60	43	-	-	-	71	35	13	7	219
	割合	61.6%	42.0%	22.4%	27.4%	19.6%	-	-	-	32.4%	16.0%	5.9%	3.2%	-
令和元年度	回答数	109	81	42	54	46	-	-	-	54	42	11	2	188
	割合	58.0%	43.1%	22.3%	28.7%	24.5%	-	-	-	28.7%	22.3%	5.9%	1.1%	-
令和3年度	回答数	166	124	64	56	62	93	-	-	56	48	14	15	309
	割合	53.7%	40.1%	20.7%	18.1%	20.1%	30.1%	-	-	18.1%	15.5%	4.5%	4.9%	-
令和4年度	回答数	150	110	58	38	60	74	31	44	40	35	13	7	301
	割合	49.8%	36.5%	19.3%	12.6%	19.9%	24.6%	10.3%	14.6%	13.3%	11.6%	4.3%	2.3%	-

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「テレビやドラマ等を見て法曹等に憧れを持ったから」

※6番目の選択肢(法曹等の講演や出前授業)は令和3年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベント)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

3. 法曹等の魅力

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹等の仕事のどんなところに魅力を感じるかを尋ねた結果、平成 29 年度以降の全調査において、「法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ」との回答割合が最も高い。ただし平成 30 年度以降減少が続いており、令和4年度は60%まで減少している。次いで、「社会的弱者や困っている人を助けることができるところ」、「社会的地位・信用が高いところ」の回答割合が高い。

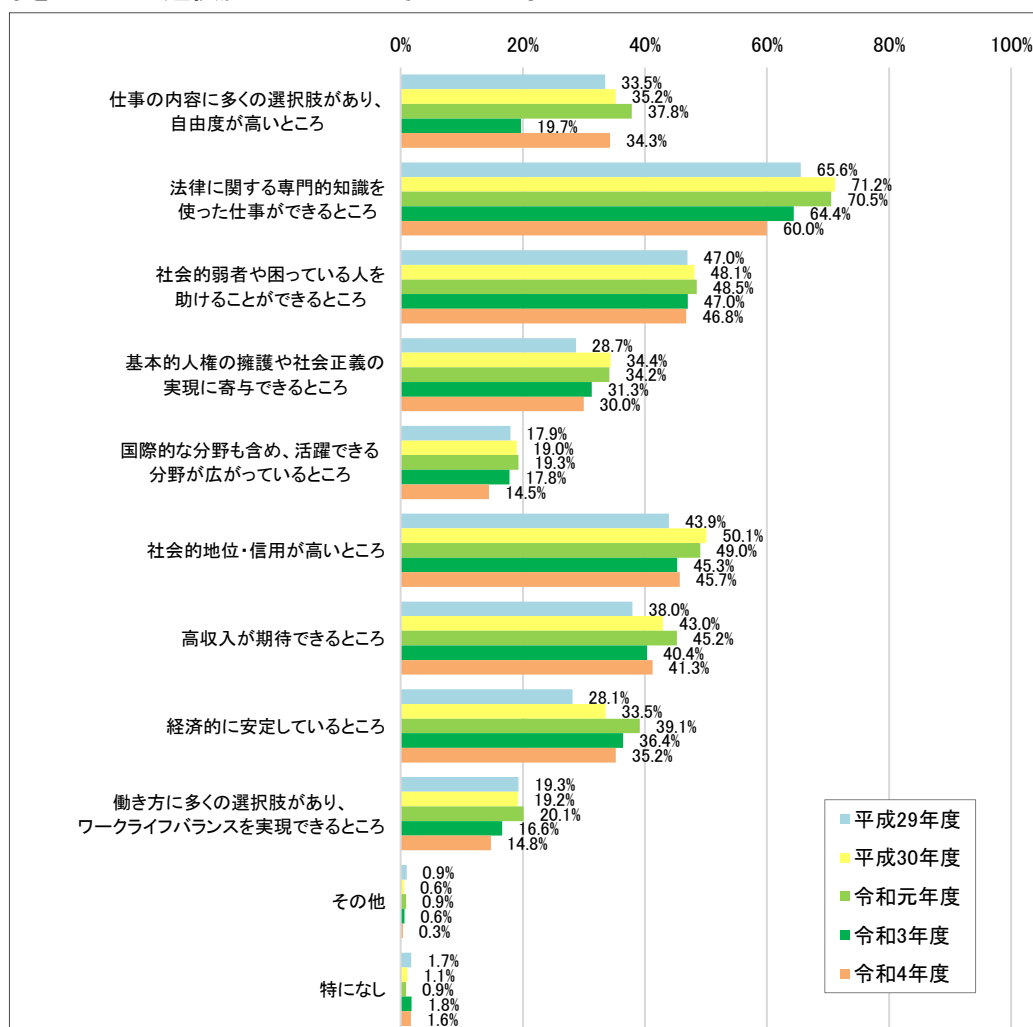
「仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ」の回答割合は、令和3年度調査において、低くなっていたが、令和4年度調査では令和元年度までと同程度となっている。

女性に限って見た場合、全体に比して「社会的弱者や困っている人を助けることができるところ」との回答割合が相対的に高い。

また、過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生についてみると、令和4年度調査においては、現在志望又は選択肢の1つとして考えている学生に比して、「仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ」、「経済的に安定しているところ」との回答割合が 10 ポイント以上低い。この傾向は、女性に限って見た場合も同様である。

なお、「その他」として、令和4年度調査では、「高収入だから」、「性別関係なく活躍できると思ったから」、「模擬裁判で裁判官役をやり、とても魅力を感じたから」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

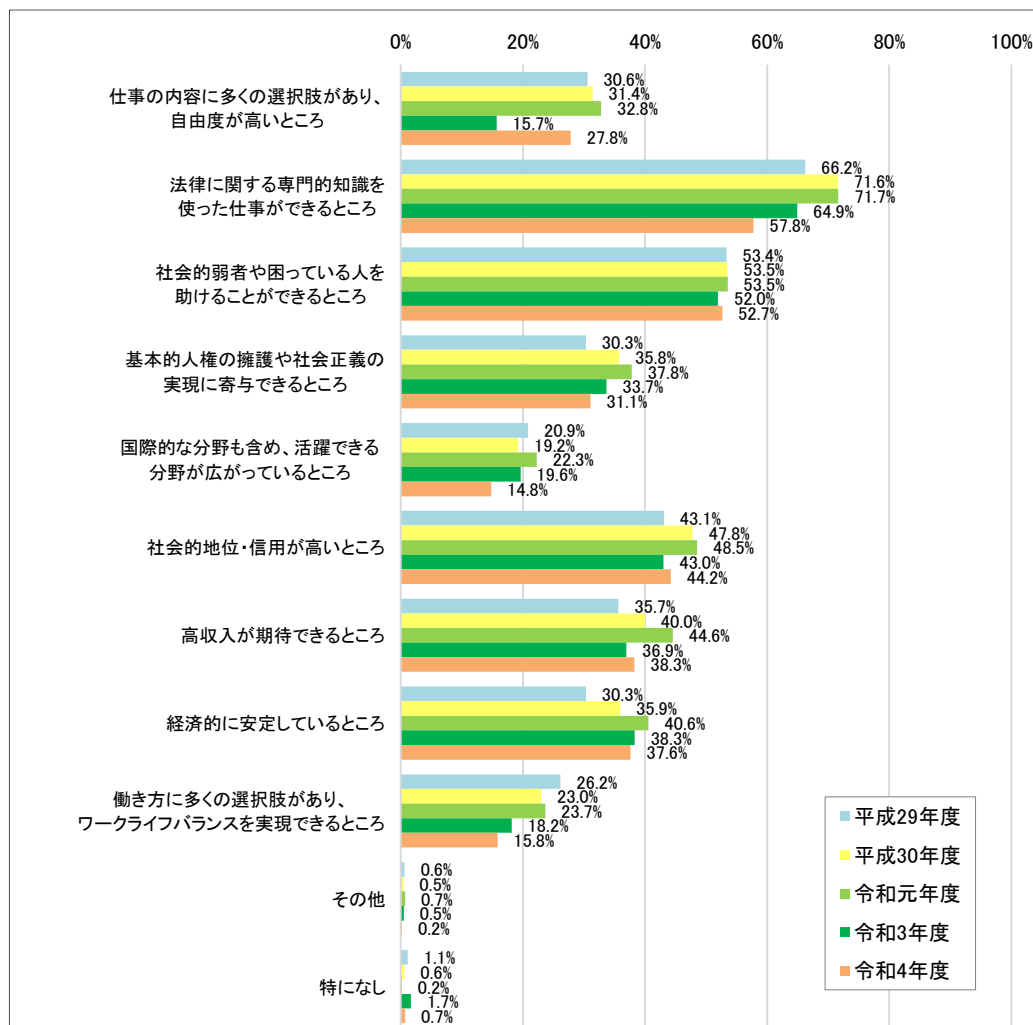


MA	選択肢	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	経済的に安定しているところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	741	1,450	1,039	635	397	972	840	622	427	21	38	2,212
	割合	33.5%	65.6%	47.0%	28.7%	17.9%	43.9%	38.0%	28.1%	19.3%	0.9%	1.7%	－
平成30年度	回答数	617	1,246	843	602	333	877	753	587	336	10	19	1,751
	割合	35.2%	71.2%	48.1%	34.4%	19.0%	50.1%	43.0%	33.5%	19.2%	0.6%	1.1%	－
令和元年度	回答数	573	1,068	735	518	292	743	685	593	305	13	13	1,515
	割合	37.8%	70.5%	48.5%	34.2%	19.3%	49.0%	45.2%	39.1%	20.1%	0.9%	0.9%	－
令和3年度	回答数	466	1,523	1,112	740	421	1,072	955	862	393	14	42	2,366
	割合	19.7%	64.4%	47.0%	31.3%	17.8%	45.3%	40.4%	36.4%	16.6%	0.6%	1.8%	－
令和4年度	回答数	713	1,248	973	623	301	951	858	733	307	7	34	2,080
	割合	34.3%	60.0%	46.8%	30.0%	14.5%	45.7%	41.3%	35.2%	14.8%	0.3%	1.6%	－

※1番目の選択肢について、令和3年度調査までは「仕事の内容を自由に選べるところ」

※9番目の選択肢について、令和3年度調査までは「自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できるところ」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性

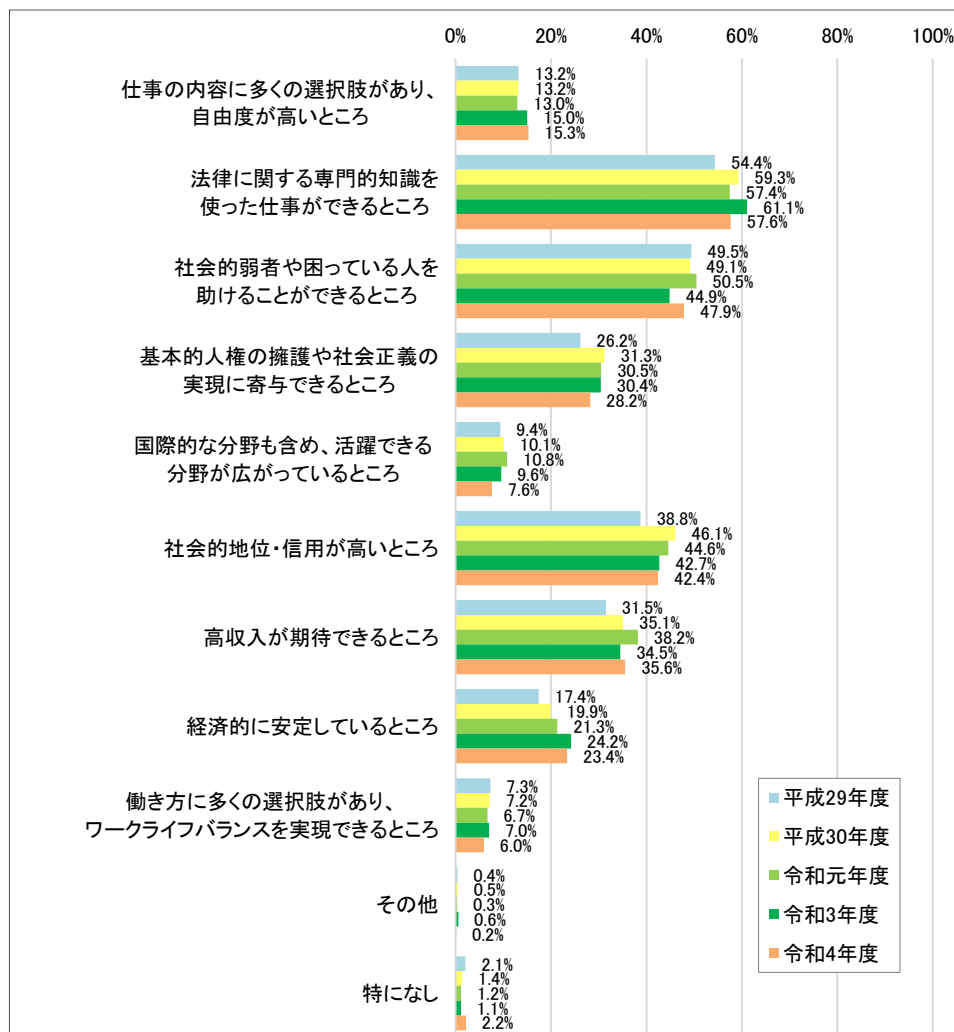


MA	選択肢	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	経済的に安定しているところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	242	524	422	240	165	341	282	240	207	5	9	791
	割合	30.6%	66.2%	53.4%	30.3%	20.9%	43.1%	35.7%	30.3%	26.2%	0.6%	1.1%	—
平成30年度	回答数	209	476	356	238	128	318	266	239	153	3	4	665
	割合	31.4%	71.6%	53.5%	35.8%	19.2%	47.8%	40.0%	35.9%	23.0%	0.5%	0.6%	—
令和元年度	回答数	190	415	310	219	129	281	258	235	137	4	1	579
	割合	32.8%	71.7%	53.5%	37.8%	22.3%	48.5%	44.6%	40.6%	23.7%	0.7%	0.2%	—
令和3年度	回答数	160	661	529	343	200	438	376	390	185	5	17	1,018
	割合	15.7%	64.9%	52.0%	33.7%	19.6%	43.0%	36.9%	38.3%	18.2%	0.5%	1.7%	—
令和4年度	回答数	267	554	505	298	142	424	367	361	152	2	7	959
	割合	27.8%	57.8%	52.7%	31.1%	14.8%	44.2%	38.3%	37.6%	15.8%	0.2%	0.7%	—

※1番目の選択肢について、令和3年度調査までは「仕事の内容を自由に選べるところ」

※9番目の選択肢について、令和3年度調査までは「自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できるところ」

ウ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生

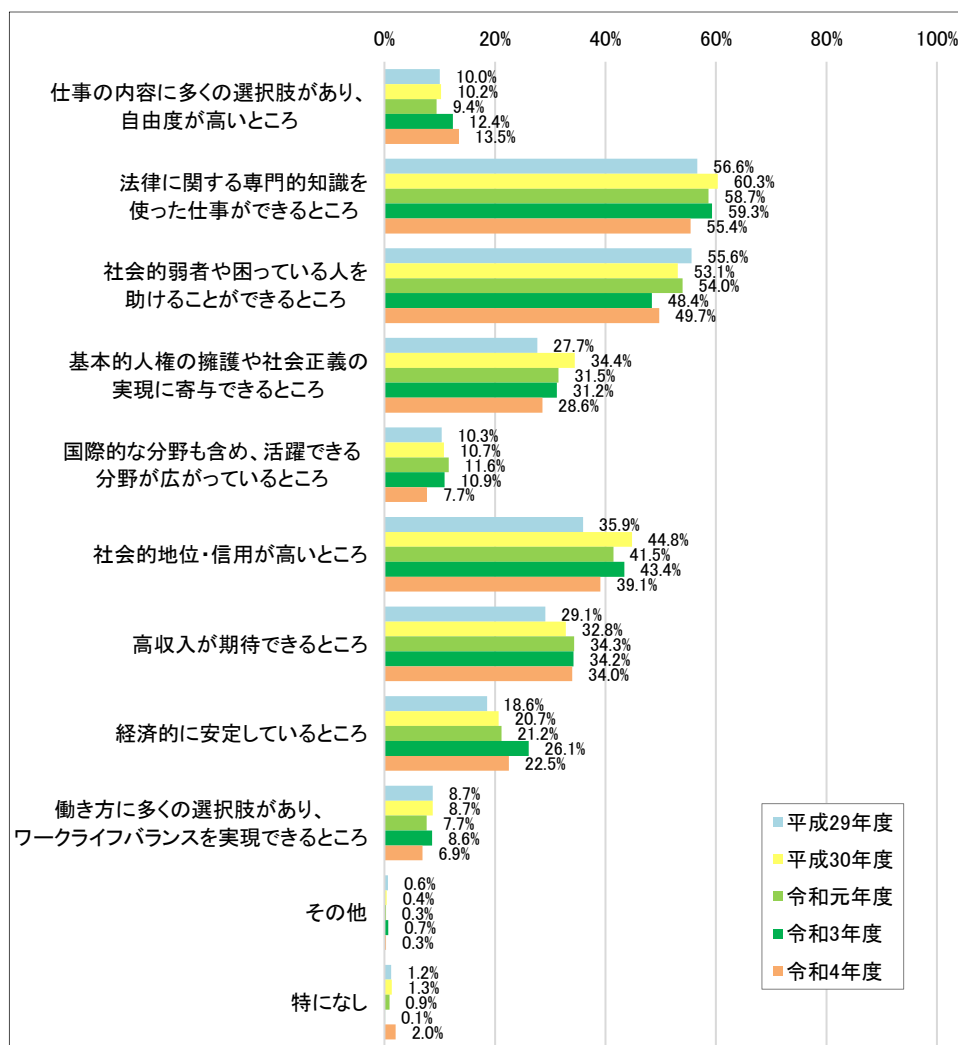


MA	選択肢	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	経済的に安定しているところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	373	1,533	1,394	738	264	1,093	888	491	206	12	59	2,819
	割合	13.2%	54.4%	49.5%	26.2%	9.4%	38.8%	31.5%	17.4%	7.3%	0.4%	2.1%	-
平成30年度	回答数	272	1,219	1,010	643	208	947	722	410	148	10	29	2,056
	割合	13.2%	59.3%	49.1%	31.3%	10.1%	46.1%	35.1%	19.9%	7.2%	0.5%	1.4%	-
令和元年度	回答数	223	988	868	525	186	767	657	367	115	6	20	1,720
	割合	13.0%	57.4%	50.5%	30.5%	10.8%	44.6%	38.2%	21.3%	6.7%	0.3%	1.2%	-
令和3年度	回答数	203	825	606	411	129	577	466	327	95	8	15	1,350
	割合	15.0%	61.1%	44.9%	30.4%	9.6%	42.7%	34.5%	24.2%	7.0%	0.6%	1.1%	-
令和4年度	回答数	202	762	633	373	101	561	470	309	79	2	29	1,322
	割合	15.3%	57.6%	47.9%	28.2%	7.6%	42.4%	35.6%	23.4%	6.0%	0.2%	2.2%	-

※1番目の選択肢について、令和3年度調査までは「仕事の内容を自由に選べるところ」

※9番目の選択肢について、令和3年度調査までは「自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できるところ」

エ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



MA	選択肢	仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ	法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ	社会的弱者や困っている人を助けることができるところ	基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ	国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ	社会的地位・信用が高いところ	高収入が期待できるところ	経済的に安定しているところ	働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランスを実現できるところ	その他	特になし	回答者数
平成29年度	回答数	126	712	699	348	130	452	366	234	110	8	15	1,258
	割合	10.0%	56.6%	55.6%	27.7%	10.3%	35.9%	29.1%	18.6%	8.7%	0.6%	1.2%	—
平成30年度	回答数	102	601	529	343	107	446	327	206	87	4	13	996
	割合	10.2%	60.3%	53.1%	34.4%	10.7%	44.8%	32.8%	20.7%	8.7%	0.4%	1.3%	—
令和元年度	回答数	74	460	423	247	91	325	269	166	60	2	7	784
	割合	9.4%	58.7%	54.0%	31.5%	11.6%	41.5%	34.3%	21.2%	7.7%	0.3%	0.9%	—
令和3年度	回答数	89	425	347	224	78	311	245	187	62	5	1	717
	割合	12.4%	59.3%	48.4%	31.2%	10.9%	43.4%	34.2%	26.1%	8.6%	0.7%	0.1%	—
令和4年度	回答数	100	411	369	212	57	290	252	167	51	2	15	742
	割合	13.5%	55.4%	49.7%	28.6%	7.7%	39.1%	34.0%	22.5%	6.9%	0.3%	2.0%	—

※1番目の選択肢について、令和3年度調査までは「仕事の内容を自由に選べるところ」

※9番目の選択肢について、令和3年度調査までは「自分に合った働き方を選択することが可能でありワークライフバランスを実現できるところ」

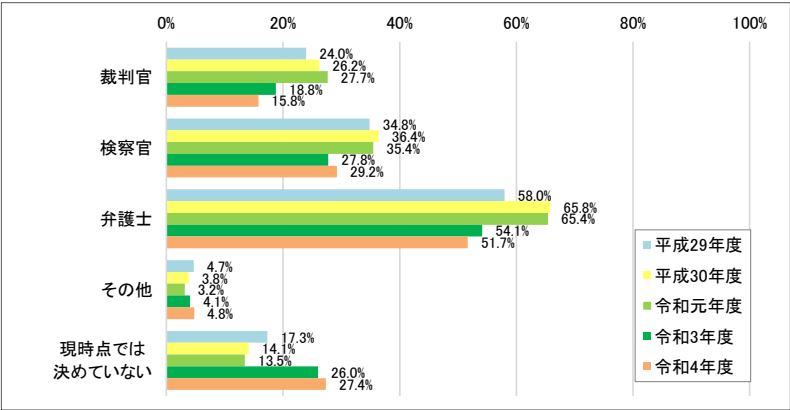
4. 法曹等としての進路

現在、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹等としてどのような進路を考えているかを尋ねた結果、平成 29 年度以降の全調査では、「弁護士」との回答割合が最も高く、過半数を占めているが、令和4年度は約 52%とやや低い。「弁護士」に次いで「検察官」、「裁判官」の順となった。

令和3年度以降、「現時点では決めていない」(令和3年度調査は「まだ決めていない」)の割合が増加している。

女性に限って見た場合も、全体と比べて顕著な違いは見られないが、「弁護士」は約 47%と半数以下にとどまっている。

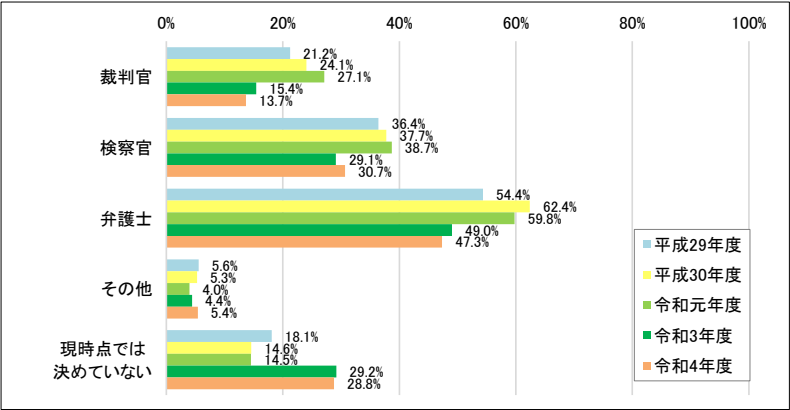
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	裁判官	検察官	弁護士	その他	現時点では決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	530	770	1,282	104	383	2,212
	割合	24.0%	34.8%	58.0%	4.7%	17.3%	—
平成 30 年度	回答数	459	637	1,152	67	247	1,751
	割合	26.2%	36.4%	65.8%	3.8%	14.1%	—
令和元年度	回答数	419	537	991	48	204	1,515
	割合	27.7%	35.4%	65.4%	3.2%	13.5%	—
令和3年度	回答数	444	657	1,281	96	615	2,366
	割合	18.8%	27.8%	54.1%	4.1%	26.0%	—
令和4年度	回答数	328	608	1,075	99	569	2,080
	割合	15.8%	29.2%	51.7%	4.8%	27.4%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「まだ決めていない」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	裁判官	検察官	弁護士	その他	現時点では決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	168	288	430	44	143	791
	割合	21.2%	36.4%	54.4%	5.6%	18.1%	—
平成 30 年度	回答数	160	251	415	35	97	665
	割合	24.1%	37.7%	62.4%	5.3%	14.6%	—
令和元年度	回答数	157	224	346	23	84	579
	割合	27.1%	38.7%	59.8%	4.0%	14.5%	—
令和3年度	回答数	157	296	499	45	297	1,018
	割合	15.4%	29.1%	49.0%	4.4%	29.2%	—
令和4年度	回答数	131	294	454	52	276	959
	割合	13.7%	30.7%	47.3%	5.4%	28.8%	—

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「まだ決めていない」

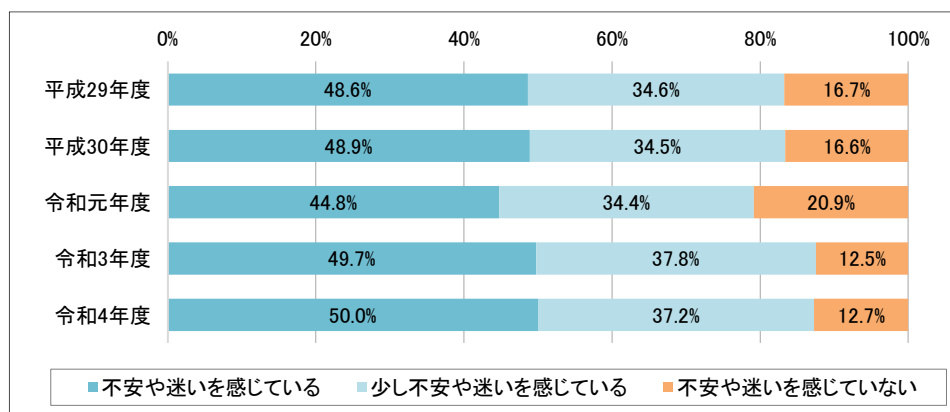
第5 法曹等を志望するに当たっての不安や迷い、法曹等を断念した理由等

1. 法曹等を志望するに当たっての不安や迷いの有無

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹等を志望するに当たって不安や迷いを感じているかを尋ねた結果、半数近い学生が「不安や迷いを感じている」と回答した。「不安や迷いを感じている」と「少し不安や迷いを感じている」の回答割合の合計は、平成29年度以降、80%前後で推移してきたところ、令和3年度調査では87%台に増加し、令和4年度もほぼ同じ割合となっている。

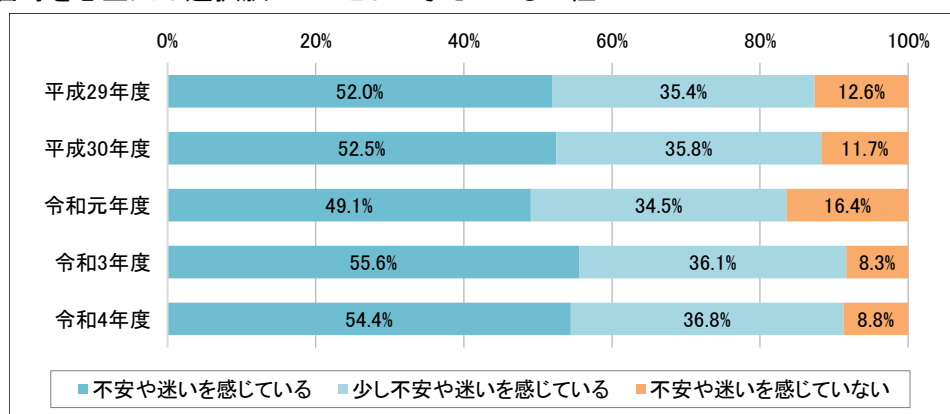
女性に限って見た場合、全体的な傾向に大きな違いはないが、不安や迷いを感じている割合が相対的に高く、令和3年度、4年度は90%を超えている。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	不安や迷いを感じている	少し不安や迷いを感じている	不安や迷いを感じていない	回答者数
平成29年度	回答数	1,076	766	370	2,212
	割合	48.6%	34.6%	16.7%	100.0%
平成30年度	回答数	856	604	291	1,751
	割合	48.9%	34.5%	16.6%	100.0%
令和元年度	回答数	678	521	316	1,515
	割合	44.8%	34.4%	20.9%	100.0%
令和3年度	回答数	1,177	894	295	2,366
	割合	49.7%	37.8%	12.5%	100.0%
令和4年度	回答数	1,041	774	265	2,080
	割合	50.0%	37.2%	12.7%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	不安や迷いを感じている	少し不安や迷いを感じている	不安や迷いを感じていない	回答者数
平成29年度	回答数	411	280	100	791
	割合	52.0%	35.4%	12.6%	100.0%
平成30年度	回答数	349	238	78	665
	割合	52.5%	35.8%	11.7%	100.0%
令和元年度	回答数	284	200	95	579
	割合	49.1%	34.5%	16.4%	100.0%
令和3年度	回答数	566	367	85	1,018
	割合	55.6%	36.1%	8.3%	100.0%
令和4年度	回答数	522	353	84	959
	割合	54.4%	36.8%	8.8%	100.0%

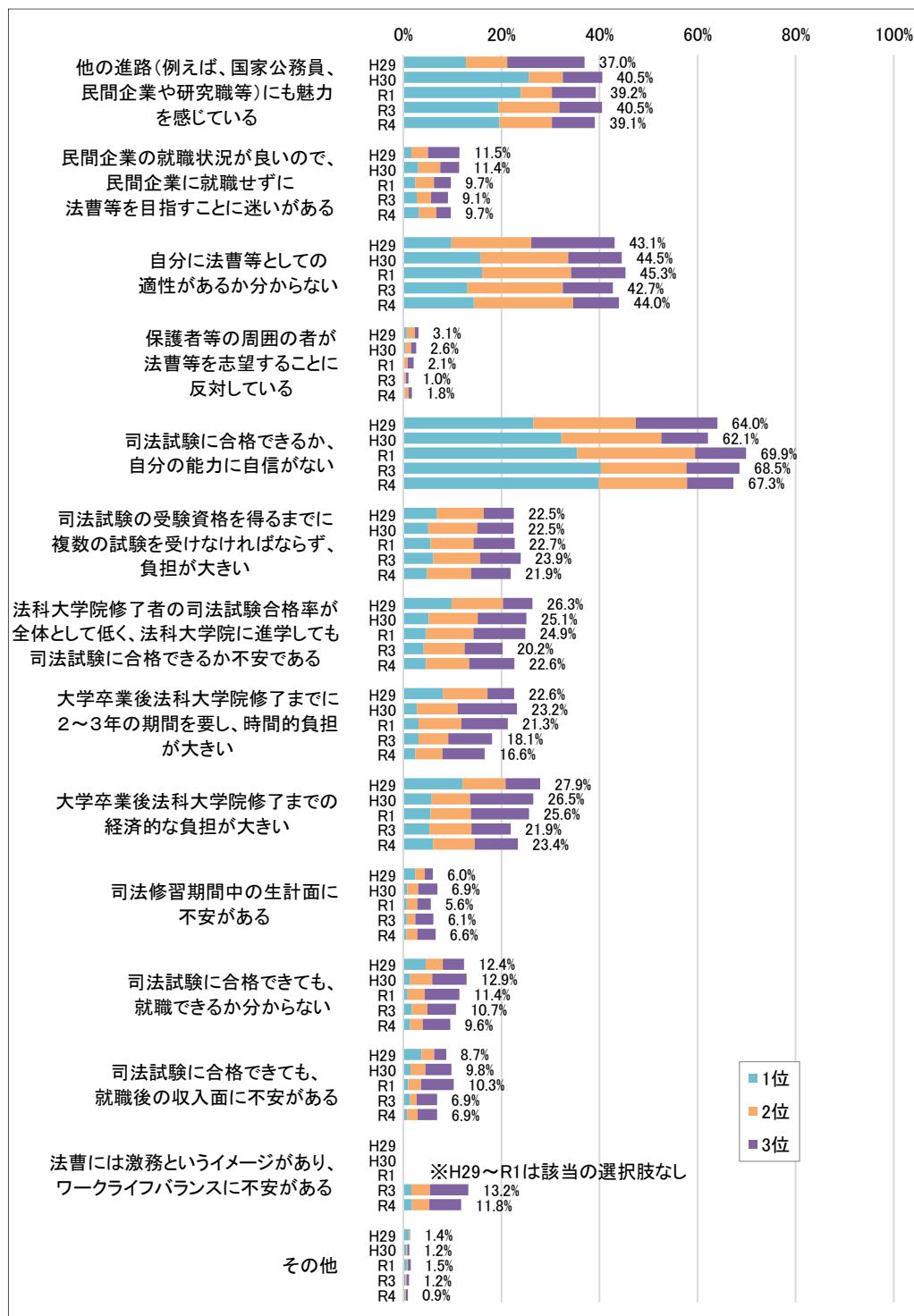
2. 法曹等を志望するに当たって感じている不安や迷いの内容

法曹等を志望するに当たって不安や迷いを感じていると回答した学生に、不安や迷いの内容について大きいものから順に3つ選んでもらった結果、「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない」との回答が最も多く、60%以上となった。続いて、「自分に法曹等としての適性があるか分からない」との回答割合が40%以上、「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている」との回答割合が40%前後であった。一方、経済的負担や時間的負担の大きさを理由に挙げる学生の割合は減少傾向であったが、令和4年度調査で経済的負担については約23%とやや増加する一方で時間的負担については約17%と減少が続いた。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

なお、「その他」として、令和4年度調査では、「法律とは全く違う分野に対しても興味が出てきた」、「大学院、司法修習期間の費用が賄い切れない」、「自分が興味を持てるかわからない」、「希望する職務ができるか分からない」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

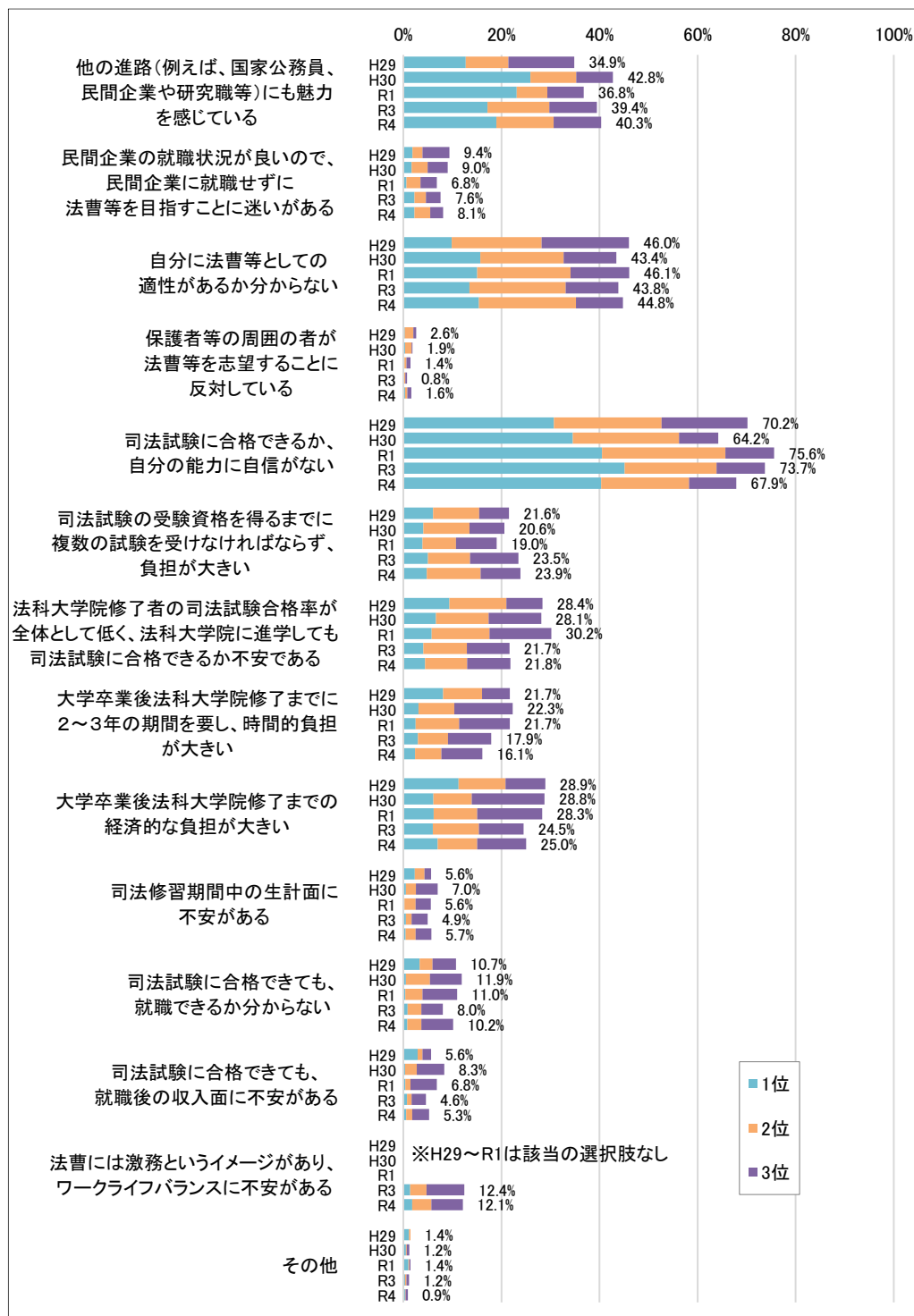


	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就労せず法曹を目指すことに迷いがある	自分に法曹等としての適性があるから分らない	保護者等の周囲の者が法曹等を志することに反対している	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	司法修習期間中の生活に不安がある	司法試験に合格できても、就職できるか分からない	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある	法曹には激務というイメージがあり、ワークライフバランスに不安がある	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度	回答数	235	30	180	13	488	127	181	148	222	45	84	69	—	20	0	1,842
		割合	12.8%	1.6%	9.8%	0.7%	26.5%	6.9%	9.8%	8.0%	12.1%	2.4%	4.6%	3.7%	—	1.1%	0.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	374	44	229	6	470	74	76	41	84	12	20	21	—	9	0	1,460
		割合	25.6%	3.0%	15.7%	0.4%	32.2%	5.1%	5.2%	2.8%	5.8%	0.8%	1.4%	1.4%	—	0.6%	0.0%	100.0%
	令和元年度	回答数	287	29	192	2	425	66	56	37	66	8	10	12	—	9	0	1,199
		割合	23.9%	2.4%	16.0%	0.2%	35.4%	5.5%	4.7%	3.1%	5.5%	0.7%	0.8%	1.0%	—	0.8%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	402	56	271	1	834	127	86	64	110	14	36	28	34	8	0	2,071
		割合	19.4%	2.7%	13.1%	0.0%	40.3%	6.1%	4.2%	3.1%	5.3%	0.7%	1.7%	1.4%	1.6%	0.4%	0.0%	100.0%
2位	平成30年度	回答数	356	58	260	5	724	88	83	44	110	11	25	14	31	6	0	1,815
		割合	19.6%	3.2%	14.3%	0.3%	39.9%	4.8%	4.6%	2.4%	6.1%	0.6%	1.4%	0.8%	1.7%	0.3%	0.0%	100.0%
	平成29年度	回答数	155	62	300	30	385	175	193	168	162	35	64	47	—	4	62	1,842
		割合	8.4%	3.4%	16.3%	1.6%	20.9%	9.5%	10.5%	9.1%	8.8%	1.9%	3.5%	2.6%	—	0.2%	3.4%	100.0%
	令和元年度	回答数	101	66	262	17	298	146	145	121	114	32	66	44	—	3	45	1,460
		割合	6.9%	4.5%	17.9%	1.2%	20.4%	10.0%	9.9%	8.3%	7.8%	2.2%	4.5%	3.0%	—	0.2%	3.1%	100.0%
	令和3年度	回答数	76	46	218	8	288	105	115	105	99	26	42	31	—	2	38	1,199
		割合	6.3%	3.8%	18.2%	0.7%	24.0%	8.8%	9.6%	8.8%	8.3%	2.2%	3.5%	2.6%	—	0.2%	3.2%	100.0%
3位	令和4年度	回答数	257	61	402	10	361	197	173	126	178	36	65	28	78	5	94	2,071
		割合	12.4%	2.9%	19.4%	0.5%	17.4%	9.5%	8.4%	6.1%	8.6%	1.7%	3.1%	1.4%	3.8%	0.2%	4.5%	100.0%
	令和元年度	回答数	194	64	368	14	326	163	160	101	154	41	47	39	65	3	76	1,815
		割合	10.7%	3.5%	20.3%	0.8%	18.0%	9.0%	8.8%	5.6%	8.5%	2.3%	2.6%	2.1%	3.6%	0.2%	4.2%	100.0%
	平成30年度	回答数	291	119	313	14	306	113	111	100	130	31	80	45	—	2	187	1,842
		割合	15.8%	6.5%	17.0%	0.8%	16.6%	6.1%	6.0%	5.4%	7.1%	1.7%	4.3%	2.4%	—	0.1%	10.2%	100.0%
	令和3年度	回答数	117	56	159	15	139	108	145	176	189	57	102	78	—	6	113	1,460
		割合	8.0%	3.8%	10.9%	1.0%	9.5%	7.4%	9.9%	12.1%	12.9%	3.9%	7.0%	5.3%	—	0.4%	7.7%	100.0%
合計	令和元年度	回答数	107	41	133	15	125	101	127	113	142	33	85	80	—	7	90	1,199
		割合	8.9%	3.4%	11.1%	1.3%	10.4%	8.4%	10.6%	9.4%	11.8%	2.8%	7.1%	6.7%	—	0.6%	7.5%	100.0%
	令和3年度	回答数	180	71	212	10	224	171	160	185	165	77	121	86	162	11	236	2,071
		割合	8.7%	3.4%	10.2%	0.5%	10.8%	8.3%	7.7%	8.9%	8.0%	3.7%	5.8%	4.2%	7.8%	0.5%	11.4%	100.0%
	令和4年度	回答数	159	54	170	13	172	146	168	156	160	67	102	72	118	8	250	1,815
		割合	8.8%	3.0%	9.4%	0.7%	9.5%	8.0%	9.3%	8.6%	8.8%	3.7%	5.6%	4.0%	6.5%	0.4%	13.8%	100.0%
	平成29年度	回答数	681	211	793	57	1,179	415	485	416	514	111	228	161	—	26	249	1,842
		割合	37.0%	11.5%	43.1%	3.1%	64.0%	22.5%	26.3%	22.6%	27.9%	6.0%	12.4%	8.7%	—	1.4%	13.5%	100.0%
	平成30年度	回答数	592	166	650	38	907	328	366	338	387	101	188	143	—	18	158	1,460
		割合	40.5%	11.4%	44.5%	2.6%	62.1%	22.5%	25.1%	23.2%	26.5%	6.9%	12.9%	9.8%	—	1.2%	10.8%	100.0%
	令和元年度	回答数	470	116	543	25	838	272	298	255	307	67	137	123	—	18	128	1,199
		割合	39.2%	9.7%	45.3%	2.1%	69.9%	22.7%	24.9%	21.3%	25.6%	5.6%	11.4%	10.3%	—	1.5%	10.7%	100.0%
	令和3年度	回答数	839	188	885	21	1,419	495	419	375	453	127	222	142	274	24	330	2,071
		割合	40.5%	9.1%	42.7%	1.0%	68.5%	23.9%	20.2%	18.1%	21.9%	6.1%	10.7%	6.9%	13.2%	1.2%	15.9	100.0%
	令和4年度	回答数	709	176	798	32	1,222	397	411	301	424	119	174	125	214	17	326	1,815
		割合	39.1%	9.7%	44.0%	1.8%	67.3%	21.9%	22.6%	16.6%	23.4%	6.6%	9.6%	6.9%	11.8%	0.9%	18.0%	100.0%

※10 番目の選択肢については、平成 28 年度調査においては「司法修習の1年間、貸与制の下で給与の支給を受けられない」

※13 番目の選択肢(激務でワークライフバランスに不安がある)は令和3年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



	SA	選択肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがある	自分に法曹等としての適性があるから分らない	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きい	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できるか不安である	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい	司法修習期間中の生活に不安がある	司法試験に合格できても、就職できるか分らない	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある	法曹には激務というイメージがあり、ワークライフバランスに不安がある	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度 回答数	88	13	68	2	212	42	65	56	78	16	23	20	－	8	0	691	
	割合	12.7%	1.9%	9.8%	0.3%	30.7%	6.1%	9.4%	8.1%	11.3%	2.3%	3.3%	2.9%	－	1.2%	0.0%	100.0%	
	平成30年度 回答数	152	10	92	2	203	24	39	18	36	3	3	2	－	3	0	587	
	割合	25.9%	1.7%	15.7%	0.3%	34.6%	4.1%	6.6%	3.1%	6.1%	0.5%	0.5%	0.3%	－	0.5%	0.0%	100.0%	
	令和元年度 回答数	112	3	73	1	196	19	28	12	30	1	2	2	－	5	0	484	
	割合	23.1%	0.6%	15.1%	0.2%	40.5%	3.9%	5.8%	2.5%	6.2%	0.2%	0.4%	0.4%	－	1.0%	0.0%	100.0%	
	令和3年度 回答数	160	21	126	0	421	47	38	28	56	5	8	7	13	3	0	933	
	割合	17.1%	2.3%	13.5%	0.0%	45.1%	5.0%	4.1%	3.0%	6.0%	0.5%	0.9%	0.8%	1.4%	0.3%	0.0%	100.0%	
令和4年度 回答数	166	20	135	3	353	42	39	21	61	4	7	5	16	3	0	875		
割合	19.0%	2.3%	15.4%	0.3%	40.3%	4.8%	4.5%	2.4%	7.0%	0.5%	0.8%	0.6%	1.8%	0.3%	0.0%	100.0%		
2位	平成29年度 回答数	60	14	127	12	152	65	80	55	66	14	18	7	－	2	19	691	
	割合	8.7%	2.0%	18.4%	1.7%	22.0%	9.4%	11.6%	8.0%	9.6%	2.0%	2.6%	1.0%	－	0.3%	2.7%	100.0%	
	平成30年度 回答数	55	19	100	8	127	55	63	43	46	12	29	14	－	1	15	587	
	割合	9.4%	3.2%	17.0%	1.4%	21.6%	9.4%	10.7%	7.3%	7.8%	2.0%	4.9%	2.4%	－	0.2%	2.6%	100.0%	
	令和元年度 回答数	30	14	92	2	122	33	57	43	43	11	17	5	－	1	14	484	
	割合	6.2%	2.9%	19.0%	0.4%	25.2%	6.8%	11.8%	8.9%	8.9%	2.3%	3.5%	1.0%	－	0.2%	2.9%	100.0%	
	令和3年度 回答数	118	22	183	4	175	80	83	57	88	11	26	9	31	3	43	933	
	割合	12.6%	2.4%	19.6%	0.4%	18.8%	8.6%	8.9%	6.1%	9.4%	1.2%	2.8%	1.0%	3.3%	0.3%	4.6%	100.0%	
令和4年度 回答数	102	28	173	4	157	96	75	47	71	18	25	11	34	1	33	875		
割合	11.7%	3.2%	19.8%	0.5%	17.9%	11.0%	8.6%	5.4%	8.1%	2.1%	2.9%	1.3%	3.9%	0.1%	3.8%	100.0%		
3位	平成29年度 回答数	93	38	123	4	121	42	51	39	56	9	33	12	－	0	70	691	
	割合	13.5%	5.5%	17.8%	0.6%	17.5%	6.1%	7.4%	5.6%	8.1%	1.3%	4.8%	1.7%	－	0.0%	10.1%	100.0%	
	平成30年度 回答数	44	24	63	1	47	42	63	70	87	26	38	33	－	3	46	587	
	割合	7.5%	4.1%	10.7%	0.2%	8.0%	7.2%	10.7%	11.9%	14.8%	4.4%	6.5%	5.6%	－	0.5%	7.8%	100.0%	
	令和元年度 回答数	36	16	58	4	48	40	61	50	64	15	34	26	－	1	31	484	
	割合	7.4%	3.3%	12.0%	0.8%	9.9%	8.3%	12.6%	10.3%	13.2%	3.1%	7.0%	5.4%	－	0.2%	6.4%	100.0%	
	令和3年度 回答数	90	28	100	3	92	92	81	82	85	30	41	27	72	5	105	933	
	割合	9.6%	3.0%	10.7%	0.3%	9.9%	9.9%	8.7%	8.8%	9.1%	3.2%	4.4%	2.9%	7.7%	0.5%	11.3%	100.0%	
令和4年度 回答数	85	23	84	7	84	71	77	73	87	28	57	30	56	4	109	875		
割合	9.7%	2.6%	9.6%	0.8%	9.6%	8.1%	8.8%	8.3%	9.9%	3.2%	6.5%	3.4%	6.4%	0.5%	12.5%	100.0%		
合計	平成29年度 回答数	241	65	318	18	485	149	196	150	200	39	74	39	－	10	89	691	
	割合	34.9%	9.4%	46.0%	2.6%	70.2%	21.6%	28.4%	21.7%	28.9%	5.6%	10.7%	5.6%	－	1.4%	12.9%	100.0%	
	平成30年度 回答数	251	53	255	11	377	121	165	131	169	41	70	49	－	7	61	587	
	割合	42.8%	9.0%	43.4%	1.9%	64.2%	20.6%	28.1%	22.3%	28.8%	7.0%	11.9%	8.3%	－	1.2%	10.4%	100.0%	
	令和元年度 回答数	178	33	223	7	366	92	146	105	137	27	53	33	－	7	45	484	
	割合	36.8%	6.8%	46.1%	1.4%	75.6%	19.0%	30.2%	21.7%	28.3%	5.6%	11.0%	6.8%	－	1.4%	9.3%	100.0%	
	令和3年度 回答数	368	71	409	7	688	219	202	167	229	46	75	43	116	11	148	933	
	割合	39.4%	7.6%	43.8%	0.8%	73.7%	23.5%	21.7%	17.9%	24.5%	4.9%	8.0%	4.6%	12.4%	1.2%	15.9%	100.0%	
令和4年度 回答数	353	71	392	14	594	209	191	141	219	50	89	46	106	8	142	875		
割合	40.3%	8.1%	44.8%	1.6%	67.9%	23.9%	21.8%	16.1%	25.0%	5.7%	10.2%	5.3%	12.1%	0.9%	15.2%	100.0%		

※10 番目の選択肢については、平成 28 年度調査においては「司法修習の1年間、貸与制の下で給与の支給を受けられない」

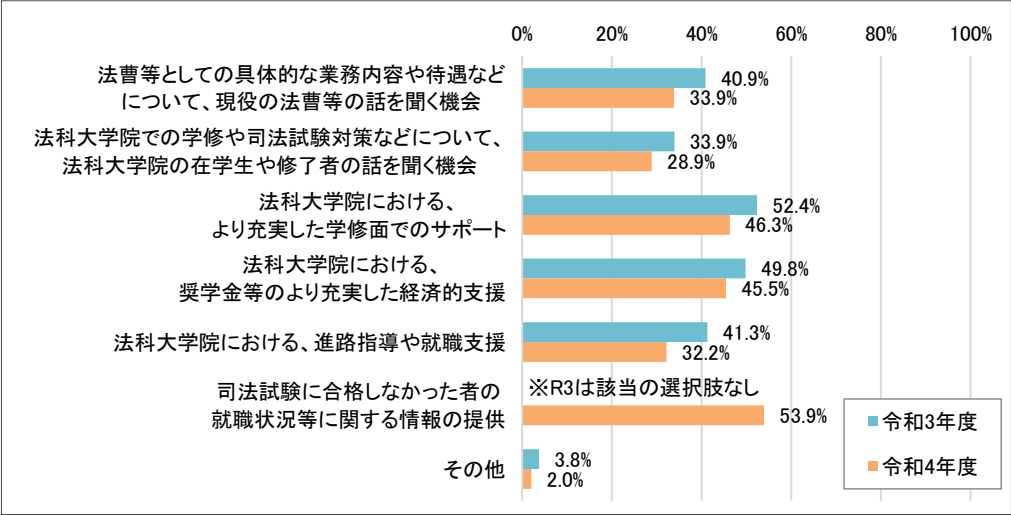
※13 番目の選択肢(激務でワークライフバランスに不安がある)は令和3年度調査から新たに設けたもの

3. 不安や迷いを軽減、払拭するためにあつたらよいと思うもの

法曹等を志望するに当たって不安や迷いを感じていると回答した学生に、不安や迷いを軽減、払拭するためにあつたらよいと思うものを尋ねた結果、令和4年度から追加した「司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供」が約54%で最も高くなっている。次いで「法科大学院における、より充実した学修面でのサポート」及び「法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援」との回答割合が50%前後となっている。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。
なお、「その他」として令和4年度調査では、学部における「学部時点での司法試験対策」、「学部段階からの予備試験受験の支援」、法科大学院における「法科大学院が受験に特化すること」、「答練などの司法試験の問題を解いて解説を聞く機会」、司法試験に関して「合格率向上」、「旧試験制度の復活」、経済的支援について「司法修習中の生活費支出」、「合格者への資金援助」などが挙げられたほか、「司法修習生及び弁護士への産休、育休支援」、「司法試験についての情報を得られる機会の、教育機関全体での拡充」などの回答があった。

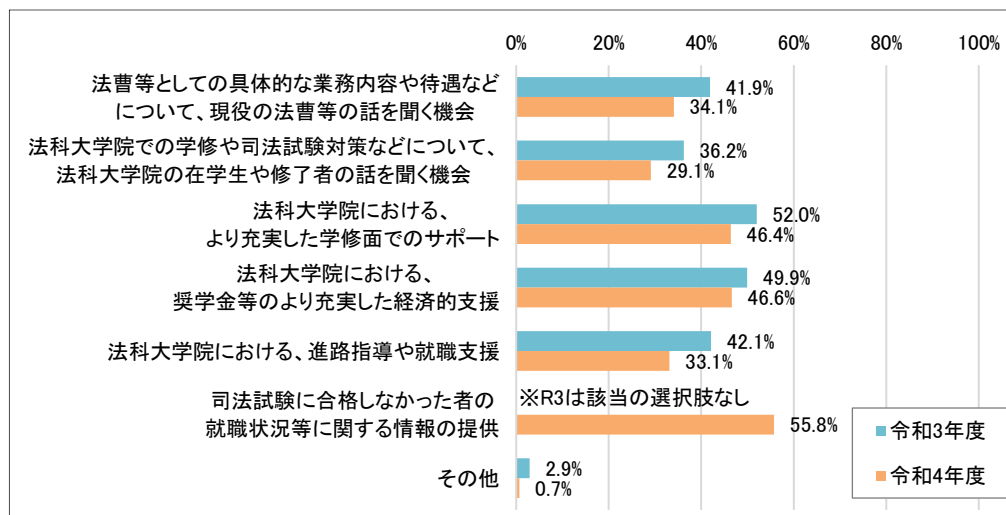
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	法曹等としての具体的な業務内容や待遇などについて、現役の法曹等の話を聞く機会	法科大学院での学修や司法試験対策などについて、法科大学院の在学生や修了者の話を聞く機会	法科大学院における、より充実した学修面でのサポート	法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援	法科大学院における、進路指導や就職支援	司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供	その他	回答者数
		令和3年度 回答数	令和3年度 割合	令和4年度 回答数	令和4年度 割合	令和3年度 回答数	令和3年度 割合	令和4年度 回答数	令和4年度 割合
	令和3年度	847	40.9%	703	33.9%	1,085	52.4%	1,032	49.8%
	令和4年度	615	33.9%	525	28.9%	840	46.3%	825	45.5%

※令和3年度調査で新たに追加した質問
※6番目の選択肢(司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	法曹等としての具体的な業務内容や待遇などについて、現役の法曹等の話を聞く機会	法科大学院での学修や司法試験対策などについて、法科大学院の在學生や修了者の話を聞く機会	法科大学院における、より充実した学修面でのサポート	法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援	法科大学院における、進路指導や就職支援	司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供	その他	回答者数
令和3年度	回答数	391	338	485	466	393	—	27	933
	割合	41.9%	36.2%	52.0%	49.9%	42.1%	—	2.9%	—
令和4年度	回答数	298	255	406	408	290	488	6	875
	割合	34.1%	29.1%	46.4%	46.6%	33.1%	55.8%	0.7%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※6番目の選択肢(司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供)は令和4年度調査から新たに設けたもの

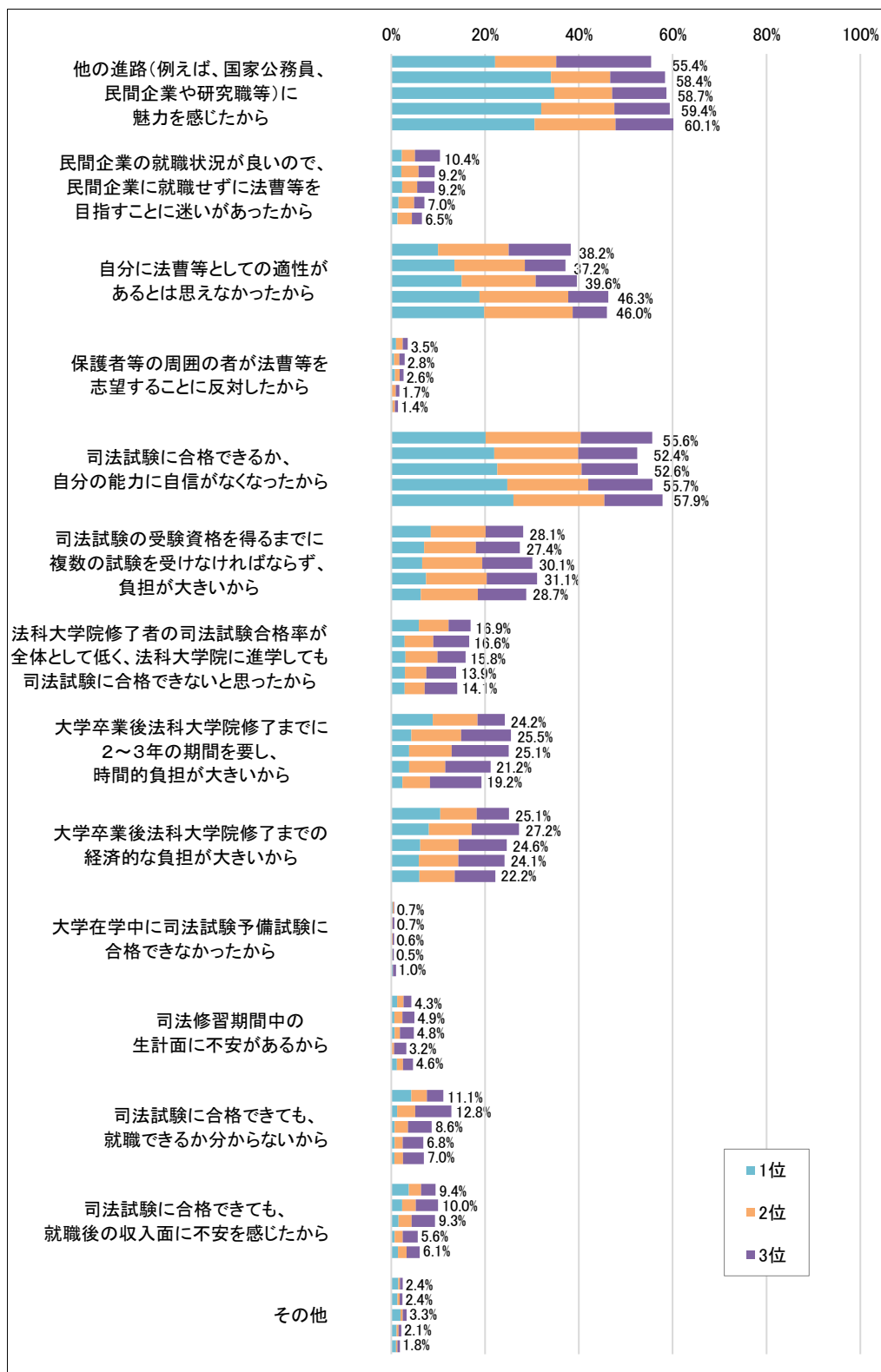
4. 法曹等を断念した(選択肢から外した)理由

過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生に、法曹等を断念した(選択肢から外した)理由を尋ねた結果、「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから」との回答割合が約60%で最も高く、続いて「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから」との回答割合が約58%となった。次いで回答割合が高いのは「自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから」との選択肢であり、本選択肢の回答割合は平成30年度以降増加傾向にあったが、令和4年度は令和3年度調査と同じ約46%となっている。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

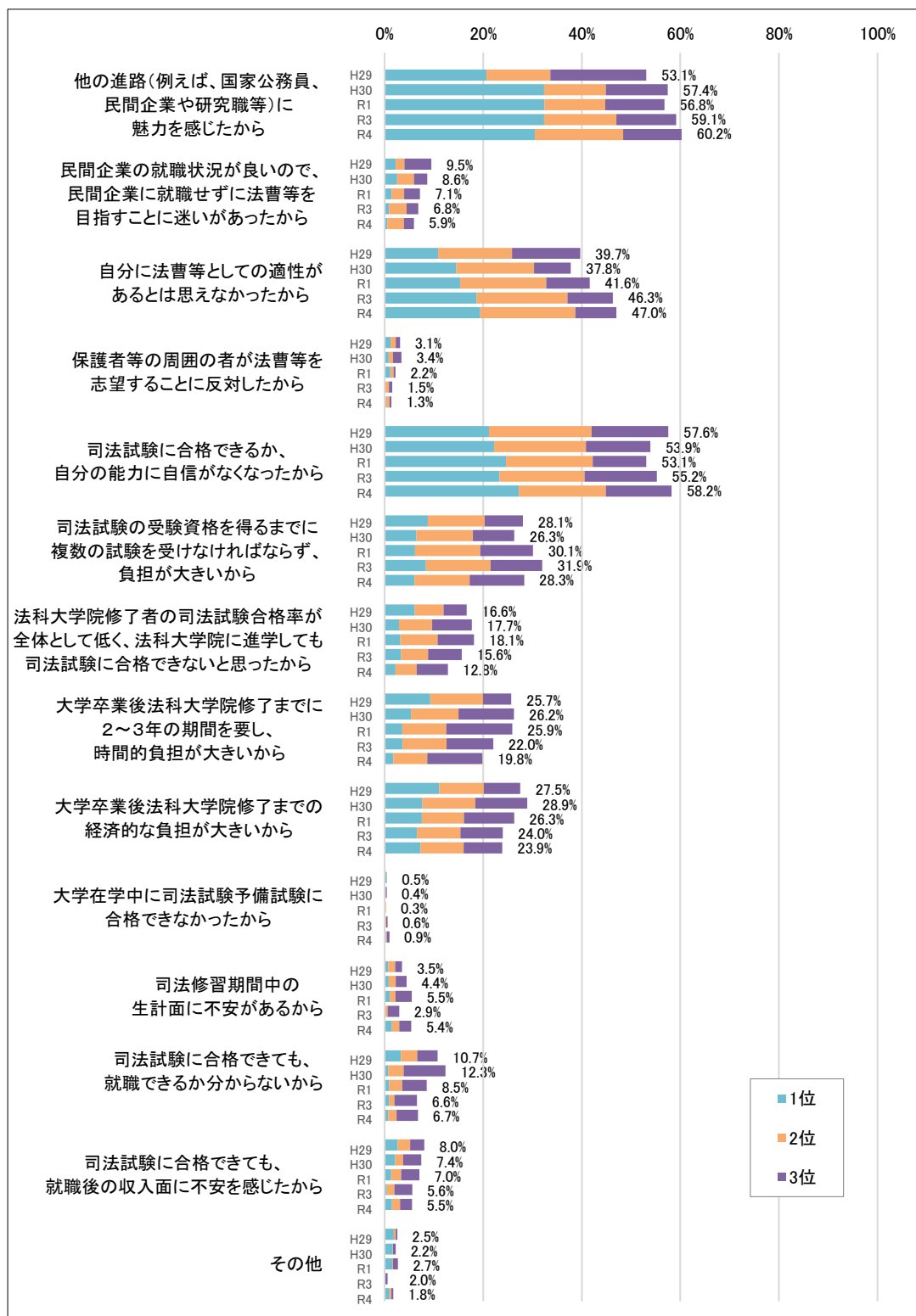
なお、「その他」として令和4年度調査では、「法曹の仕事内容が過酷だと感じたから。」「法曹という職業に付きまとう責任の重さに耐えられるとは思わなかった。」「司法試験合格後、希望した専門分野で働ける可能性が低いと感じたから。」「もし司法試験に合格できないまま受験資格を失うと30代手前になっていることへの不安感があったから」などの回答があった。

ア 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた学生



	SA	選択	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せず法曹等を目指すことに迷ったから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなかったから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいかから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいかから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいかから	大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから	司法修習期間中の生計面に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるか分からないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度 回答数	624	63	281	28	567	238	165	249	294	8	35	120	106	41	0	2,819	
	割合	22.1%	2.2%	10.0%	1.0%	20.1%	8.4%	5.9%	8.8%	10.4%	0.3%	1.2%	4.3%	3.8%	1.5%	0.0%	100.0%	
	平成30年度 回答数	700	44	277	12	451	144	58	88	165	2	14	26	48	27	0	2,056	
	割合	34.0%	2.1%	13.5%	0.6%	21.9%	7.0%	2.8%	4.3%	8.0%	0.1%	0.7%	1.3%	2.3%	1.3%	0.0%	100.0%	
	令和元年度 回答数	598	40	258	13	389	113	52	65	106	1	12	12	27	34	0	1,720	
	割合	34.8%	2.3%	15.0%	0.8%	22.6%	6.6%	3.0%	3.8%	6.2%	0.1%	0.7%	0.7%	1.6%	2.0%	0.0%	100.0%	
	令和3年度 回答数	432	21	254	1	334	100	39	51	79	3	1	10	10	15	0	1,350	
	割合	32.0%	1.6%	18.8%	0.1%	24.7%	7.4%	2.9%	3.8%	5.9%	0.2%	0.1%	0.7%	0.7%	1.1%	0.0%	100.0%	
	令和4年度 回答数	404	17	262	3	344	83	38	31	79	4	16	9	19	13	0	1,322	
	割合	30.6%	1.3%	19.8%	0.2%	26.0%	6.3%	2.9%	2.3%	6.0%	0.3%	1.2%	0.7%	1.4%	1.0%	0.0%	100.0%	
2位	平成29年度 回答数	367	79	424	40	571	329	179	270	220	7	38	94	73	11	117	2,819	
	割合	13.0%	2.8%	15.0%	1.4%	20.3%	11.7%	6.3%	9.6%	7.8%	0.2%	1.3%	3.3%	2.6%	0.4%	4.2%	100.0%	
	平成30年度 回答数	260	76	309	23	369	227	126	218	188	3	35	79	59	9	75	2,056	
	割合	12.6%	3.7%	15.0%	1.1%	17.9%	11.0%	6.1%	10.6%	9.1%	0.1%	1.7%	3.8%	2.9%	0.4%	3.6%	100.0%	
	令和元年度 回答数	212	55	272	18	309	221	117	156	141	4	20	49	47	8	91	1,720	
	割合	12.3%	3.2%	15.8%	1.0%	18.0%	12.8%	6.8%	9.1%	8.2%	0.2%	1.2%	2.8%	2.7%	0.5%	5.3%	100.0%	
	令和3年度 回答数	210	45	255	12	233	175	62	104	114	1	7	23	23	6	80	1,350	
	割合	15.6%	3.3%	18.9%	0.9%	17.3%	13.0%	4.6%	7.7%	8.4%	0.1%	0.5%	1.7%	1.7%	0.4%	5.9%	100.0%	
	令和4年度 回答数	228	41	249	7	257	161	56	78	100	1	17	24	24	4	75	1,322	
	割合	17.2%	3.1%	18.8%	0.5%	19.4%	12.2%	4.2%	5.9%	7.6%	0.1%	1.3%	1.8%	1.8%	0.3%	5.7%	100.0%	
3位	平成29年度 回答数	571	151	373	31	430	225	132	163	194	4	48	98	87	17	295	2,819	
	割合	20.3%	5.4%	13.2%	1.1%	15.3%	8.0%	4.7%	5.8%	6.9%	0.1%	1.7%	3.5%	3.1%	0.6%	10.5%	100.0%	
	平成30年度 回答数	240	70	178	23	258	192	157	219	207	9	52	158	98	13	182	2,056	
	割合	11.7%	3.4%	8.7%	1.1%	12.5%	9.3%	7.6%	10.7%	10.1%	0.4%	2.5%	7.7%	4.8%	0.6%	8.9%	100.0%	
	令和元年度 回答数	199	63	151	14	206	183	103	210	176	5	51	87	86	14	172	1,720	
	割合	11.6%	3.7%	8.8%	0.8%	12.0%	10.6%	6.0%	12.2%	10.2%	0.3%	3.0%	5.1%	5.0%	0.8%	10.0%	100.0%	
	令和3年度 回答数	160	29	116	10	185	145	86	131	133	3	35	59	43	8	207	1,350	
	割合	11.9%	2.1%	8.6%	0.7%	13.7%	10.7%	6.4%	9.7%	9.9%	0.2%	2.6%	4.4%	3.2%	0.6%	15.3%	100.0%	
	令和4年度 回答数	163	28	97	9	164	136	92	145	114	8	28	59	37	7	235	1,322	
	割合	12.3%	2.1%	7.3%	0.7%	12.4%	10.3%	7.0%	11.0%	8.6%	0.6%	2.1%	4.5%	2.8%	0.5%	17.8%	100.0%	
合計	平成29年度 回答数	1,562	293	1,078	99	1,568	792	476	682	708	19	121	312	266	69	412	2,819	
	割合	55.4%	10.4%	38.2%	3.5%	55.6%	28.1%	16.9%	24.2%	25.1%	0.7%	4.3%	11.1%	9.4%	2.4%	14.6%	100.0%	
	平成30年度 回答数	1,200	190	764	58	1,078	563	341	525	560	14	101	263	205	49	257	2,056	
	割合	58.4%	9.2%	37.2%	2.8%	52.4%	27.4%	16.6%	25.5%	27.2%	0.7%	4.9%	12.8%	10.0%	2.4%	12.5%	100.0%	
	令和元年度 回答数	1,009	158	681	45	904	517	272	431	423	10	83	148	160	56	263	1,720	
	割合	58.7%	9.2%	39.6%	2.6%	52.6%	30.1%	15.8%	25.1%	24.6%	0.6%	4.8%	8.6%	9.3%	3.3%	15.3%	100.0%	
	令和3年度 回答数	802	95	625	23	752	420	187	286	326	7	43	92	76	29	287	1,350	
	割合	59.4%	7.0%	46.3%	1.7%	55.7%	31.1%	13.9%	21.2%	24.1%	0.5%	3.2%	6.8%	5.6%	2.1%	21.3%	100.0%	
	令和4年度 回答数	795	86	608	19	765	380	186	254	293	13	61	92	80	24	310	1,322	
	割合	60.1%	6.5%	46.0%	1.4%	57.9%	28.7%	14.1%	19.2%	22.2%	1.0%	4.6%	7.0%	6.1%	1.8%	23.4%	100.0%	

イ 過去に法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えていた女性



	SA	選考 手段	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就くことに迷いがあつたから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから	保護者等の周囲の者が法曹等を志すことに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなつたから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいか	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思つたから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいか	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいか	大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから	司法修習期間中の生活に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度 回答数		260	28	136	15	266	110	77	116	139	5	9	41	33	23	0	1,258
	割合		20.7%	2.2%	10.8%	1.2%	21.1%	8.7%	6.1%	9.2%	11.0%	0.4%	0.7%	3.3%	2.6%	1.8%	0.0%	100.0%
	平成30年度 回答数		322	25	145	8	221	64	29	53	76	1	8	7	21	16	0	996
	割合		32.3%	2.5%	14.6%	0.8%	22.2%	6.4%	2.9%	5.3%	7.6%	0.1%	0.8%	0.7%	2.1%	1.6%	0.0%	100.0%
	令和元年度 回答数		254	11	120	9	193	48	25	28	59	0	8	7	10	12	0	784
	割合		32.4%	1.4%	15.3%	1.1%	24.6%	6.1%	3.2%	3.6%	7.5%	0.0%	1.0%	0.9%	1.3%	1.5%	0.0%	100.0%
	令和3年度 回答数		232	6	134	1	167	60	24	26	47	1	0	6	3	10	0	717
	割合		32.4%	0.8%	18.7%	0.1%	23.3%	8.4%	3.3%	3.6%	6.6%	0.1%	0.0%	0.8%	0.4%	1.4%	0.0%	100.0%
2位	令和4年度 回答数		226	4	144	2	202	45	16	13	54	2	11	5	11	7	0	742
	割合		30.5%	0.5%	19.4%	0.3%	27.2%	6.1%	2.2%	1.8%	7.3%	0.3%	1.5%	0.7%	1.5%	0.9%	0.0%	100.0%
	平成29年度 回答数		163	22	189	13	262	145	73	135	114	1	18	42	32	5	44	1,258
	割合		13.0%	1.7%	15.0%	1.0%	20.8%	11.5%	5.8%	10.7%	9.1%	0.1%	1.4%	3.3%	2.5%	0.4%	3.5%	100.0%
	平成30年度 回答数		125	34	157	9	186	114	67	96	107	1	14	31	16	1	38	996
	割合		12.6%	3.4%	15.8%	0.9%	18.7%	11.4%	6.7%	9.6%	10.7%	0.1%	1.4%	3.1%	1.6%	0.1%	3.8%	100.0%
	令和元年度 回答数		97	20	137	5	138	104	59	70	67	2	9	21	16	1	38	784
	割合		12.4%	2.6%	17.5%	0.6%	17.6%	13.3%	7.5%	8.9%	8.5%	0.3%	1.1%	2.7%	2.0%	0.1%	4.8%	100.0%
3位	令和3年度 回答数		105	26	132	5	124	94	39	64	63	1	4	8	11	1	40	717
	割合		14.6%	3.6%	18.4%	0.7%	17.3%	13.1%	5.4%	8.9%	8.8%	0.1%	0.6%	1.1%	1.5%	0.1%	5.6%	100.0%
	令和4年度 回答数		133	25	143	5	131	83	32	51	65	1	11	13	12	3	34	742
	割合		17.9%	3.4%	19.3%	0.7%	17.7%	11.2%	4.3%	6.9%	8.8%	0.1%	1.5%	1.8%	1.6%	0.4%	4.6%	100.0%
	平成29年度 回答数		245	69	174	11	196	98	59	72	93	0	17	52	36	4	132	1,258
	割合		19.5%	5.5%	13.8%	0.9%	15.6%	7.8%	4.7%	5.7%	7.4%	0.0%	1.4%	4.1%	2.9%	0.3%	10.5%	100.0%
	平成30年度 回答数		125	27	74	17	130	84	80	112	105	2	22	85	37	5	91	996
	割合		12.6%	2.7%	7.4%	1.7%	13.1%	8.4%	8.0%	11.2%	10.5%	0.2%	2.2%	8.5%	3.7%	0.5%	9.1%	100.0%
合計	令和元年度 回答数		94	25	69	3	85	84	58	105	80	0	26	39	29	8	79	784
	割合		12.0%	3.2%	8.8%	0.4%	10.8%	10.7%	7.4%	13.4%	10.2%	0.0%	3.3%	5.0%	3.7%	1.0%	10.1%	100.0%
	令和3年度 回答数		87	17	66	5	105	75	49	68	62	2	17	33	26	3	102	717
	割合		12.1%	2.4%	9.2%	0.7%	14.6%	10.5%	6.8%	9.5%	8.6%	0.3%	2.4%	4.6%	3.6%	0.4%	14.2%	100.0%
	令和4年度 回答数		88	15	62	3	99	82	47	83	58	4	18	32	18	3	130	742
	割合		11.9%	2.0%	8.4%	0.4%	13.3%	11.1%	6.3%	11.2%	7.8%	0.5%	2.4%	4.3%	2.4%	0.4%	17.5%	100.0%
	平成29年度 回答数		668	119	499	39	724	353	209	323	346	6	44	135	101	32	176	1,258
	割合		53.1%	9.5%	39.7%	3.1%	57.6%	28.1%	16.6%	25.7%	27.5%	0.5%	3.5%	10.7%	8.0%	2.5%	14.0%	100.0%
	平成30年度 回答数		572	86	376	34	537	262	176	261	288	4	44	123	74	22	129	996
	割合		57.4%	8.6%	37.8%	3.4%	53.9%	26.3%	17.7%	26.2%	28.9%	0.4%	4.4%	12.3%	7.4%	2.2%	13.0%	100.0%
	令和元年度 回答数		445	56	326	17	416	236	142	203	206	2	43	67	55	21	117	784
	割合		56.8%	7.1%	41.6%	2.2%	53.1%	30.1%	18.1%	25.9%	26.3%	0.3%	5.5%	8.5%	7.0%	2.7%	14.9%	100.0%
	令和3年度 回答数		424	49	332	11	396	229	112	158	172	4	21	47	40	14	142	717
	割合		59.1%	6.8%	46.3%	1.5%	55.2%	31.9%	15.6%	22.0%	24.0%	0.6%	2.9%	6.6%	5.6%	2.0%	19.8%	100.0%
	令和4年度 回答数		447	44	349	10	432	210	95	147	177	7	40	50	41	13	164	742
	割合		60.2%	5.9%	47.0%	1.3%	58.2%	28.3%	12.8%	19.8%	23.9%	0.9%	5.4%	6.7%	5.5%	1.8%	22.1%	100.0%

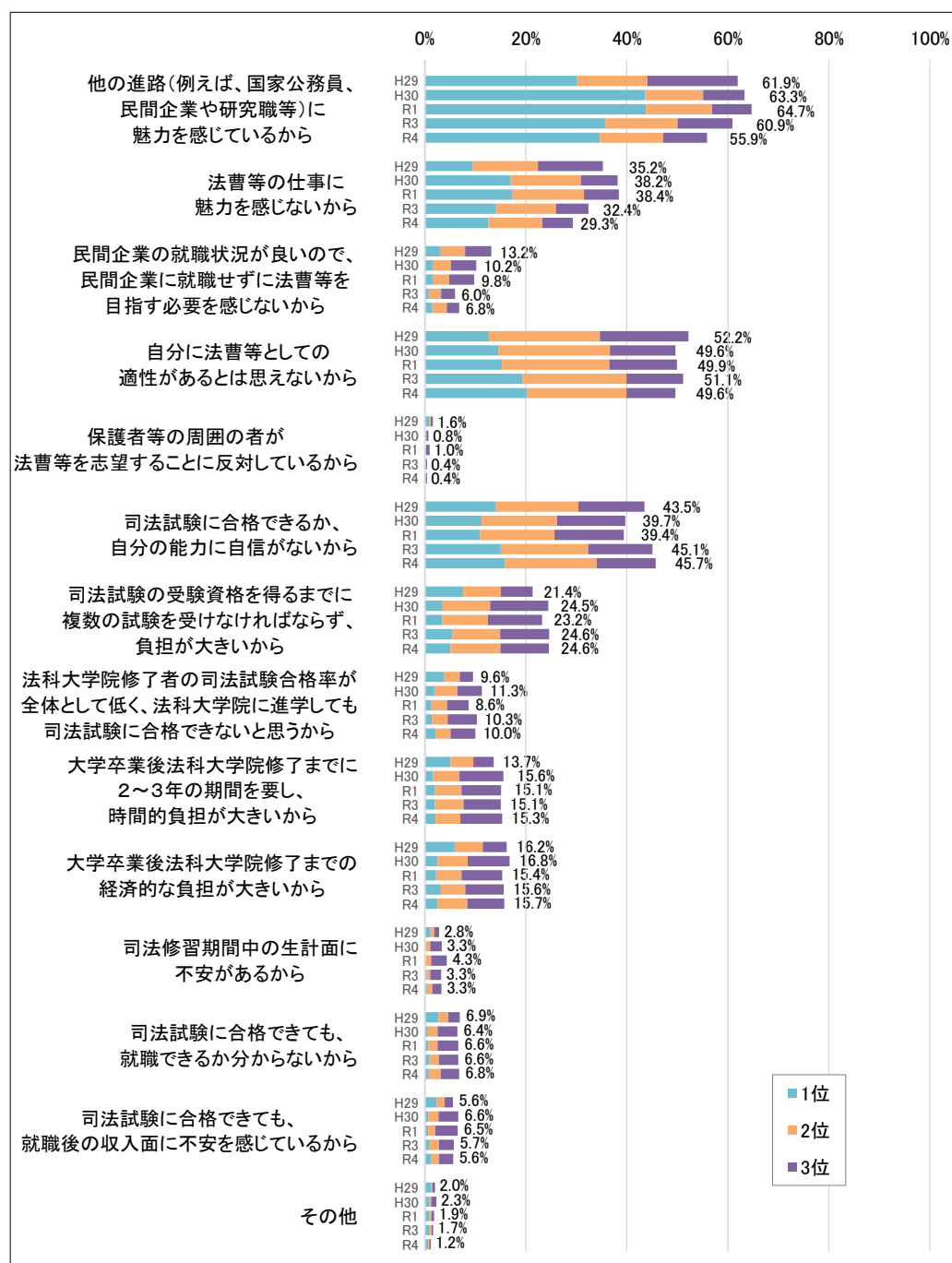
5. 法曹等を志望しない(選択肢の1つとしても考えない)理由

法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)学生に、その理由を尋ねた結果、「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから」との回答割合が半数を超え最も高く、続いて「自分に法曹等としての適性があるとは思えないから」が50%前後となった。「司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから」は約46%となり、令和元年度から6ポイント増加した。一方、「他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから」、「法曹等の仕事に魅力を感じないから」は令和元年度以降減少が続いており、令和元年度から9ポイント前後減少した。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

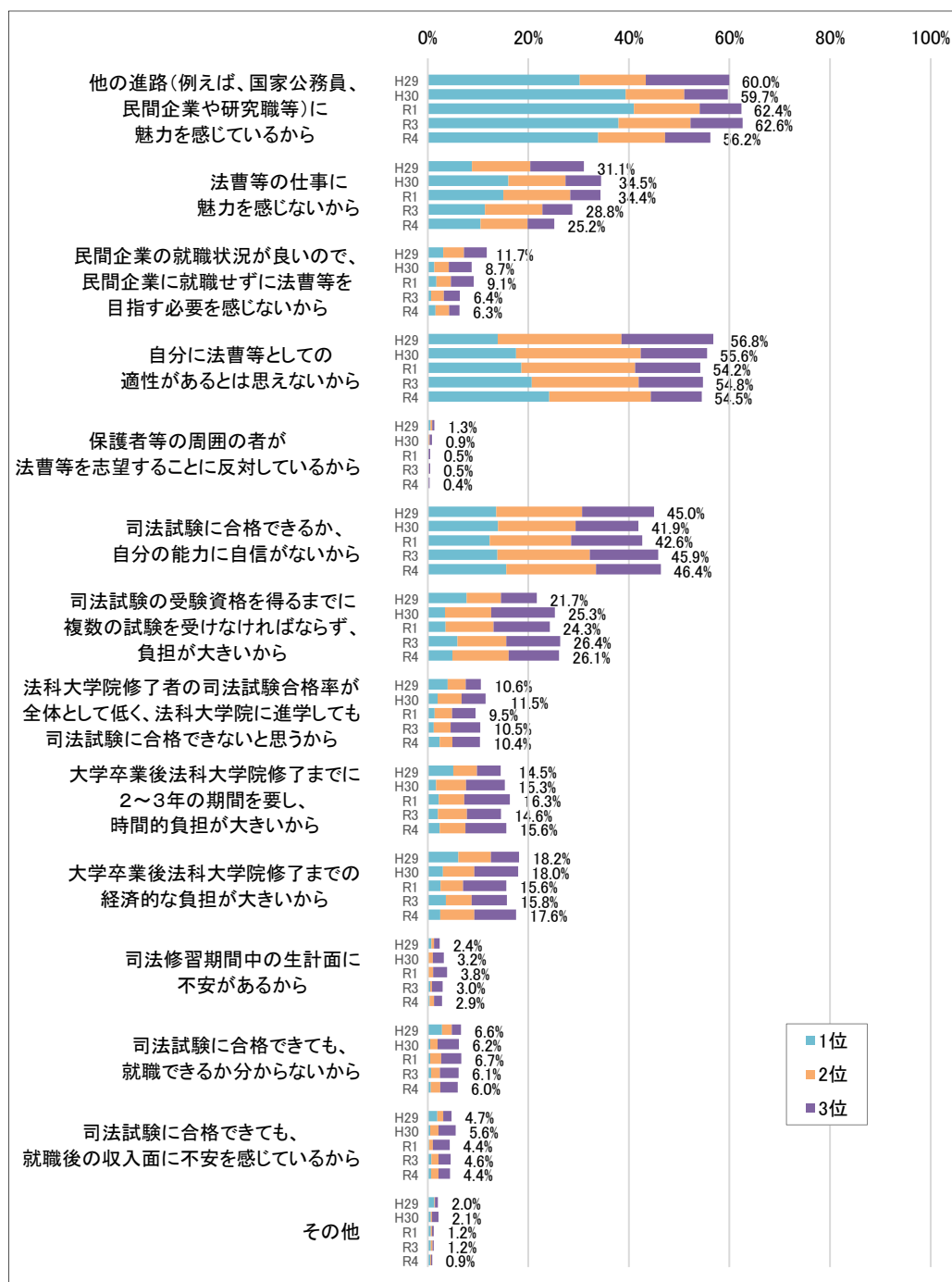
なお、「その他」として、令和4年度調査では、「そもそも法曹の内容についてあまり知らないから」、「周りの弁護士の先生の働く時間等の話を聞いて大変そうだったから」、「全国転勤したくないから」などの回答があった。

ア 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)学生



	SA	選取肢	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから	法曹等の仕事に魅力を感じないから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指す必要を感じないから	自分に法曹等としての適性があるとは思えないから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから	司法修習期間中の生活に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるか分からないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度	回答数	1,395	438	139	588	39	648	353	174	236	273	53	125	110	56	0	4,627
		割合	30.1%	9.5%	3.0%	12.7%	0.8%	14.0%	7.6%	3.8%	5.1%	5.9%	1.1%	2.7%	2.4%	1.2%	0.0%	100.0%
	平成30年度	回答数	1,279	496	46	427	3	329	103	56	47	75	2	18	22	29	0	2,932
		割合	43.6%	16.9%	1.6%	14.6%	0.1%	11.2%	3.5%	1.9%	1.6%	2.6%	0.1%	0.6%	0.8%	1.0%	0.0%	100.0%
	令和元年度	回答数	1,129	445	40	394	0	282	89	31	50	58	5	18	17	21	0	2,579
		割合	43.8%	17.3%	1.6%	15.3%	0.0%	10.9%	3.5%	1.2%	1.9%	2.2%	0.2%	0.7%	0.7%	0.8%	0.0%	100.0%
	令和3年度	回答数	1,144	447	25	619	1	480	174	45	62	101	12	27	27	31	0	3,195
		割合	35.8%	14.0%	0.8%	19.4%	0.0%	15.0%	5.4%	1.4%	1.9%	3.2%	0.4%	0.8%	0.8%	1.0%	0.0%	100.0%
	令和4年度	回答数	940	342	40	551	1	430	139	60	58	69	11	21	32	18	0	2,712
		割合	34.7%	12.6%	1.5%	20.3%	0.0%	15.9%	5.1%	2.2%	2.1%	2.5%	0.4%	0.8%	1.2%	0.7%	0.0%	100.0%
2位	平成29年度	回答数	643	598	229	1,017	16	760	342	145	208	257	35	89	73	14	201	4,627
		割合	13.9%	12.9%	4.9%	22.0%	0.3%	16.4%	7.4%	3.1%	4.5%	5.6%	0.8%	1.9%	1.6%	0.3%	4.3%	100.0%
	平成30年度	回答数	337	411	106	648	6	439	276	133	154	174	29	56	58	7	98	2,932
		割合	11.5%	14.0%	3.6%	22.1%	0.2%	15.0%	9.4%	4.5%	5.3%	5.9%	1.0%	1.9%	2.0%	0.2%	3.3%	100.0%
	令和元年度	回答数	338	367	84	548	7	380	233	83	137	130	27	47	37	13	148	2,579
		割合	13.1%	14.2%	3.3%	21.2%	0.3%	14.7%	9.0%	3.2%	5.3%	5.0%	1.0%	1.8%	1.4%	0.5%	5.7%	100.0%
	令和3年度	回答数	454	382	79	656	3	553	303	99	183	156	22	61	64	13	167	3,195
		割合	14.2%	12.0%	2.5%	20.5%	0.1%	17.3%	9.5%	3.1%	5.7%	4.9%	0.7%	1.9%	2.0%	0.4%	5.2%	100.0%
	令和4年度	回答数	340	289	78	532	3	492	267	79	133	160	29	66	44	6	194	2,712
		割合	12.5%	10.7%	2.9%	19.6%	0.1%	18.1%	9.8%	2.9%	4.9%	5.9%	1.1%	2.4%	1.6%	0.2%	7.2%	100.0%
3位	平成29年度	回答数	828	595	241	810	18	603	293	123	188	221	43	106	76	22	460	4,627
		割合	17.9%	12.9%	5.2%	17.5%	0.4%	13.0%	6.3%	2.7%	4.1%	4.8%	0.9%	2.3%	1.6%	0.5%	9.9%	100.0%
	平成30年度	回答数	239	212	146	380	13	396	338	143	256	243	67	115	114	31	239	2,932
		割合	8.2%	7.2%	5.0%	13.0%	0.4%	13.5%	11.5%	4.9%	8.7%	8.3%	2.3%	3.9%	3.9%	1.1%	8.2%	100.0%
	令和元年度	回答数	201	179	128	345	18	354	277	109	202	208	80	106	114	14	244	2,579
		割合	7.8%	6.9%	5.0%	13.4%	0.7%	13.7%	10.7%	4.2%	7.8%	8.1%	3.1%	4.1%	4.4%	0.5%	9.5%	100.0%
	令和3年度	回答数	347	205	88	359	9	407	309	185	236	242	70	123	92	9	514	3,195
		割合	10.9%	6.4%	2.8%	11.2%	0.3%	12.7%	9.7%	5.8%	7.4%	7.6%	2.2%	3.8%	2.9%	0.3%	16.1%	100.0%
	令和4年度	回答数	235	164	67	263	7	318	260	133	224	198	50	97	76	9	611	2,712
		割合	8.7%	6.0%	2.5%	9.7%	0.3%	11.7%	9.6%	4.9%	8.3%	7.3%	1.8%	3.6%	2.8%	0.3%	22.5%	100.0%
合計	平成29年度	回答数	2,866	1,631	609	2,415	73	2,011	988	442	632	751	131	320	259	92	661	4,627
		割合	61.9%	35.2%	13.2%	52.2%	1.6%	43.5%	21.4%	9.6%	13.7%	16.2%	2.8%	6.9%	5.6%	2.0%	14.3%	100.0%
	平成30年度	回答数	1,855	1,119	298	1,455	22	1,164	717	332	457	492	98	189	194	67	337	2,932
		割合	63.3%	38.2%	10.2%	49.6%	0.8%	39.7%	24.5%	11.3%	15.6%	16.8%	3.3%	6.4%	6.6%	2.3%	11.5%	100.0%
	令和元年度	回答数	1,668	991	252	1,287	25	1,016	599	223	389	396	112	171	168	48	392	2,579
		割合	64.7%	38.4%	9.8%	49.9%	1.0%	39.4%	23.2%	8.6%	15.1%	15.4%	4.3%	6.6%	6.5%	1.9%	15.2%	100.0%
	令和3年度	回答数	1,945	1,034	192	1,634	13	1,440	786	329	481	499	104	211	183	53	681	3,195
		割合	60.9%	32.4%	6.0%	51.1%	0.4%	45.1%	24.6%	10.3%	15.1%	15.6%	3.3%	6.6%	5.7%	1.7%	21.3%	100.0%
	令和4年度	回答数	1,515	795	185	1,346	11	1,240	666	272	415	427	90	184	152	33	805	2,712
		割合	55.9%	29.3%	6.8%	49.6%	0.4%	45.7%	24.6%	10.0%	15.3%	15.7%	3.3%	6.8%	5.6%	1.2%	29.7%	100.0%

イ 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)女性



	SA	選択 理由	他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じたから	法曹等の仕事に魅力を感じないから	民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがあつたから	自分に法曹等としての適性があるとは思えなかつたから	保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから	司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなつたから	司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいため	法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思つたから	大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいため	大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいため	司法修習期間中の生活に不安があるから	司法試験に合格できても、就職できるから分らないから	司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度 回答数		577	168	59	266	11	260	148	76	97	116	14	54	37	25	0	1,908
	割合		30.2%	8.8%	3.1%	13.9%	0.6%	13.6%	7.8%	4.0%	5.1%	6.1%	0.7%	2.8%	1.9%	1.3%	0.0%	100.0%
	平成30年度 回答数		495	202	17	221	0	176	43	25	21	38	0	6	6	8	0	1,258
	割合		39.3%	16.1%	1.4%	17.6%	0.0%	14.0%	3.4%	2.0%	1.7%	3.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.6%	0.0%	100.0%
	令和元年度 回答数		480	176	20	218	0	144	42	16	26	30	2	6	3	7	0	1,170
	割合		41.0%	15.0%	1.7%	18.6%	0.0%	12.3%	3.6%	1.4%	2.2%	2.6%	0.2%	0.5%	0.3%	0.6%	0.0%	100.0%
	令和3年度 回答数		563	169	10	307	1	206	88	18	30	54	7	10	11	9	0	1,483
	割合		38.0%	11.4%	0.7%	20.7%	0.1%	13.9%	5.9%	1.2%	2.0%	3.6%	0.5%	0.7%	0.7%	0.6%	0.0%	100.0%
	令和4年度 回答数		460	143	21	328	0	212	67	32	32	34	5	8	9	7	0	1,358
	割合		33.9%	10.5%	1.5%	24.2%	0.0%	15.6%	4.9%	2.4%	2.4%	2.5%	0.4%	0.6%	0.7%	0.5%	0.0%	100.0%
2位	平成29年度 回答数		250	221	79	469	6	326	130	68	90	124	10	37	22	3	73	1,908
	割合		13.1%	11.6%	4.1%	24.6%	0.3%	17.1%	6.8%	3.6%	4.7%	6.5%	0.5%	1.9%	1.2%	0.2%	3.8%	100.0%
	平成30年度 回答数		147	143	36	312	5	194	116	60	75	79	13	19	21	3	35	1,258
	割合		11.7%	11.4%	2.9%	24.8%	0.4%	15.4%	9.2%	4.8%	6.0%	6.3%	1.0%	1.5%	1.7%	0.2%	2.8%	100.0%
	令和元年度 回答数		153	156	34	265	1	190	111	41	59	52	11	25	9	3	60	1,170
	割合		13.1%	13.3%	2.9%	22.6%	0.1%	16.2%	9.5%	3.5%	5.0%	4.4%	0.9%	2.1%	0.8%	0.3%	5.1%	100.0%
	令和3年度 回答数		212	169	38	315	2	272	144	50	86	76	6	26	21	5	61	1,483
	割合		14.3%	11.4%	2.6%	21.2%	0.1%	18.3%	9.7%	3.4%	5.8%	5.1%	0.4%	1.8%	1.4%	0.3%	4.1%	100.0%
	令和4年度 回答数		181	127	37	275	2	243	152	35	70	92	12	26	20	2	84	1,358
	割合		13.3%	9.4%	2.7%	20.3%	0.1%	17.9%	11.2%	2.6%	5.2%	6.8%	0.9%	1.9%	1.5%	0.1%	6.2%	100.0%
3位	平成29年度 回答数		317	204	86	349	8	273	136	58	90	107	21	35	31	11	182	1,908
	割合		16.6%	10.7%	4.5%	18.3%	0.4%	14.3%	7.1%	3.0%	4.7%	5.6%	1.1%	1.8%	1.6%	0.6%	9.5%	100.0%
	平成30年度 回答数		109	89	57	166	6	157	159	60	97	109	27	53	43	16	110	1,258
	割合		8.7%	7.1%	4.5%	13.2%	0.5%	12.5%	12.6%	4.8%	7.7%	8.7%	2.1%	4.2%	3.4%	1.3%	8.7%	100.0%
	令和元年度 回答数		97	70	53	151	5	165	131	54	106	101	32	47	39	4	115	1,170
	割合		8.3%	6.0%	4.5%	12.9%	0.4%	14.1%	11.2%	4.6%	9.1%	8.6%	2.7%	4.0%	3.3%	0.3%	9.8%	100.0%
	令和3年度 回答数		154	89	47	190	4	202	159	87	100	104	31	55	36	4	221	1,483
	割合		10.4%	6.0%	3.2%	12.8%	0.3%	13.6%	10.7%	5.9%	6.7%	7.0%	2.1%	3.7%	2.4%	0.3%	14.9%	100.0%
	令和4年度 回答数		122	72	28	137	3	175	136	74	110	113	22	47	31	3	285	1,358
	割合		9.0%	5.3%	2.1%	10.1%	0.2%	12.9%	10.0%	5.4%	8.1%	8.3%	1.6%	3.5%	2.3%	0.2%	21.0%	100.0%
合計	平成29年度 回答数		1,144	593	224	1,084	25	859	414	202	277	347	45	126	90	39	255	1,908
	割合		60.0%	31.1%	11.7%	56.8%	1.3%	45.0%	21.7%	10.6%	14.5%	18.2%	2.4%	6.6%	4.7%	2.0%	13.4%	100.0%
	平成30年度 回答数		751	434	110	699	11	527	318	145	193	226	40	78	70	27	145	1,258
	割合		59.7%	34.5%	8.7%	55.6%	0.9%	41.9%	25.3%	11.5%	15.3%	18.0%	3.2%	6.2%	5.6%	2.1%	11.5%	100.0%
	令和元年度 回答数		730	402	107	634	6	499	284	111	191	183	45	78	51	14	175	1,170
	割合		62.4%	34.4%	9.1%	54.2%	0.5%	42.6%	24.3%	9.5%	16.3%	15.6%	3.8%	6.7%	4.4%	1.2%	15.0%	100.0%
	令和3年度 回答数		929	427	95	812	7	680	391	155	216	234	44	91	68	18	282	1,483
	割合		62.6%	28.8%	6.4%	54.8%	0.5%	45.9%	26.4%	10.5%	14.6%	15.8%	3.0%	6.1%	4.6%	1.2%	19.0%	100.0%
	令和4年度 回答数		763	342	86	740	5	630	355	141	212	239	39	81	60	12	369	1,358
	割合		56.2%	25.2%	6.3%	54.5%	0.4%	46.4%	26.1%	10.4%	15.6%	17.6%	2.9%	6.0%	4.4%	0.9%	27.2%	100.0%

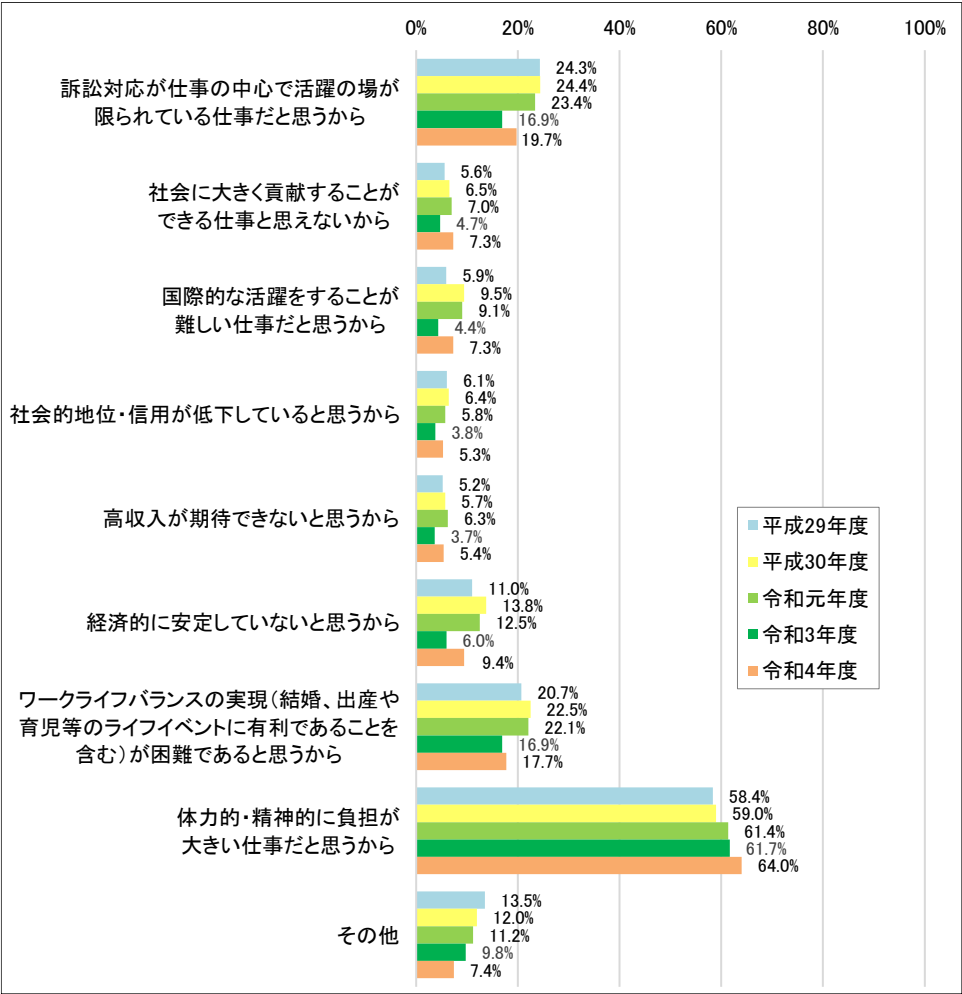
6. 法曹等に魅力を感じない理由

法曹等を志望又は選択肢の1つとしても考えたことがなく、またその理由として「法曹等の仕事に魅力を感じないから」と回答した学生に、その理由を尋ねた結果、「体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから」が60%前後で最多であり、増加傾向にある。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

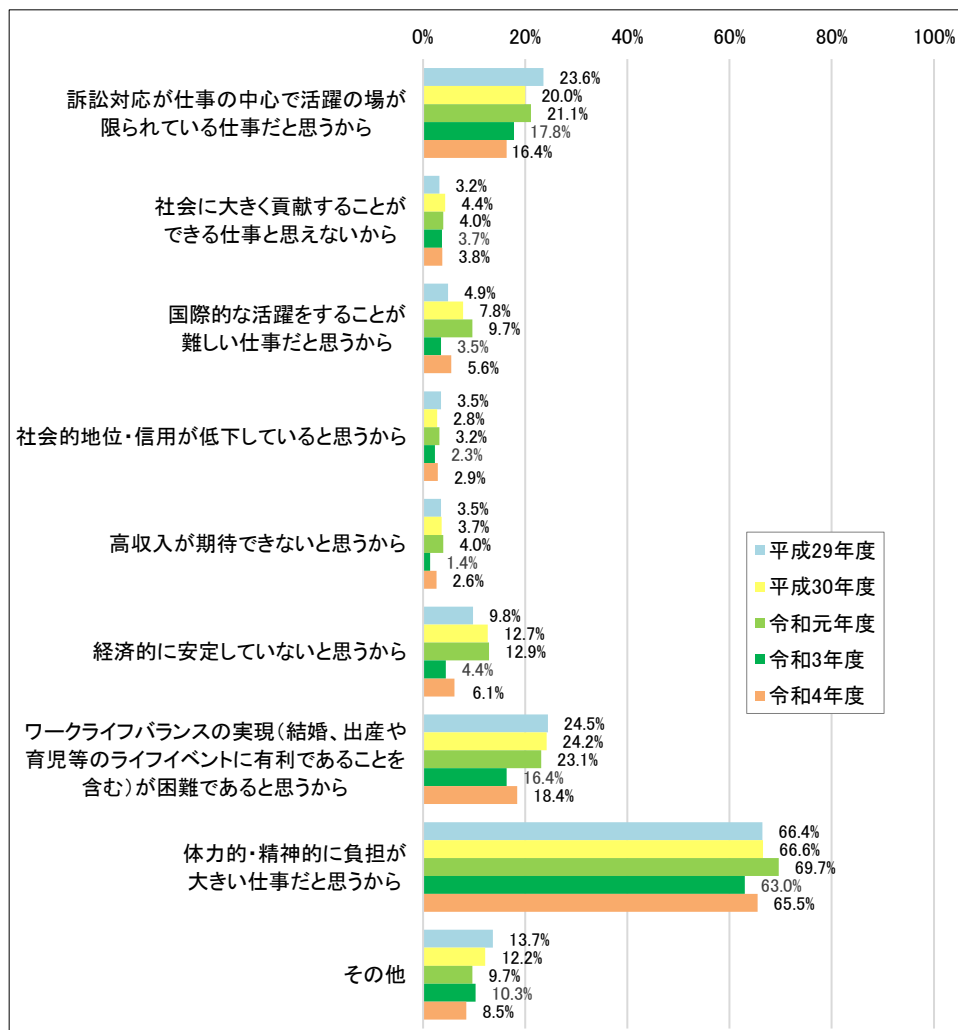
なお、「その他」として令和4年度調査では、「興味がない」、「法曹になるまでが大変そうだから」、「堅苦しそう」、「楽しくなさそう」などの回答があった。

ア 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)学生



MA	選択肢	訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから	社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから	国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから	社会的地位・信用が低下していると思うから	高収入が期待できないと思うから	経済的に安定していないと思うから	ワークライフバランスの実現(結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む)が困難であると思うから	体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから	その他	回答者数
平成29年度	回答数	397	91	97	99	85	180	338	952	221	1,631
	割合	24.3%	5.6%	5.9%	6.1%	5.2%	11.0%	20.7%	58.4%	13.5%	-
平成30年度	回答数	273	73	106	72	64	154	252	660	134	1,119
	割合	24.4%	6.5%	9.5%	6.4%	5.7%	13.8%	22.5%	59.0%	12.0%	-
令和元年度	回答数	232	69	90	57	62	124	219	608	111	991
	割合	23.4%	7.0%	9.1%	5.8%	6.3%	12.5%	22.1%	61.4%	11.2%	-
令和3年度	回答数	175	49	45	39	38	62	175	638	101	1,034
	割合	16.9%	4.7%	4.4%	3.8%	3.7%	6.0%	16.9%	61.7%	9.8%	-
令和4年度	回答数	157	58	58	42	43	75	141	509	59	795
	割合	19.7%	7.3%	7.3%	5.3%	5.4%	9.4%	17.7%	64.0%	7.4%	-

イ 法曹等を志望したことがない(選択肢の1つとしても考えたことがない)女性



MA	選択肢	訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから	社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから	国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから	社会的地位・信用が低下していると思うから	高収入が期待できないと思うから	経済的に安定していないと思うから	ワークライフバランスの実現(結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む)が困難であると思うから	体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから	その他	回答者数
平成29年度	回答数	140	19	29	21	21	58	145	394	81	593
	割合	23.6%	3.2%	4.9%	3.5%	3.5%	9.8%	24.5%	66.4%	13.7%	—
平成30年度	回答数	87	19	34	12	16	55	105	289	53	434
	割合	20.0%	4.4%	7.8%	2.8%	3.7%	12.7%	24.2%	66.6%	12.2%	—
令和元年度	回答数	85	16	39	13	16	52	93	280	39	402
	割合	21.1%	4.0%	9.7%	3.2%	4.0%	12.9%	23.1%	69.7%	9.7%	—
令和3年度	回答数	76	16	15	10	6	19	70	269	44	427
	割合	17.8%	3.7%	3.5%	2.3%	1.4%	4.4%	16.4%	63.0%	10.3%	—
令和4年度	回答数	56	13	19	10	9	21	63	224	29	342
	割合	16.4%	3.8%	5.6%	2.9%	2.6%	6.1%	18.4%	65.5%	8.5%	—

第6 法曹コース(連携法曹基礎課程)・法科大学院への進学希望の有無等

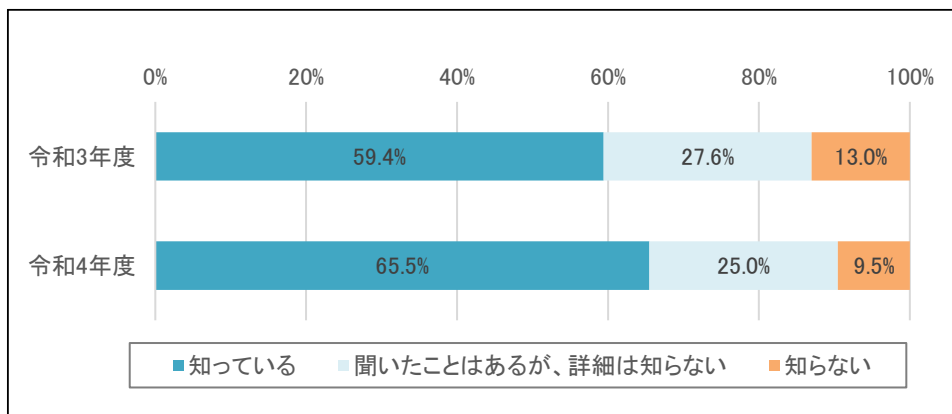
1. 法曹コースの認知度

法曹コースの認知度は学生全体で約 66%、現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生においては 80%以上、法曹等を志望している学生においては 95%を超えている。

令和3年度と比べ、いずれの属性においても「知っている」との回答が増加している。

法曹等を志望していない学生においても過半数に認知されている。

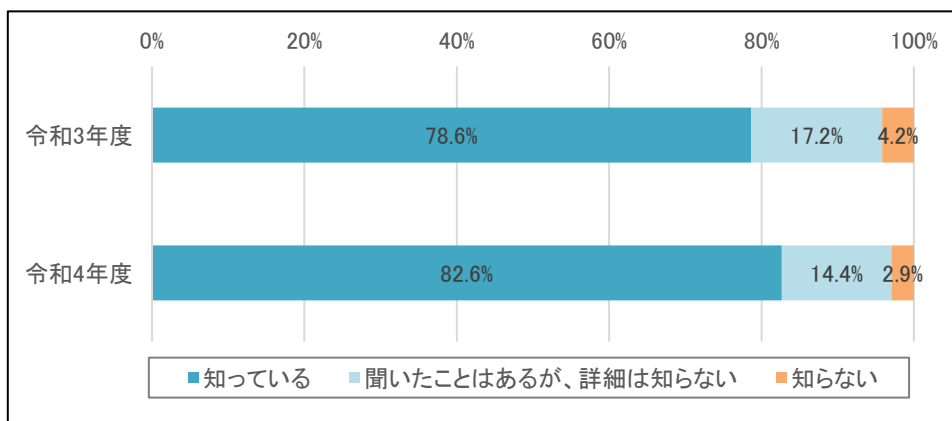
ア 全学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	4,107	1,904	900	6,911
	割合	59.4%	27.6%	13.0%	100.0%
令和4年度	回答数	4,003	1,528	583	6,114
	割合	65.5%	25.0%	9.5%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

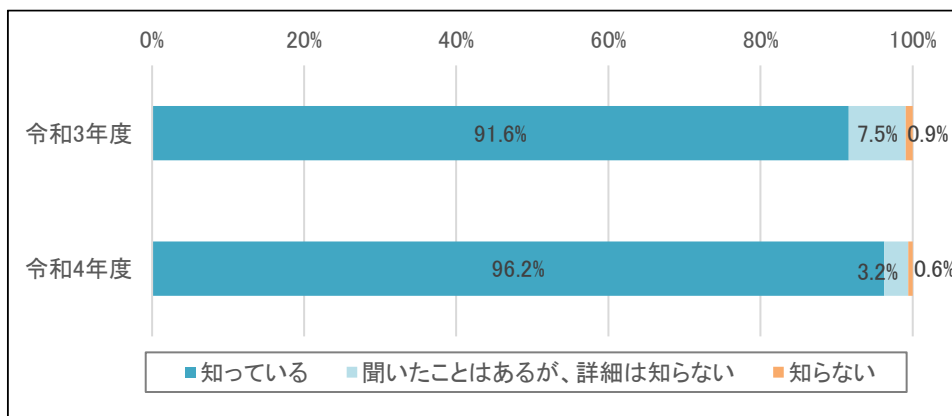
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	1,860	407	99	2,366
	割合	78.6%	17.2%	4.2%	100.0%
令和4年度	回答数	1,719	300	61	2,080
	割合	82.6%	14.4%	2.9%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

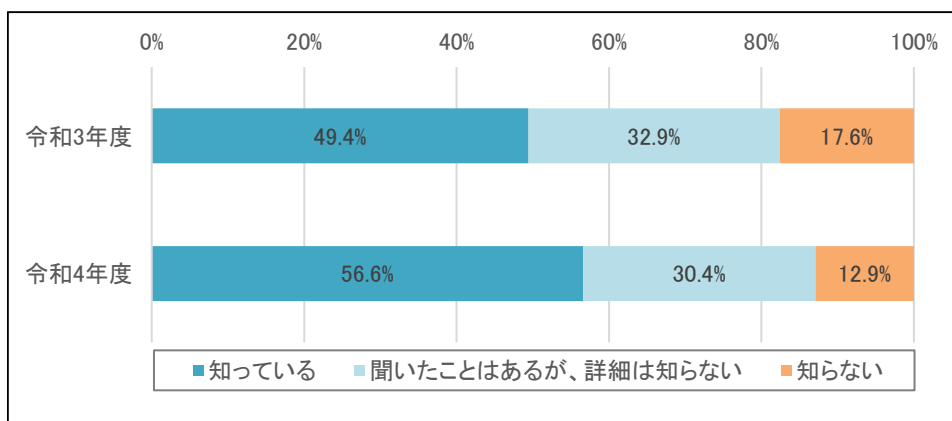
ウ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	906	74	9	989
	割合	91.6%	7.5%	0.9%	100.0%
令和4年度	回答数	821	27	5	853
	割合	96.2%	3.2%	0.6%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

エ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、 詳細は知らない	知らない	回答者数
令和3年度	回答数	2,247	1,497	801	4,545
	割合	49.4%	32.9%	17.6%	100.0%
令和4年度	回答数	2,284	1,228	522	4,034
	割合	56.6%	30.4%	12.9%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

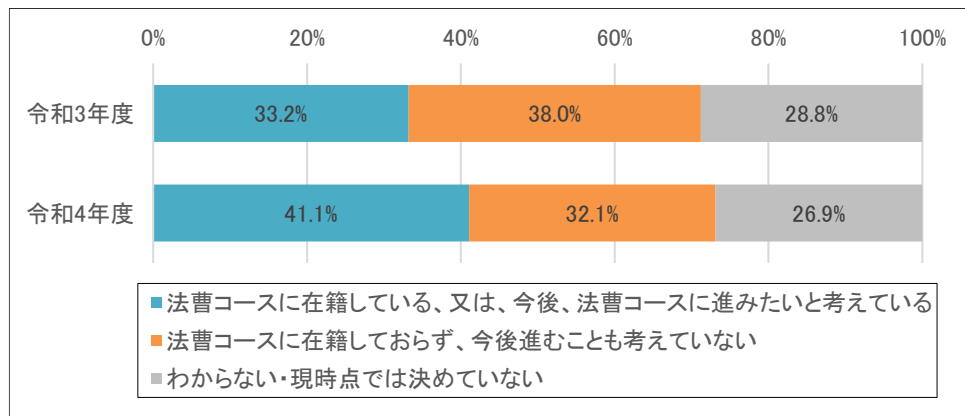
2. 法曹コースへの進学希望

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法曹コースに在籍しているか又は法曹コースへの進学を希望しているかを尋ねた結果、在籍又は希望していると回答した学生は約41%、在籍せず希望もしていないと回答した学生は約32%、未定と回答した学生は約27%であった。

令和3年度と比べ「法曹コースに在籍している、又は、今後、法曹コースに進みたいと考えている」との回答が増加している。

女性のみを見た場合もほぼ同様であった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

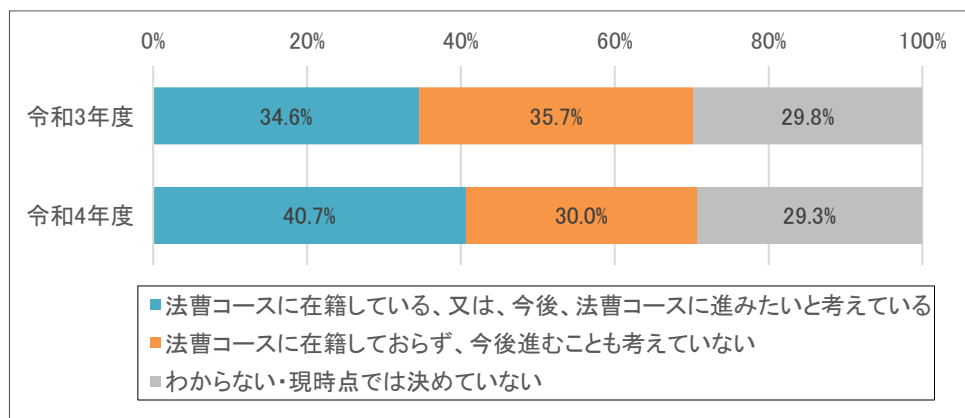


SA	選択肢	法曹コースに在籍している、又は、今後、法曹コースに進みたいと考えている	法曹コースに在籍しておらず、今後進むことも考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	786	899	681	2,366
	割合	33.2%	38.0%	28.8%	100.0%
令和4年度	回答数	854	667	559	2,080
	割合	41.1%	32.1%	26.9%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	法曹コースに在籍している、又は、今後、法曹コースに進みたいと考えている	法曹コースに在籍しておらず、今後進むことも考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	352	363	303	1,018
	割合	34.6%	35.7%	29.8%	100.0%
令和4年度	回答数	390	288	281	959
	割合	40.7%	30.0%	29.3%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

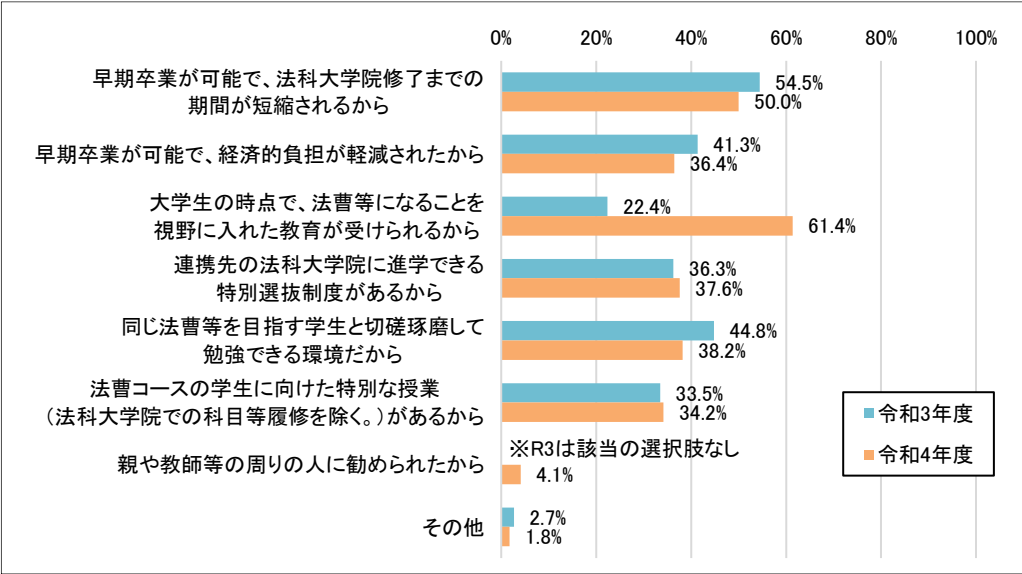
※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

3. 法曹コースへの進学希望理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍しているか又は法曹コースへの進学を希望している学生に、法曹コースを希望した理由を尋ねた結果、「大学生の時点で、法曹等になれることを視野に入れた教育が受けられるから」が約 61%で最も高く、令和3年度調査と比較すると、40 ポイント近い増加となっている。次いで「早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから」が 50%、「同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから」(約 38%)、「連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから」(約 38%)、「早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから」(約 36%)、「法曹コースの学生に向けた特別な授業があるから」(約 34%)となった。

女性や将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生に限って見た場合もほぼ同様であった。

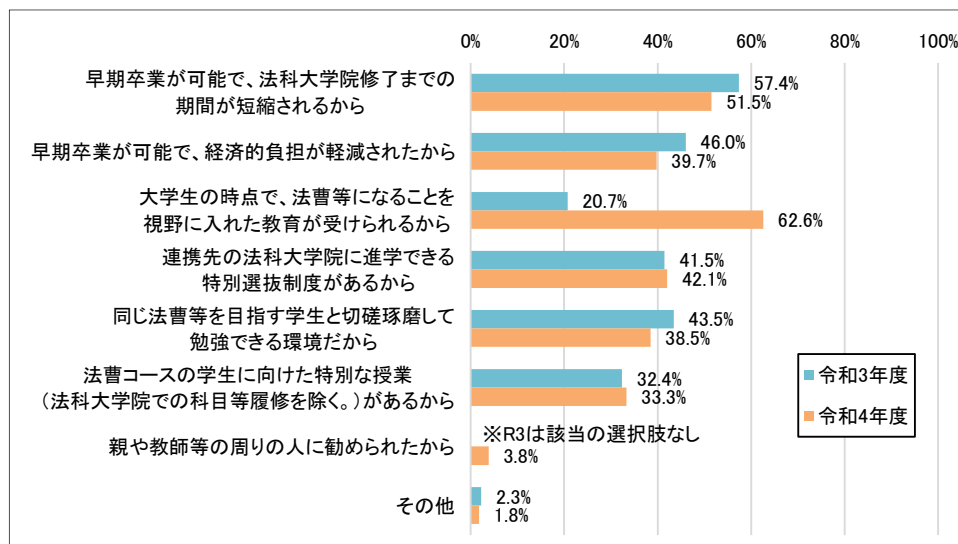
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから	大学生の時点で、法曹等になれることを視野に入れた教育が受けられるから	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから	同じ法曹等をを目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから	法曹コースの学生に向けた特別な授業(法科大学院での科目等履修を除く。)があるから	親や教師等の周りの人に勧められたから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	428	325	176	285	352	263	—	21	786
	割合	54.5%	41.3%	22.4%	36.3%	44.8%	33.5%	—	2.7%	—
令和4年度	回答数	427	311	524	321	326	292	35	15	854
	割合	50.0%	36.4%	61.4%	37.6%	38.2%	34.2%	4.1%	1.8%	—

※令和3年度調査で新たに追加した質問
※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「大学生の時点で法科大学院の授業を受講できるから」
※7番目の選択肢(親や教師等の周りの人に勧められた)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



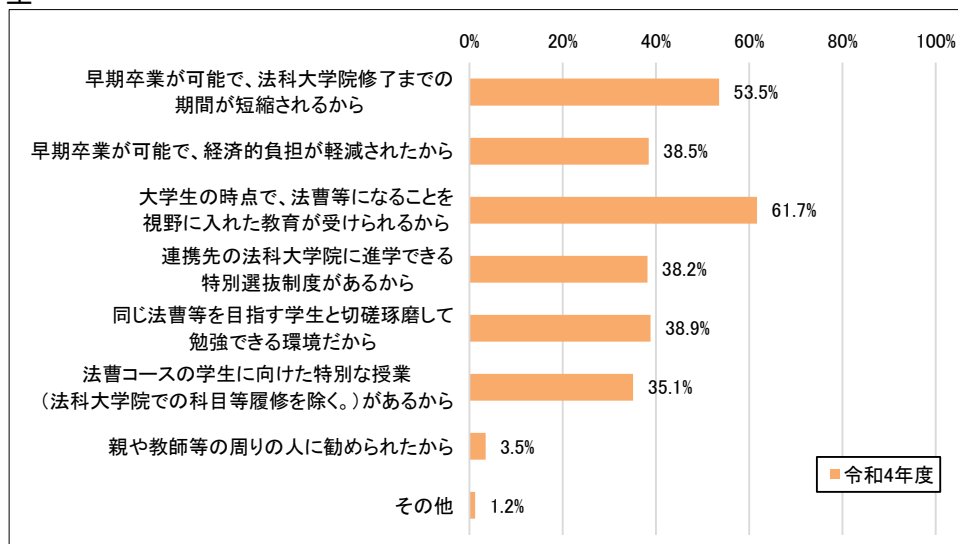
MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから	大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられるから	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから	同じ法曹等を志望する学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから	法曹コースの学生に向けた特別な授業（法科大学院での科目等履修を除く。）があるから	親や教師等の周りの人に勧められたから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	202	162	73	146	153	114	—	8	352
	割合	57.4%	46.0%	20.7%	41.5%	43.5%	32.4%	—	2.3%	—
令和4年度	回答数	201	155	244	164	150	130	15	7	390
	割合	51.5%	39.7%	62.6%	42.1%	38.5%	33.3%	3.8%	1.8%	—

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「大学生の時点で法科大学院の授業を受講できるから」

※7番目の選択肢（親や教師等の周りの人に勧められた）は令和4年度調査から新たに設けたもの

ウ 将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生



MA	選択肢	早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから	早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから	大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられるから	連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから	同じ法曹等を志望する学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから	法曹コースの学生に向けた特別な授業（法科大学院での科目等履修を除く。）があるから	親や教師等の周りの人に勧められたから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	387	278	446	276	281	254	25	9	723
	割合	53.5%	38.5%	61.7%	38.2%	38.9%	35.1%	3.5%	1.2%	—

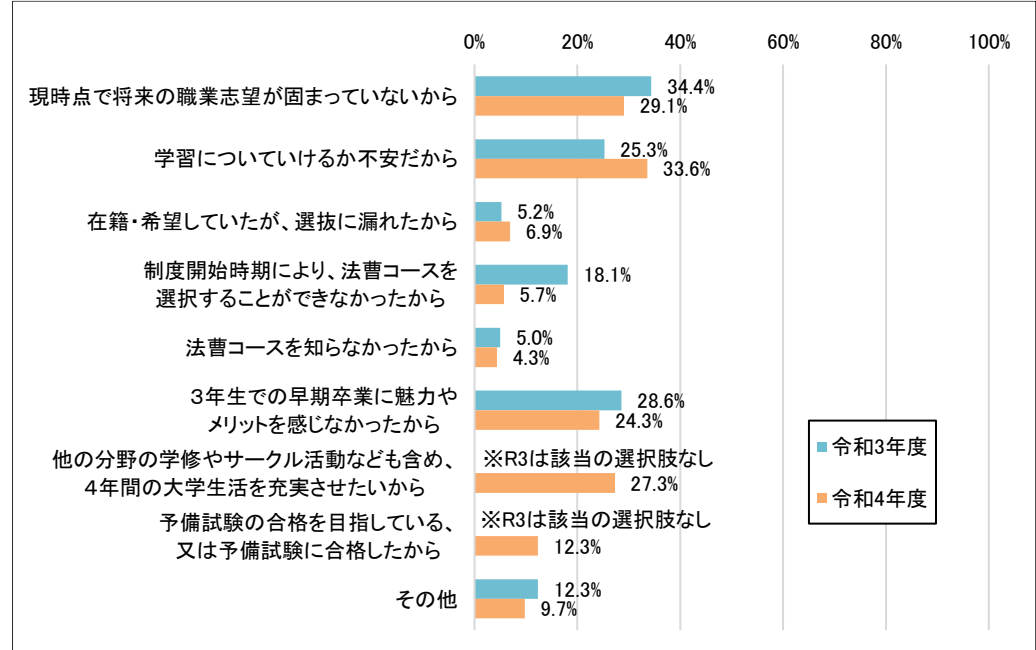
※「将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を考慮したか」は令和4年度調査で新たに追加した設問

4. 法曹コースを希望しない理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍しておらず、希望もしていない学生に、法曹コースを希望しない理由を尋ねた結果、「学習についていけるか不安だから」との回答割合が約 34%で最も高く、次いで「現時点で将来の職業志望が固まっていないから」が約 29%、「他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから」が約 27%であった。

女性について見ると、「現時点で将来の職業志望が固まっていないから」と、「学習についていけるか不安だから」がいずれも約 32%で高く、全体の回答と比べ、将来の職業志望が決まっていないとする回答の割合が相対的に高かった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



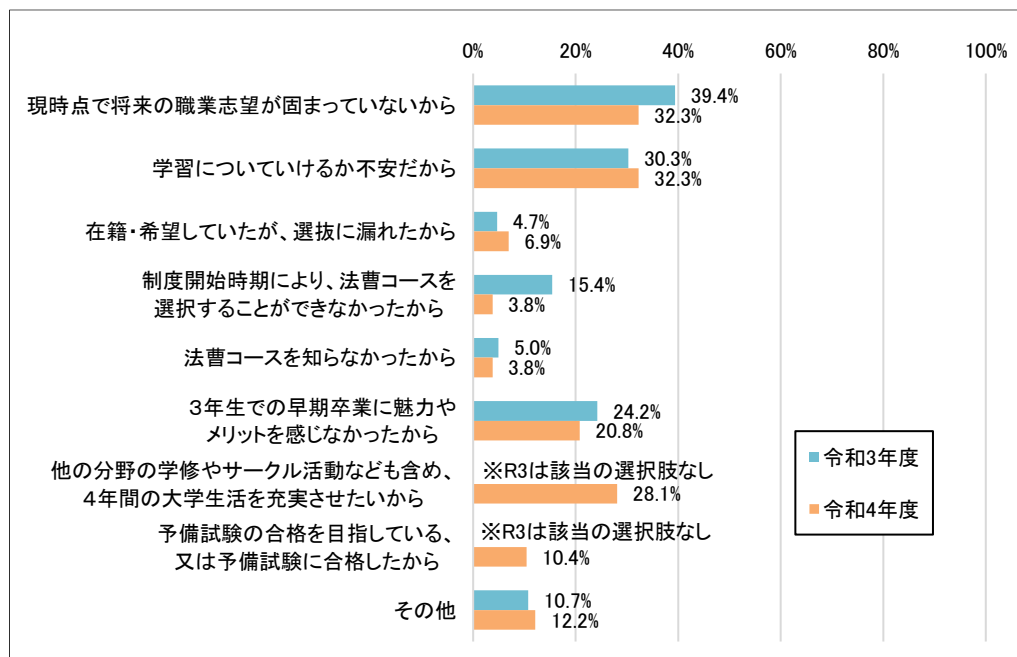
MA	選択肢	現時点で将来の職業志望が固まっていないから	学習についていけるか不安だから	在籍・希望していたが、選抜に漏れたから	制度開始時期により、法曹コースを選択することができなかったから	法曹コースを知らなかったから	3年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかったから	他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから	予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	309	227	47	163	45	257	—	—	111	899
	割合	34.4%	25.3%	5.2%	18.1%	5.0%	28.6%	—	—	12.3%	—
令和4年度	回答数	194	224	46	38	29	162	182	82	65	667
	割合	29.1%	33.6%	6.9%	5.7%	4.3%	24.3%	27.3%	12.3%	9.7%	—

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※7番目の選択肢(4年間の大学生活を充実させたい)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	現時点で将来の職業志望が固まっていないから	学習についていけないか不安だから	在籍・希望していたが、選抜に漏れたから	制度開始時期により、法曹コースを選択することができなかったから	法曹コースを知らなかったから	3年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかったから	他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから	予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから	その他	回答者数
令和3年度	回答数	143	110	17	56	18	88	—	—	39	363
	割合	39.4%	30.3%	4.7%	15.4%	5.0%	24.2%	—	—	10.7%	100.0%
令和4年度	回答数	93	93	20	11	11	60	81	30	35	288
	割合	32.3%	32.3%	6.9%	3.8%	3.8%	20.8%	28.1%	10.4%	12.2%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※7番目の選択肢(4年間の大学生活を充実させたい)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※8番目の選択肢(予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから)は令和4年度調査から新たに設けたもの

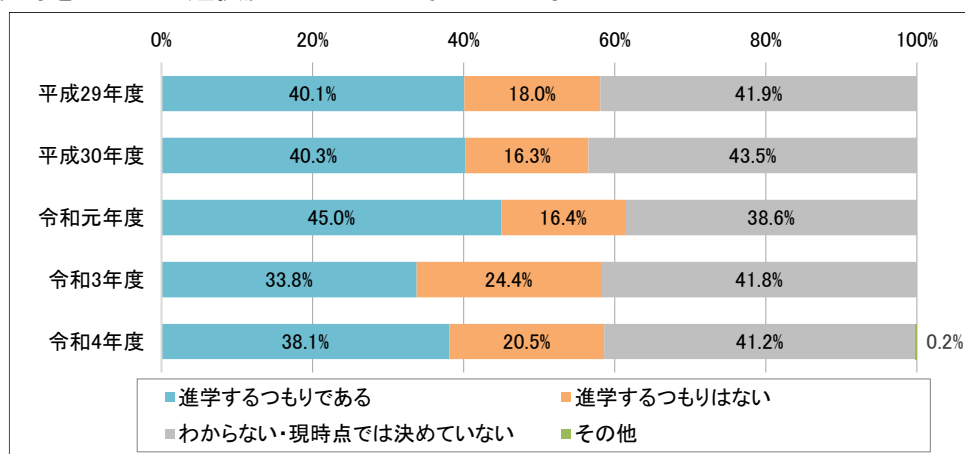
5. 法科大学院への進学予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、法科大学院への進学予定について尋ねた結果、令和4年度調査においては、約38%の学生が「進学するつもりである」と回答した。法科大学院進学予定者の割合は、学生全体を見た場合と女性のみを見た場合のいずれにおいても、令和3年度調査では大きく減少したが、令和4年度はやや増加している。ただし、その割合は40%未満で、令和元年度以前よりは低い水準となっている。

一方で、現在法曹等を志望している学生に限って見た場合には、約72%の学生が法科大学院に進学予定であると回答しており、平成29年度以降最も高い。

法曹コースの在籍状況や進学希望の有無との関係で見ると、法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生の場合、約65%が法科大学院に進学するつもりであると回答している。これに対し、法曹コースに在籍しておらず、進学を希望してもいない学生については、法科大学院に「進学するつもりである」と回答した割合は約26%にとどまっている。さらに、法曹コースへの進学について未定であると回答した学生の場合には、法科大学院に「進学するつもりである」との回答割合は約11%にとどまり、70%以上が法科大学院への進学についても未定であると回答している。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

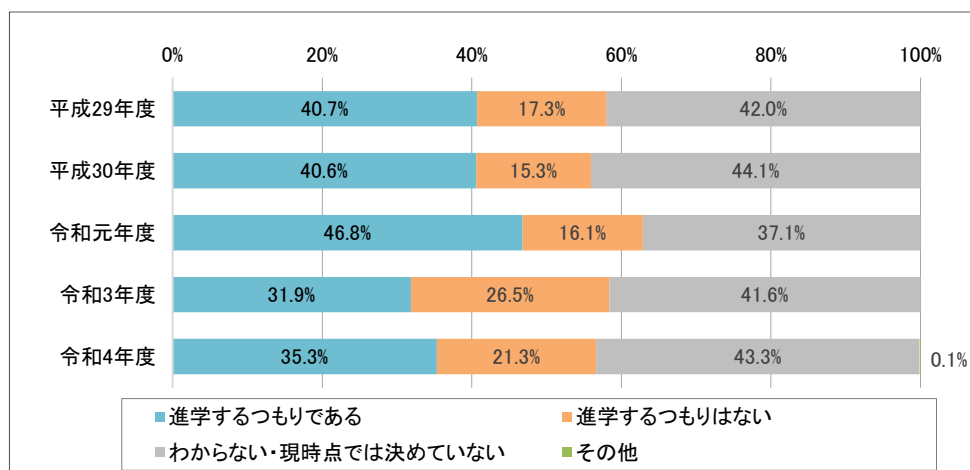


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	その他	回答者数
平成29年度	回答数	887	398	927	—	2,212
	割合	40.1%	18.0%	41.9%	—	100.0%
平成30年度	回答数	705	285	761	—	1,751
	割合	40.3%	16.3%	43.5%	—	100.0%
令和元年度	回答数	682	248	585	—	1,515
	割合	45.0%	16.4%	38.6%	—	100.0%
令和3年度	回答数	798	575	985	—	2,358
	割合	33.8%	24.4%	41.8%	—	100.0%
令和4年度	回答数	793	426	856	5	2,080
	割合	38.1%	20.5%	41.2%	0.2%	100.0%

※1番目の選択肢(進学するつもりである)について、令和3年度以降は、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生における「現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する」と「連携先以外の法科大学院に進む」の回答者を含む

※4番目の選択肢(その他)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性

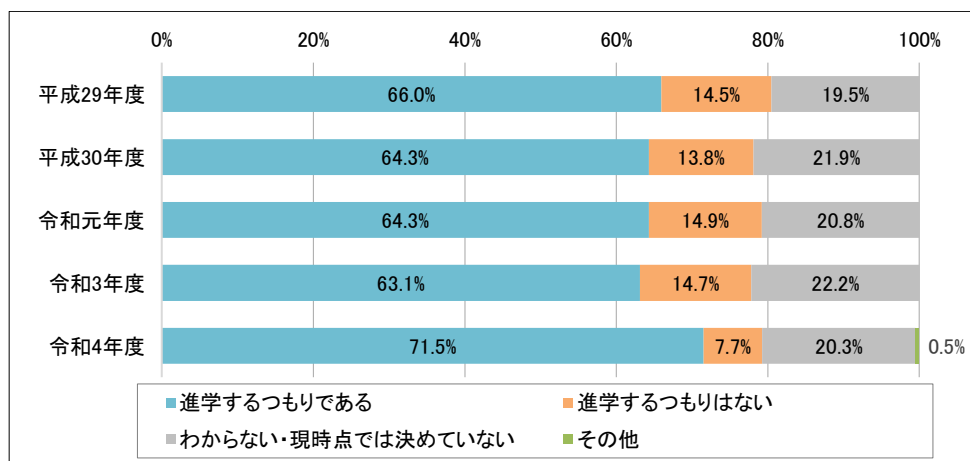


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	322	137	332	—	791
	割合	40.7%	17.3%	42.0%	—	100.0%
平成 30 年度	回答数	270	102	293	—	665
	割合	40.6%	15.3%	44.1%	—	100.0%
令和元年度	回答数	271	93	215	—	579
	割合	46.8%	16.1%	37.1%	—	100.0%
令和3年度	回答数	324	270	423	—	1,017
	割合	31.9%	26.5%	41.6%	—	100.0%
令和4年度	回答数	339	204	415	1	959
	割合	35.3%	21.3%	43.3%	0.1%	100.0%

※1番目の選択肢(進学するつもりである)について、令和3年度以降は、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生における「現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する」と「連携先以外の法科大学院に進む」の回答者を含む

※4番目の選択肢(その他)は令和4年度調査から新たに設けたもの

ウ 法曹等を志望している学生

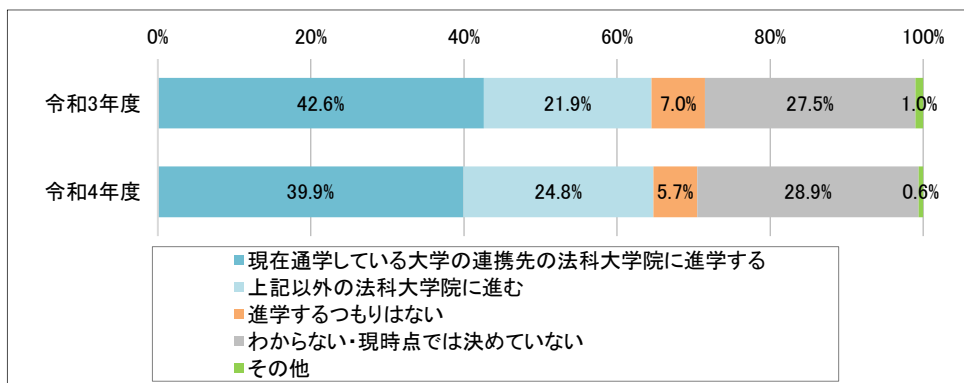


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	その他	回答者数
平成 29 年度	回答数	713	157	211	—	1,081
	割合	66.0%	14.5%	19.5%	—	100.0%
平成 30 年度	回答数	567	122	193	—	882
	割合	64.3%	13.8%	21.9%	—	100.0%
令和元年度	回答数	553	128	179	—	860
	割合	64.3%	14.9%	20.8%	—	100.0%
令和3年度	回答数	620	144	218	—	982
	割合	63.1%	14.7%	22.2%	—	100.0%
令和4年度	回答数	610	66	173	4	853
	割合	71.5%	7.7%	20.3%	0.5%	100.0%

※1番目の選択肢(進学するつもりである)について、令和3年度以降は、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生における「現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する」と「連携先以外の法科大学院に進む」の回答者を含む

※4番目の選択肢(その他)は令和4年度調査から新たに設けたもの

エ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生

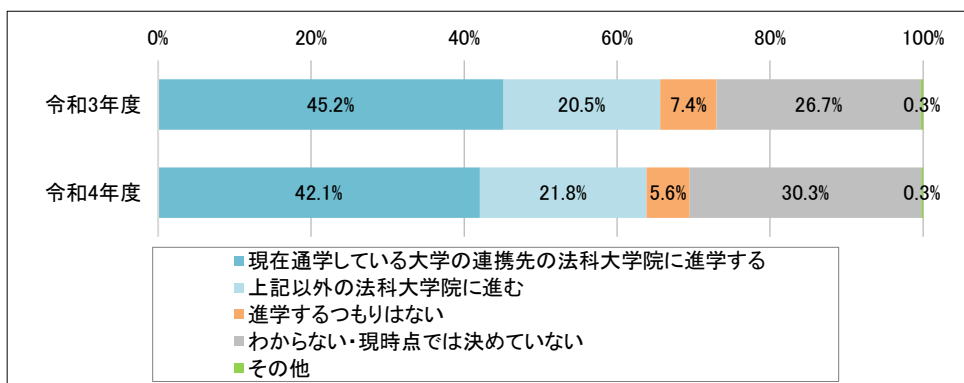


SA	選択肢	現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する	連携先以外の法科大学院に進む	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	その他	回答者数
令和3年度	回答数	335	172	55	216	8	786
	割合	42.6%	21.9%	7.0%	27.5%	1.0%	100.0%
令和4年度	回答数	341	212	49	247	5	854
	割合	39.9%	24.8%	5.7%	28.9%	0.6%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

オ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している女性

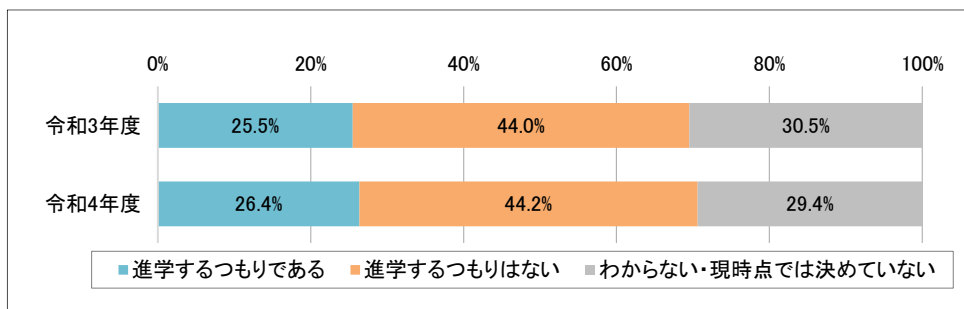


SA	選択肢	現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する	連携先以外の法科大学院に進む	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	その他	回答者数
令和3年度	回答数	159	72	26	94	1	352
	割合	45.2%	20.5%	7.4%	26.7%	0.3%	100.0%
令和4年度	回答数	164	85	22	118	1	390
	割合	42.1%	21.8%	5.6%	30.3%	0.3%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

カ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない学生

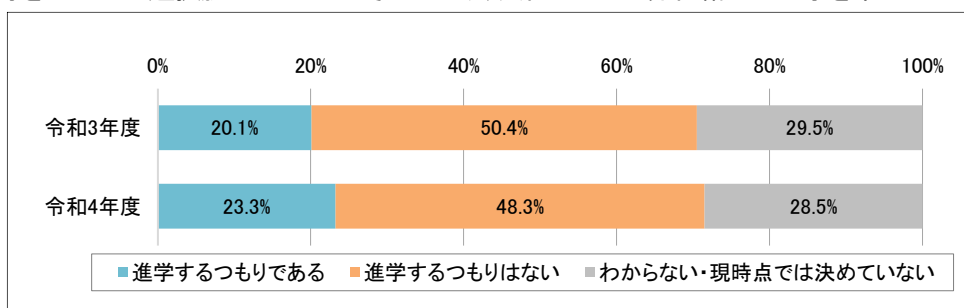


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	229	396	274	899
	割合	25.5%	44.0%	30.5%	100.0%
令和4年度	回答数	176	295	196	667
	割合	26.4%	44.2%	29.4%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

キ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない女性

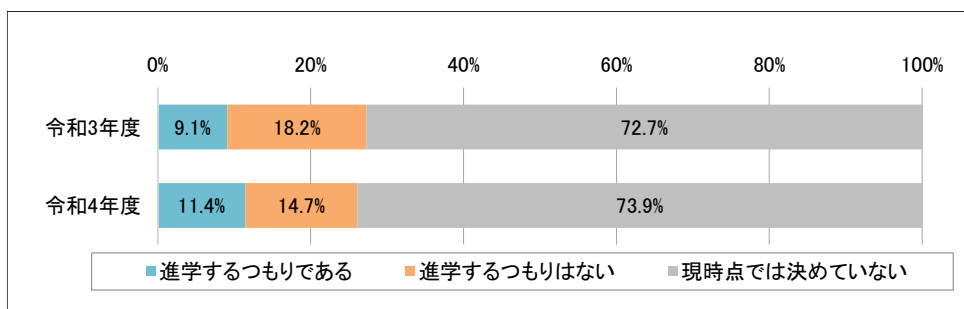


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	73	183	107	363
	割合	20.1%	50.4%	29.5%	100.0%
令和4年度	回答数	67	139	82	288
	割合	23.3%	48.3%	28.5%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

ク 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である学生

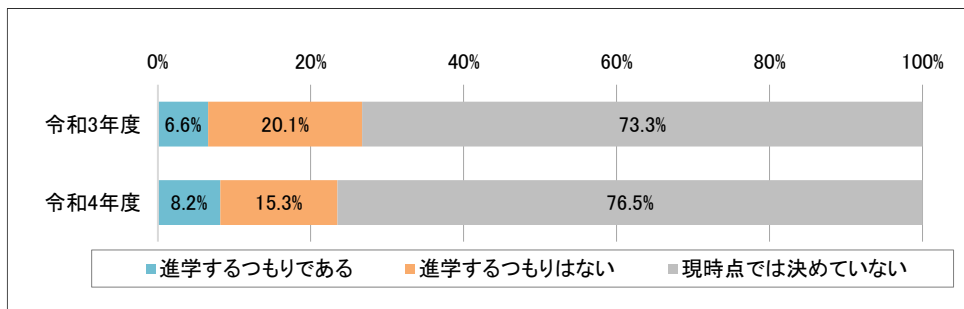


SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	62	124	495	681
	割合	9.1%	18.2%	72.7%	100.0%
令和4年度	回答数	64	82	413	559
	割合	11.4%	14.7%	73.9%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

ケ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である女性



SA	選択肢	進学するつもりである	進学するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和3年度	回答数	20	61	222	303
	割合	6.6%	20.1%	73.3%	100.0%
令和4年度	回答数	23	43	215	281
	割合	8.2%	15.3%	76.5%	100.0%

※令和3年度調査で新たに追加した質問

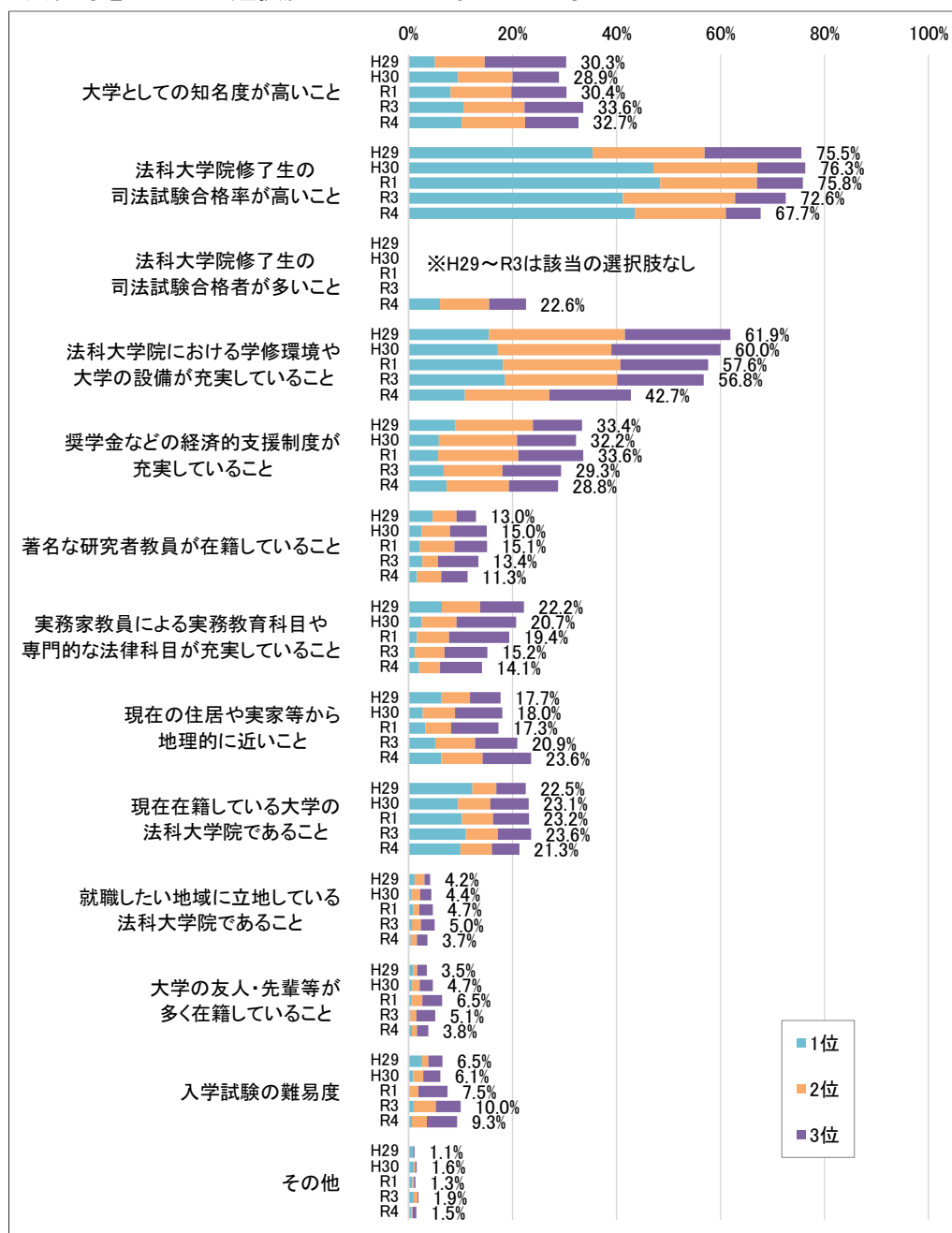
※4番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

6. 法科大学院選択の際に重視するもの

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法科大学院に進学するつもりであると回答した学生に、法科大学院を選択する際に重視することを、その度合いが高いものから順に3つ選んでもらった結果、「法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと」との回答割合が約68%で最多、続いて「法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること」が約43%で2番目に高かった。また本年度から追加された「法科大学院修了生の司法試験合格者が多いこと」は約23%で6番目であった。

女性に限って見た場合も全体的な傾向は大きく変わらないが、学生全体に比して、「大学としての知名度が高いこと」及び「著名な研究者教員が在籍していること」との回答割合が相対的に低かった。

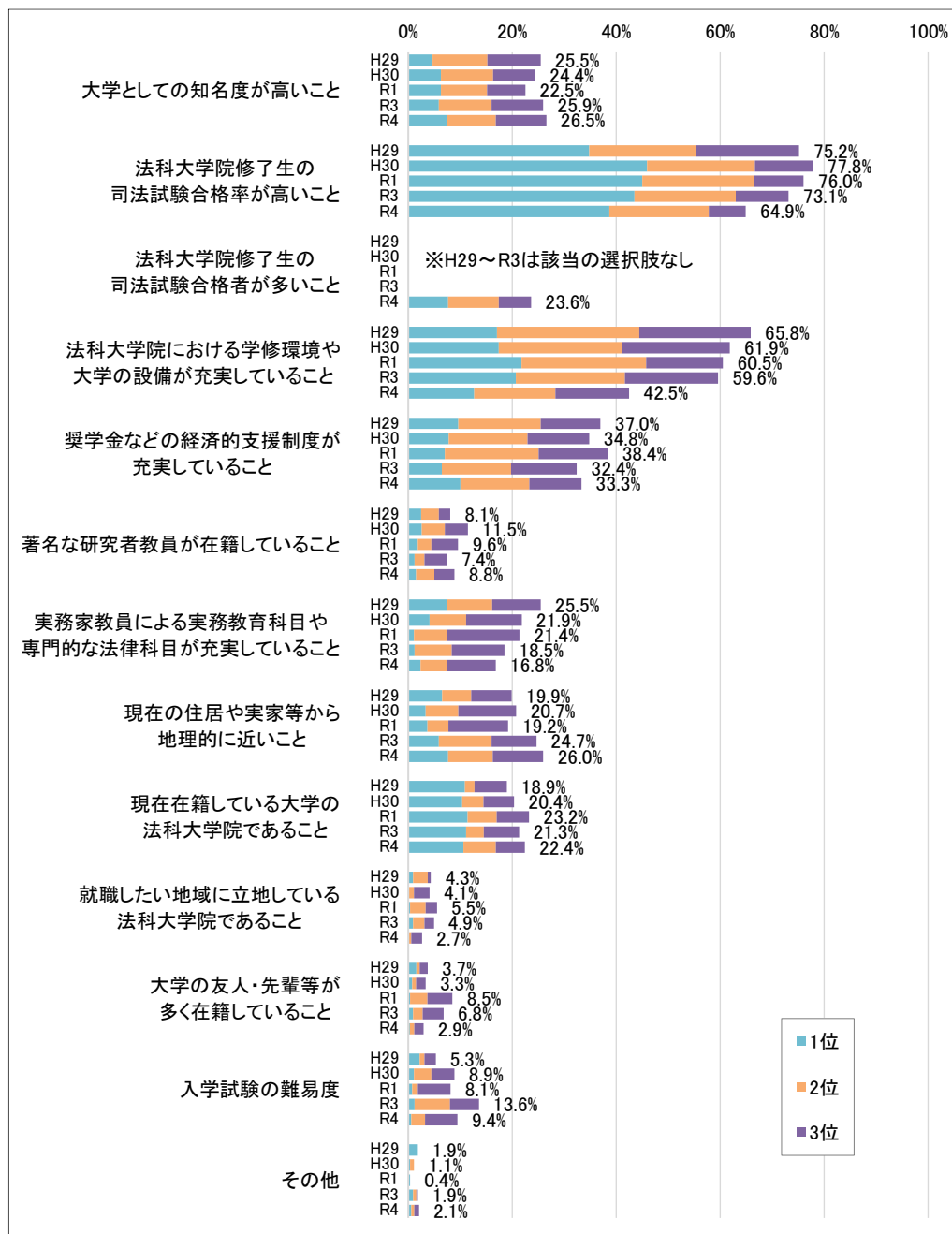
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



	SA	選択肢 大学としての 知名度が高いこと	法科大学院修了生の 司法試験合格 率が高いこと	法科大学院修了生の 司法試験合格 者が多いこと	法科大学院に おける学修環 境や大学の設 備が充実して いること	奨学金などの 経済的支援制 度が充実して いること	著名な者が 研究員が在籍 していること	実務家による実 務教育や専門 的な法律科目 が充実している こと	現在の住居や実 家等から地理 的に近いこと	現在在籍してい る大学の法科 学院であること	就職したい地 域に立地してい る法科大学院 であること	大学の友人・先 輩等が多く在 籍していること	入学試験の難 易度	その他	選択無し	回答者 数
1位	平成29年度 回答数	45	314	-	137	79	41	57	56	109	10	8	23	8	0	887
	割合	5.1%	35.4%	-	15.4%	8.9%	4.6%	6.4%	6.3%	12.3%	1.1%	0.9%	2.6%	0.9%	0.0%	100.0%
	平成30年度 回答数	67	332	-	121	41	18	18	19	67	4	5	6	7	0	705
	割合	9.5%	47.1%	-	17.2%	5.8%	2.6%	2.6%	2.7%	9.5%	0.6%	0.7%	0.9%	1.0%	0.0%	100.0%
	令和元年度 回答数	55	330	-	124	39	15	11	22	70	6	3	2	5	0	682
	割合	8.1%	48.4%	-	18.2%	5.7%	2.2%	1.6%	3.2%	10.3%	0.9%	0.4%	0.3%	0.7%	0.0%	100.0%
	令和3年度 回答数	84	329	-	148	54	21	9	41	88	5	3	8	8	0	798
	割合	10.5%	41.2%	-	18.5%	6.8%	2.6%	1.1%	5.1%	11.0%	0.6%	0.4%	1.0%	1.0%	0.0%	100.0%
2位	令和4年度 回答数	81	345	48	86	58	13	16	50	79	3	5	5	4	0	793
	割合	10.2%	43.5%	6.1%	10.8%	7.3%	1.6%	2.0%	6.3%	10.0%	0.4%	0.6%	0.6%	0.5%	0.0%	100.0%
	平成29年度 回答数	85	191	-	232	133	41	65	49	41	17	7	11	0	15	887
	割合	9.6%	21.5%	-	26.2%	15.0%	4.6%	7.3%	5.5%	4.6%	1.9%	0.8%	1.2%	0.0%	1.7%	100.0%
	平成30年度 回答数	74	141	-	154	106	38	47	44	44	12	10	14	2	19	705
	割合	10.5%	20.0%	-	21.8%	15.0%	5.4%	6.7%	6.2%	6.2%	1.7%	1.4%	2.0%	0.3%	2.7%	100.0%
	令和元年度 回答数	80	127	-	154	105	45	42	34	41	8	15	11	2	18	682
	割合	11.7%	18.6%	-	22.6%	15.4%	6.6%	6.2%	5.0%	6.0%	1.2%	2.2%	1.6%	0.3%	2.6%	100.0%
3位	令和3年度 回答数	94	172	-	172	90	24	46	61	49	14	9	34	6	27	798
	割合	11.8%	21.6%	-	21.6%	11.3%	3.0%	5.8%	7.6%	6.1%	1.8%	1.1%	4.3%	0.8%	3.4%	100.0%
	令和4年度 回答数	97	139	75	129	95	37	32	63	48	10	8	23	2	35	793
	割合	12.2%	17.5%	9.5%	16.3%	12.0%	4.7%	4.0%	7.9%	6.1%	1.3%	1.0%	2.9%	0.3%	4.4%	100.0%
	平成29年度 回答数	139	165	-	180	84	33	75	52	50	10	16	24	2	57	887
	割合	15.7%	18.6%	-	20.3%	9.5%	3.7%	8.5%	5.9%	5.6%	1.1%	1.8%	2.7%	0.2%	6.4%	100.0%
	平成30年度 回答数	63	65	-	148	80	50	81	64	52	15	18	23	2	44	705
	割合	8.9%	9.2%	-	21.0%	11.3%	7.1%	11.5%	9.1%	7.4%	2.1%	2.6%	3.3%	0.3%	6.2%	100.0%
合計	令和元年度 回答数	72	60	-	115	85	43	79	62	47	18	26	38	2	35	682
	割合	10.6%	8.8%	-	16.9%	12.5%	6.3%	11.6%	9.1%	6.9%	2.6%	3.8%	5.6%	0.3%	5.1%	100.0%
	令和3年度 回答数	90	78	-	133	90	62	66	65	51	21	29	38	1	74	798
	割合	11.3%	9.8%	-	16.7%	11.3%	7.8%	8.3%	8.1%	6.4%	2.6%	3.6%	4.8%	0.1%	9.3%	100.0%
	令和4年度 回答数	81	53	56	124	75	40	64	74	42	16	17	46	6	99	793
	割合	10.2%	6.7%	7.1%	15.6%	9.5%	5.0%	8.1%	9.3%	5.3%	2.0%	2.1%	5.8%	0.8%	12.5%	100.0%
	平成29年度 回答数	269	670	-	549	296	115	197	157	200	37	31	58	10	72	887
	割合	30.3%	75.5%	-	61.9%	33.4%	13.0%	22.2%	17.7%	22.5%	4.2%	3.5%	6.5%	1.1%	8.1%	100.0%
	平成30年度 回答数	204	538	-	423	227	106	146	127	163	31	33	43	11	63	705
	割合	28.9%	76.3%	-	60.0%	32.2%	15.0%	20.7%	18.0%	23.1%	4.4%	4.7%	6.1%	1.6%	8.9%	100.0%
	令和元年度 回答数	207	517	-	393	229	103	132	118	158	32	44	51	9	53	682
	割合	30.4%	75.8%	-	57.6%	33.6%	15.1%	19.4%	17.3%	23.2%	4.7%	6.5%	7.5%	1.3%	7.8%	100.0%
	令和3年度 回答数	268	579	-	453	234	107	121	167	188	40	41	80	15	101	798
	割合	33.6%	72.6%	-	56.8%	29.3%	13.4%	15.2%	20.9%	23.6%	5.0%	5.1%	10.0%	1.9%	12.7%	100.0%
	令和4年度 回答数	259	537	179	339	228	90	112	187	169	29	30	74	12	134	793
	割合	32.7%	67.7%	22.6%	42.7%	28.8%	11.3%	14.1%	23.6%	21.3%	3.7%	3.8%	9.3%	1.5%	16.9%	100.0%

※3 番目の選択肢(法科大学院修了生の司法試験合格者が多いこと)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



	SA	選択肢 大学としての 知名度が高いこと	法科大学院修了生の 司法試験合格率が高いこと	法科大学院修了生の 司法試験合格者が多いこと	法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること	奨学金などの経済的 支援制度が充実していること	著名な者が 研究員が在籍していること	実務家 教員による実務教育や 専門的な法律科目が充実していること	現在の住居や実家等から地理的に近いこと	現在在籍している大学の法科大学院であること	就職したい地域に立地している法科大学院であること	大学の友人・先輩等が多く在籍していること	入学試験の難易度	その他	選択無し	回答者数
1位	平成29年度 回答数	15	112	－	55	31	8	24	21	35	3	5	7	6	0	322
	割合	4.7%	34.8%	－	17.1%	9.6%	2.5%	7.5%	6.5%	10.9%	0.9%	1.6%	2.2%	1.9%	0.0%	100.0%
	平成30年度 回答数	17	124	－	47	21	7	11	9	28	0	2	3	1	0	270
	割合	6.3%	45.9%	－	17.4%	7.8%	2.6%	4.1%	3.3%	10.4%	0.0%	0.7%	1.1%	0.4%	0.0%	100.0%
	令和元年度 回答数	17	122	－	59	19	5	3	10	31	1	1	2	1	0	271
	割合	6.3%	45.0%	－	21.8%	7.0%	1.8%	1.1%	3.7%	11.4%	0.4%	0.4%	0.7%	0.4%	0.0%	100.0%
	令和3年度 回答数	19	141	－	67	21	4	4	19	36	3	3	4	3	0	324
	割合	5.9%	43.5%	－	20.7%	6.5%	1.2%	1.2%	5.9%	11.1%	0.9%	0.9%	1.2%	0.9%	0.0%	100.0%
2位	令和4年度 回答数	25	131	26	43	34	5	8	26	36	0	1	2	2	0	339
	割合	7.4%	38.6%	7.7%	12.7%	10.0%	1.5%	2.4%	7.7%	10.6%	0.0%	0.3%	0.6%	0.6%	0.0%	100.0%
	平成29年度 回答数	34	66	－	88	51	11	28	18	6	9	2	3	0	6	322
	割合	10.6%	20.5%	－	27.3%	15.8%	3.4%	8.7%	5.6%	1.9%	2.8%	0.6%	0.9%	0.0%	1.9%	100.0%
	平成30年度 回答数	27	56	－	64	41	12	19	17	11	3	2	9	2	7	270
	割合	10.0%	20.7%	－	23.7%	15.2%	4.4%	7.0%	6.3%	4.1%	1.1%	0.7%	3.3%	0.7%	2.6%	100.0%
	令和元年度 回答数	24	58	－	65	49	7	17	11	15	8	9	3	0	5	271
	割合	8.9%	21.4%	－	24.0%	18.1%	2.6%	6.3%	4.1%	5.5%	3.0%	3.3%	1.1%	0.0%	1.8%	100.0%
3位	令和3年度 回答数	33	63	－	68	43	6	23	33	11	7	6	22	2	7	324
	割合	10.2%	19.4%	－	21.0%	13.3%	1.9%	7.1%	10.2%	3.4%	2.2%	1.9%	6.8%	0.6%	2.2%	100.0%
	令和4年度 回答数	32	65	33	53	45	12	17	29	21	2	3	9	2	16	339
	割合	9.4%	19.2%	9.7%	15.6%	13.3%	3.5%	5.0%	8.6%	6.2%	0.6%	0.9%	2.7%	0.6%	4.7%	100.0%
	平成29年度 回答数	33	64	－	69	37	7	30	25	20	2	5	7	0	23	322
	割合	10.2%	19.9%	－	21.4%	11.5%	2.2%	9.3%	7.8%	6.2%	0.6%	1.6%	2.2%	0.0%	7.1%	100.0%
	平成30年度 回答数	22	30	－	56	32	12	29	30	16	8	5	12	0	18	270
	割合	8.1%	11.1%	－	20.7%	11.9%	4.4%	10.7%	11.1%	5.9%	3.0%	1.9%	4.4%	0.0%	6.7%	100.0%
合計	令和元年度 回答数	20	26	－	40	36	14	38	31	17	6	13	17	0	13	271
	割合	7.4%	9.6%	－	14.8%	13.3%	5.2%	14.0%	11.4%	6.3%	2.2%	4.8%	6.3%	0.0%	4.8%	100.0%
	令和3年度 回答数	32	33	－	58	41	14	33	28	22	6	13	18	1	25	324
	割合	9.9%	10.2%	－	17.9%	12.7%	4.3%	10.2%	8.6%	6.8%	1.9%	4.0%	5.6%	0.3%	7.7%	100.0%
	令和4年度 回答数	33	24	21	48	34	13	32	33	19	7	6	21	3	45	339
	割合	9.7%	7.1%	6.2%	14.2%	10.0%	3.8%	9.4%	9.7%	5.6%	2.1%	1.8%	6.2%	0.9%	13.3%	100.0%
	平成29年度 回答数	82	242	－	212	119	26	82	64	61	14	12	17	6	29	322
	割合	25.5%	75.2%	－	65.8%	37.0%	8.1%	25.5%	19.9%	18.9%	4.3%	3.7%	5.3%	1.9%	9.0%	100.0%
	平成30年度 回答数	66	210	－	167	94	31	59	56	55	11	9	24	3	25	270
	割合	24.4%	77.8%	－	61.9%	34.8%	11.5%	21.9%	20.7%	20.4%	4.1%	3.3%	8.9%	1.1%	9.3%	100.0%
	令和元年度 回答数	61	206	－	164	104	26	58	52	63	15	23	22	1	18	271
	割合	22.5%	76.0%	－	60.5%	38.4%	9.6%	21.4%	19.2%	23.2%	5.5%	8.5%	8.1%	0.4%	6.6%	100.0%
	令和3年度 回答数	84	237	－	193	105	24	60	80	69	16	22	44	6	32	324
	割合	25.9%	73.1%	－	59.6%	32.4%	7.4%	18.5%	24.7%	21.3%	4.9%	6.8%	13.6%	1.9%	9.9%	100.0%
	令和4年度 回答数	90	220	80	144	113	30	57	88	76	9	10	32	7	61	339
	割合	26.5%	64.9%	23.6%	42.5%	33.3%	8.8%	16.8%	26.0%	22.4%	2.7%	2.9%	9.4%	2.1%	18.0%	100.0%

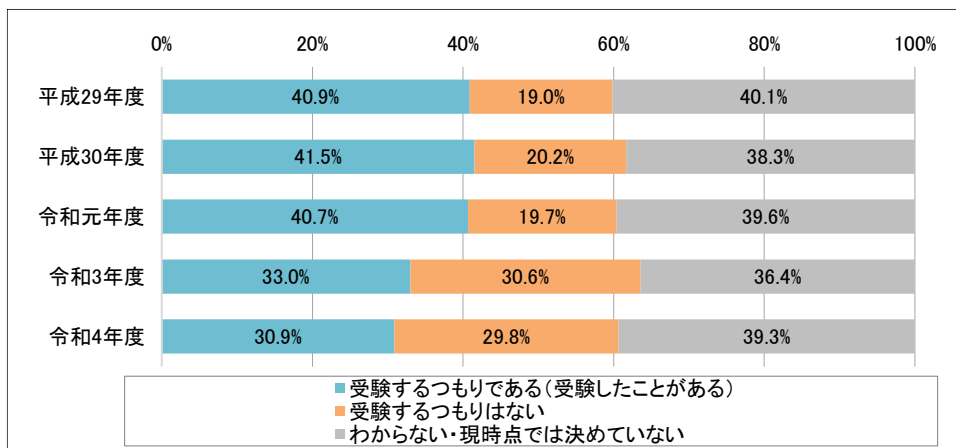
※3 番目の選択肢(法科大学院修了生の司法試験合格者が多いこと)は令和4年度調査から新たに設けたもの

7. 予備試験受験予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生の、大学在学中の予備試験受験予定について、平成29年度以降、「受験するつもりである(受験したことがある)」との回答割合は約40%であったところ、令和3年度は33%、令和4年度も約31%と減少している。

女性に限って見た場合、大学在学中に予備試験を受験する予定と回答した学生の割合は、全体に比して相対的に低いが、経年変化は全体と変わらず、平成29年度から令和元年度はほぼ同数で推移し、令和3年度に減少し、令和4年度も減少している。

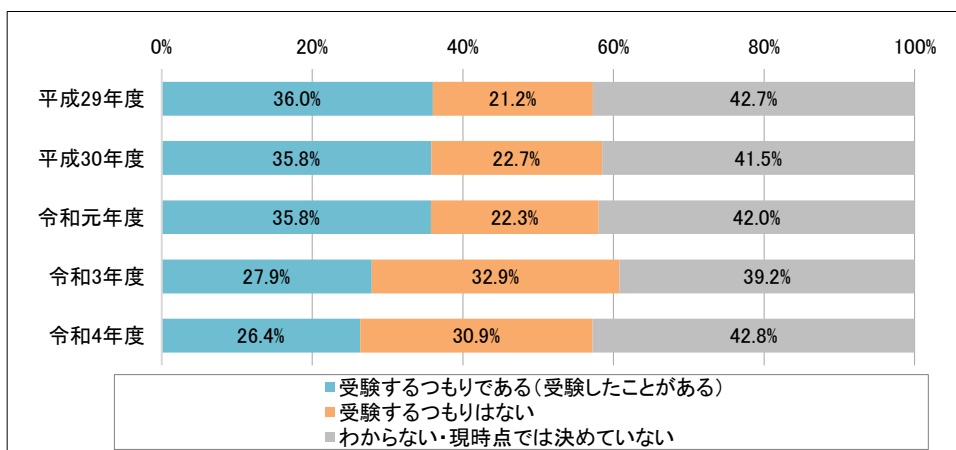
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	受験するつもりである (受験したことがある)	受験するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
平成29年度	回答数	904	420	888	2,212
	割合	40.9%	19.0%	40.1%	100.0%
平成30年度	回答数	727	353	671	1,751
	割合	41.5%	20.2%	38.3%	100.0%
令和元年度	回答数	616	299	600	1,515
	割合	40.7%	19.7%	39.6%	100.0%
令和3年度	回答数	781	723	862	2,366
	割合	33.0%	30.6%	36.4%	100.0%
令和4年度	回答数	643	619	818	2,080
	割合	30.9%	29.8%	39.3%	100.0%

※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	受験するつもりである (受験したことがある)	受験するつもりはない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
平成29年度	回答数	285	168	338	791
	割合	36.0%	21.2%	42.7%	100.0%
平成30年度	回答数	238	151	276	665
	割合	35.8%	22.7%	41.5%	100.0%
令和元年度	回答数	207	129	243	579
	割合	35.8%	22.3%	42.0%	100.0%
令和3年度	回答数	284	335	399	1,018
	割合	27.9%	32.9%	39.2%	100.0%
令和4年度	回答数	253	296	410	959
	割合	26.4%	30.9%	42.8%	100.0%

※3番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点では決めていない」

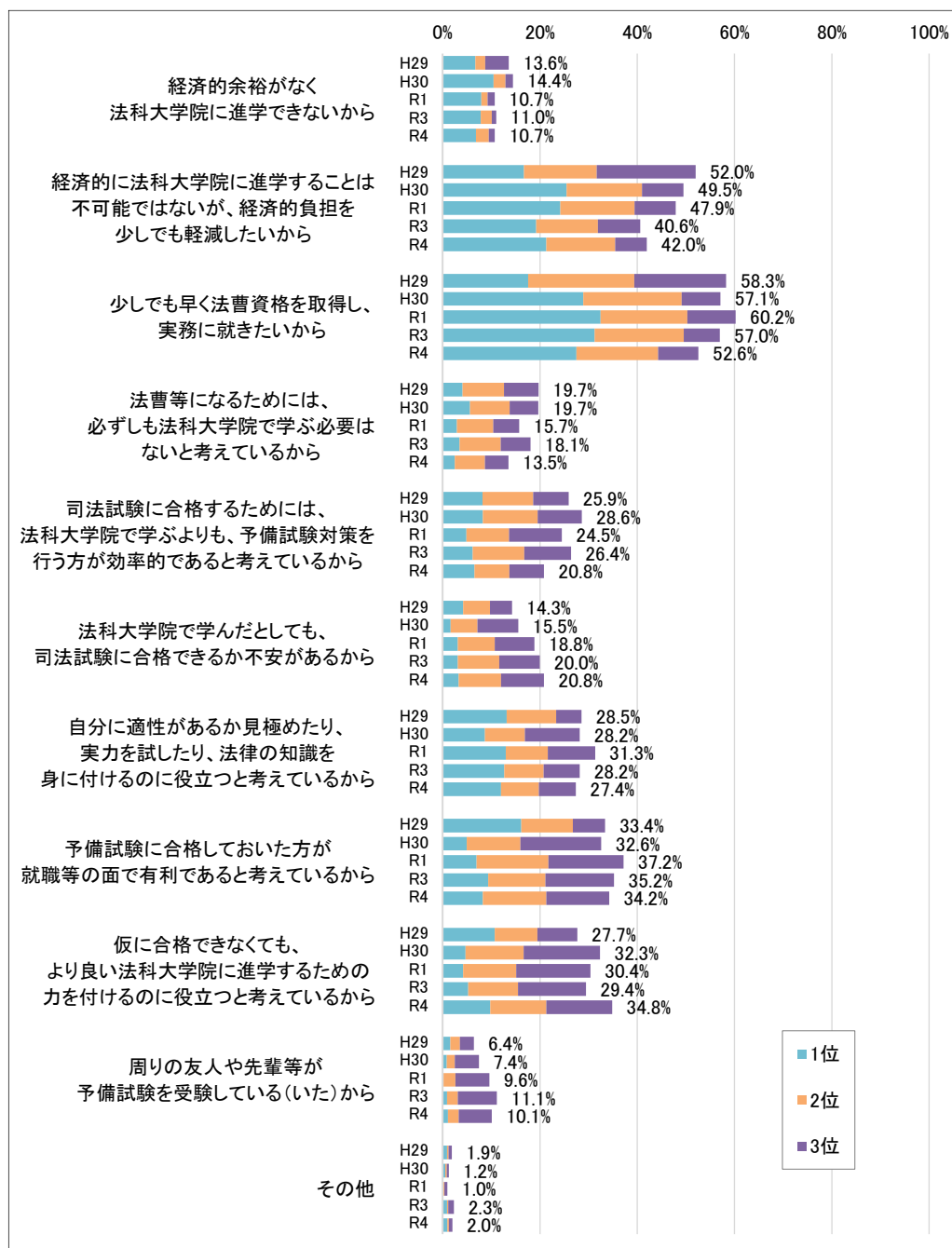
8. 予備試験受験理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、大学在学中に予備試験を受験予定であると回答した学生に、予備試験の受験理由を尋ねた結果、「少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから」の回答割合が約53%で最も高い。次いで「経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから」の回答割合が高い。本回答割合は、平成29年度の52%から一貫して減少し令和3年度は約41%であったが、令和4年度は42%とやや増加した。

女性に限って見た場合もほぼ同様であるが、経済的負担を少しでも軽くしたいとの回答割合は、減少傾向が続いている。

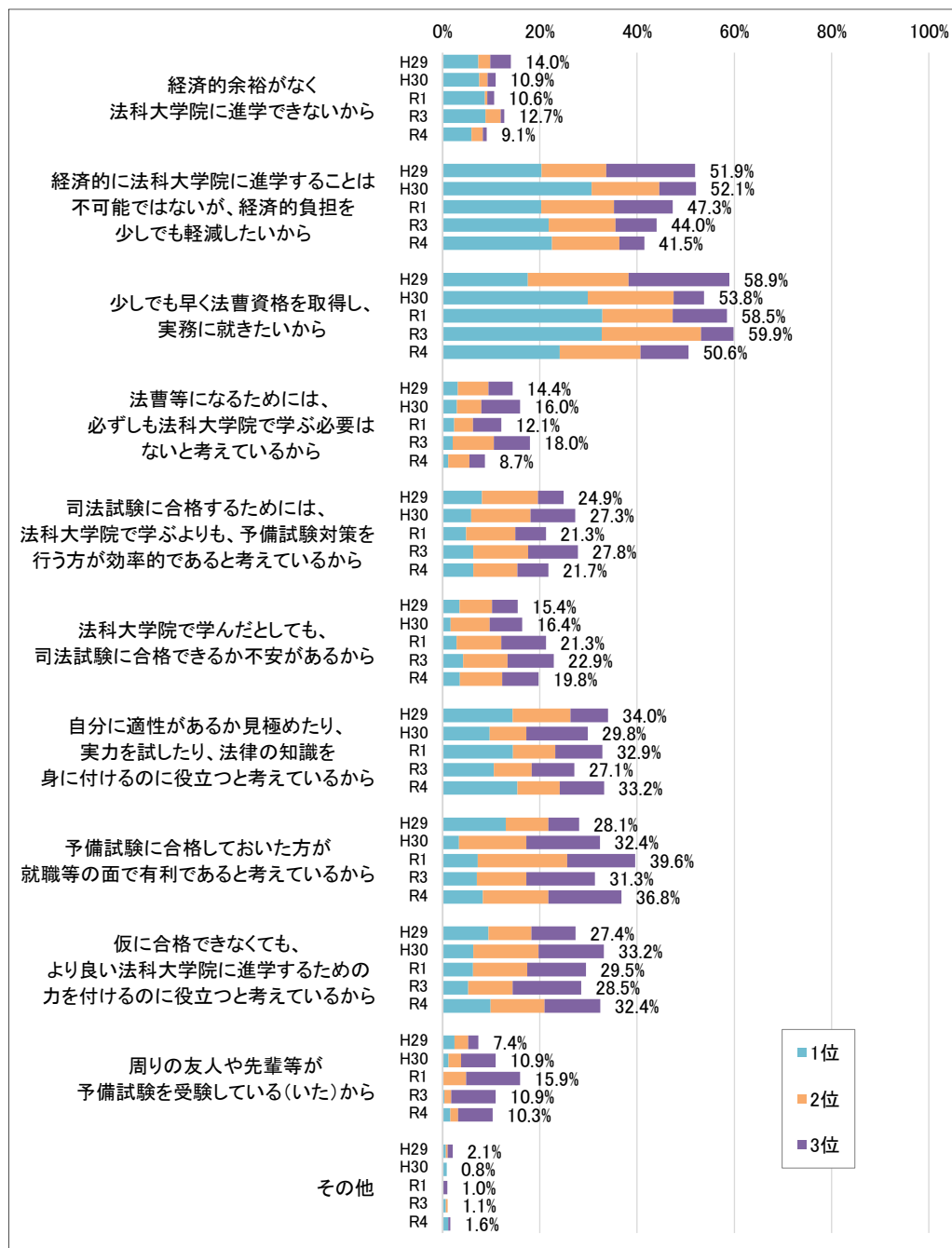
なお、「その他」として、令和4年度調査では「予備試験の合格を目標に勉強することで司法試験に役立つと考えているから」、「法科大学院に進学できなかった時のために多くの試験を受けたい」、「近年では予備試験合格者の司法試験合格率が著しく、大手弁護士事務所の多くも予備試験での合格者のみを採用するところが多いから。」などの回答があった。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



	SA	選外	経済的 余裕が なく法科 大学院に 進学す るから	経済的 に法科 大学院 に進学 すること は不可 能では ないが、 経済的 負担を 少しでも 軽減した いから	少しでも 早く法曹 資格を 取得し、 実務に 就きたい から	法曹等 になるた めには、 必ずしも 法科大 学院で 学ぶ必 要はな いと考 えている から	司法試 験に合 格するた めには、 法科大 学院で 学ぶより も、予備 試験対 策を行う 方が効 率的で あると考 えている から	法科大 学院で 学んだと しても、 司法試 験に合 格でき る不安 がある から	自分 に適性 があるか 見極め たり、実 力を試 したり、 法律の知 識を身に 付けるの に役立つ と考 えている から	予備試 験に合 格してお いた方 が就職 等の面 で有利 であると 考 えている から	仮に合 格できな くても、 より良い 法科大 学院に 進学す るための 力を付け るのに役 立っていると考 えているから	周りの友 人や先輩 等が予備 試験を受 験してい る(いた)から	その他	選択無し	回答者 数
1位	平成29年度 回答数	61	151	159	37	74	38	119	146	97	14	8	0	904	
	割合	6.7%	16.7%	17.6%	4.1%	8.2%	4.2%	13.2%	16.2%	10.7%	1.5%	0.9%	0.0%	100.0%	
	平成30年度 回答数	76	185	210	41	60	12	63	36	34	6	4	0	727	
	割合	10.5%	25.4%	28.9%	5.6%	8.3%	1.7%	8.7%	5.0%	4.7%	0.8%	0.6%	0.0%	100.0%	
	令和元年度 回答数	49	149	200	18	30	19	80	43	26	1	1	0	616	
	割合	8.0%	24.2%	32.5%	2.9%	4.9%	3.1%	13.0%	7.0%	4.2%	0.2%	0.2%	0.0%	100.0%	
	令和3年度 回答数	61	150	244	27	48	24	99	73	41	7	7	0	781	
	割合	7.8%	19.2%	31.2%	3.5%	6.1%	3.1%	12.7%	9.3%	5.2%	0.9%	0.9%	0.0%	100.0%	
2位	令和4年度 回答数	44	137	177	16	42	21	77	53	63	7	6	0	643	
	割合	6.8%	21.3%	27.5%	2.5%	6.5%	3.3%	12.0%	8.2%	9.8%	1.1%	0.9%	0.0%	100.0%	
	平成29年度 回答数	18	135	197	77	94	50	92	96	79	18	3	45	904	
	割合	2.0%	14.9%	21.8%	8.5%	10.4%	5.5%	10.2%	10.6%	8.7%	2.0%	0.3%	5.0%	100.0%	
	平成30年度 回答数	18	113	147	59	82	40	60	80	87	12	2	27	727	
	割合	2.5%	15.5%	20.2%	8.1%	11.3%	5.5%	8.3%	11.0%	12.0%	1.7%	0.3%	3.7%	100.0%	
	令和元年度 回答数	8	94	110	46	54	47	53	91	67	15	1	30	616	
	割合	1.3%	15.3%	17.9%	7.5%	8.8%	7.6%	8.6%	14.8%	10.9%	2.4%	0.2%	4.9%	100.0%	
3位	令和3年度 回答数	18	99	143	66	83	67	63	92	80	17	2	51	781	
	割合	2.3%	12.7%	18.3%	8.5%	10.6%	8.6%	8.1%	11.8%	10.2%	2.2%	0.3%	6.5%	100.0%	
	令和4年度 回答数	17	91	108	40	46	56	50	84	74	14	2	61	643	
	割合	2.6%	14.2%	16.8%	6.2%	7.2%	8.7%	7.8%	13.1%	11.5%	2.2%	0.3%	9.5%	100.0%	
	平成29年度 回答数	44	184	171	64	66	41	47	60	74	26	6	121	904	
	割合	4.9%	20.4%	18.9%	7.1%	7.3%	4.5%	5.2%	6.6%	8.2%	2.9%	0.7%	13.4%	100.0%	
	平成30年度 回答数	11	62	58	43	66	61	82	121	114	36	3	70	727	
	割合	1.5%	8.5%	8.0%	5.9%	9.1%	8.4%	11.3%	16.6%	15.7%	5.0%	0.4%	9.6%	100.0%	
合計	令和元年度 回答数	9	52	61	33	67	50	60	95	94	43	4	48	616	
	割合	1.5%	8.4%	9.9%	5.4%	10.9%	8.1%	9.7%	15.4%	15.3%	7.0%	0.6%	7.8%	100.0%	
	令和3年度 回答数	7	68	58	48	75	65	58	110	109	63	9	111	781	
	割合	0.9%	8.7%	7.4%	6.1%	9.6%	8.3%	7.4%	14.1%	14.0%	8.1%	1.2%	14.2%	100.0%	
	令和4年度 回答数	8	42	53	31	46	57	49	83	87	44	5	138	643	
	割合	1.2%	6.5%	8.2%	4.8%	7.2%	8.9%	7.6%	12.9%	13.5%	6.8%	0.8%	21.5%	100.0%	
	平成29年度 回答数	123	470	527	178	234	129	258	302	250	58	17	166	904	
	割合	13.6%	52.0%	58.3%	19.7%	25.9%	14.3%	28.5%	33.4%	27.7%	6.4%	1.9%	18.4%	100.0%	
	平成30年度 回答数	105	360	415	143	208	113	205	237	235	54	9	97	727	
	割合	14.4%	49.5%	57.1%	19.7%	28.6%	15.5%	28.2%	32.6%	32.3%	7.4%	1.2%	13.3%	100.0%	
	令和元年度 回答数	66	295	371	97	151	116	193	229	187	59	6	78	616	
	割合	10.7%	47.9%	60.2%	15.7%	24.5%	18.8%	31.3%	37.2%	30.4%	9.6%	1.0%	12.7%	100.0%	
	令和3年度 回答数	86	317	445	141	206	156	220	275	230	87	18	162	781	
	割合	11.0%	40.6%	57.0%	18.1%	26.4%	20.0%	28.2%	35.2%	29.4%	11.1%	2.3%	20.7%	100.0%	
	令和4年度 回答数	69	270	338	87	134	134	176	220	224	65	13	199	643	
	割合	10.7%	42.0%	52.6%	13.5%	20.8%	20.8%	27.4%	34.2%	34.8%	10.1%	2.0%	30.9%	100.0%	

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



	SA	選外	経済的 余裕が なく法科 大学院に 進学す るから	経済的 に法科 大学院 に進学 すること は不可 能では ないが、 経済的 負担を 少しでも 軽減した いから	少しでも 早く法曹 資格を 取得し、 実務に 就きたい から	法曹等 になるた めには、 必ずしも 法科大 学院で 学ぶ必 要はな いと考 えている から	司法試 験に合 格するた めには、 法科大 学院で 学ぶより も、予備 試験対 策を行う 方が効 率的で あると考 えている から	法科大 学院で 学んだと しても、 司法試 験に合 格でき る不安 がある から	自分 に適性 があるか 見極め たり、実 力を試 したり、 法律の知 識を身に 付けるの に役立つ と考 えている から	予備試 験に合 格してお いた方 が就職 等の面 で有利 であると 考 えている から	仮に合 格できな くても、 より良い 法科大 学院に 進学す るための 力を付け るのに役 立っていると考 えているから	周りの友 人や先 輩等が 予備試 験を受 験してい る(いた)から	その他	選択無し	回答者 数
1位	平成29年度 回答数	21	58	50	9	23	10	41	37	27	7	2	0	285	
	割合	7.4%	20.4%	17.5%	3.2%	8.1%	3.5%	14.4%	13.0%	9.5%	2.5%	0.7%	0.0%	100.0%	
	平成30年度 回答数	18	73	71	7	14	4	23	8	15	3	2	0	238	
	割合	7.6%	30.7%	29.8%	2.9%	5.9%	1.7%	9.7%	3.4%	6.3%	1.3%	0.8%	0.0%	100.0%	
	令和元年度 回答数	18	42	68	5	10	6	30	15	13	0	0	0	207	
	割合	8.7%	20.3%	32.9%	2.4%	4.8%	2.9%	14.5%	7.2%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	令和3年度 回答数	25	62	93	6	18	12	30	20	15	1	2	0	284	
	割合	8.8%	21.8%	32.7%	2.1%	6.3%	4.2%	10.6%	7.0%	5.3%	0.4%	0.7%	0.0%	100.0%	
2位	令和4年度 回答数	15	57	61	3	16	9	39	21	25	4	3	0	253	
	割合	5.9%	22.5%	24.1%	1.2%	6.3%	3.6%	15.4%	8.3%	9.9%	1.6%	1.2%	0.0%	100.0%	
	平成29年度 回答数	7	38	59	18	33	19	34	25	25	8	1	18	285	
	割合	2.5%	13.3%	20.7%	6.3%	11.6%	6.7%	11.9%	8.8%	8.8%	2.8%	0.4%	6.3%	100.0%	
	平成30年度 回答数	4	33	42	12	29	19	18	33	32	6	0	10	238	
	割合	1.7%	13.9%	17.6%	5.0%	12.2%	8.0%	7.6%	13.9%	13.4%	2.5%	0.0%	4.2%	100.0%	
	令和元年度 回答数	1	31	30	8	21	19	18	38	23	10	0	8	207	
	割合	0.5%	15.0%	14.5%	3.9%	10.1%	9.2%	8.7%	18.4%	11.1%	4.8%	0.0%	3.9%	100.0%	
3位	令和3年度 回答数	9	39	58	24	32	26	22	29	26	4	1	14	284	
	割合	3.2%	13.7%	20.4%	8.5%	11.3%	9.2%	7.7%	10.2%	9.2%	1.4%	0.4%	4.9%	100.0%	
	令和4年度 回答数	6	35	42	11	23	22	22	34	28	4	0	26	253	
	割合	2.4%	13.8%	16.6%	4.3%	9.1%	8.7%	8.7%	13.4%	11.1%	1.6%	0.0%	10.3%	100.0%	
	平成29年度 回答数	12	52	59	14	15	15	22	18	26	6	3	43	285	
	割合	4.2%	18.2%	20.7%	4.9%	5.3%	5.3%	7.7%	6.3%	9.1%	2.1%	1.1%	15.1%	100.0%	
	平成30年度 回答数	4	18	15	19	22	16	30	36	32	17	0	29	238	
	割合	1.7%	7.6%	6.3%	8.0%	9.2%	6.7%	12.6%	15.1%	13.4%	7.1%	0.0%	12.2%	100.0%	
合計	令和元年度 回答数	3	25	23	12	13	19	20	29	25	23	2	13	207	
	割合	1.4%	12.1%	11.1%	5.8%	6.3%	9.2%	9.7%	14.0%	12.1%	11.1%	1.0%	6.3%	100.0%	
	令和3年度 回答数	2	24	19	21	29	27	25	40	40	26	0	31	284	
	割合	0.7%	8.5%	6.7%	7.4%	10.2%	9.5%	8.8%	14.1%	14.1%	9.2%	0.0%	10.9%	100.0%	
	令和4年度 回答数	2	13	25	8	16	19	23	38	29	18	1	61	253	
	割合	0.8%	5.1%	9.9%	3.2%	6.3%	7.5%	9.1%	15.0%	11.5%	7.1%	0.4%	24.1%	100.0%	
	平成29年度 回答数	40	148	168	41	71	44	97	80	78	21	6	61	285	
	割合	14.0%	51.9%	58.9%	14.4%	24.9%	15.4%	34.0%	28.1%	27.4%	7.4%	2.1%	21.4%	100.0%	
	平成30年度 回答数	26	124	128	38	65	39	71	77	79	26	2	39	238	
	割合	10.9%	52.1%	53.8%	16.0%	27.3%	16.4%	29.8%	32.4%	33.2%	10.9%	0.8%	16.4%	100.0%	
	令和元年度 回答数	22	98	121	25	44	44	68	82	61	33	2	21	207	
	割合	10.6%	47.3%	58.5%	12.1%	21.3%	21.3%	32.9%	39.6%	29.5%	15.9%	1.0%	10.1%	100.0%	
	令和3年度 回答数	36	125	170	51	79	65	77	89	81	31	3	45	284	
	割合	12.7%	44.0%	59.9%	18.0%	27.8%	22.9%	27.1%	31.3%	28.5%	10.9%	1.1%	15.8%	100.0%	
	令和4年度 回答数	23	105	128	22	55	50	84	93	82	26	4	87	253	
	割合	9.1%	41.5%	50.6%	8.7%	21.7%	19.8%	33.2%	36.8%	32.4%	10.3%	1.6%	34.3%	100.0%	

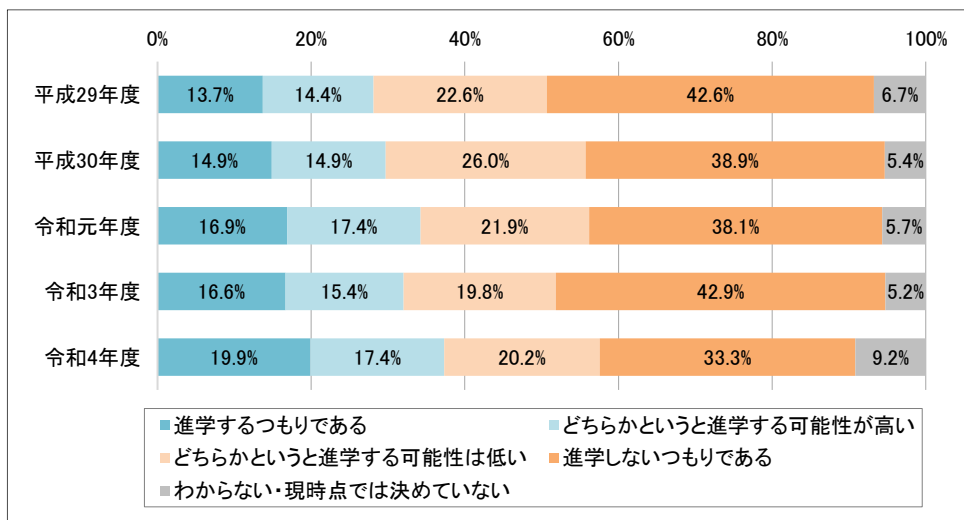
9. 予備試験に合格した場合の法科大学院進学予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、大学在学中に予備試験を受験予定であると回答した学生に、予備試験に合格した場合の法科大学院進学予定を尋ねた結果、「進学するつもりである」と「どちらかというに進学する可能性が高い」との回答割合の合計は約37%であった。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

また、法曹等を志望している学生に限定した場合には、「進学するつもりである」と「どちらかというに進学する可能性が高い」との回答割合の合計は約40%であった。

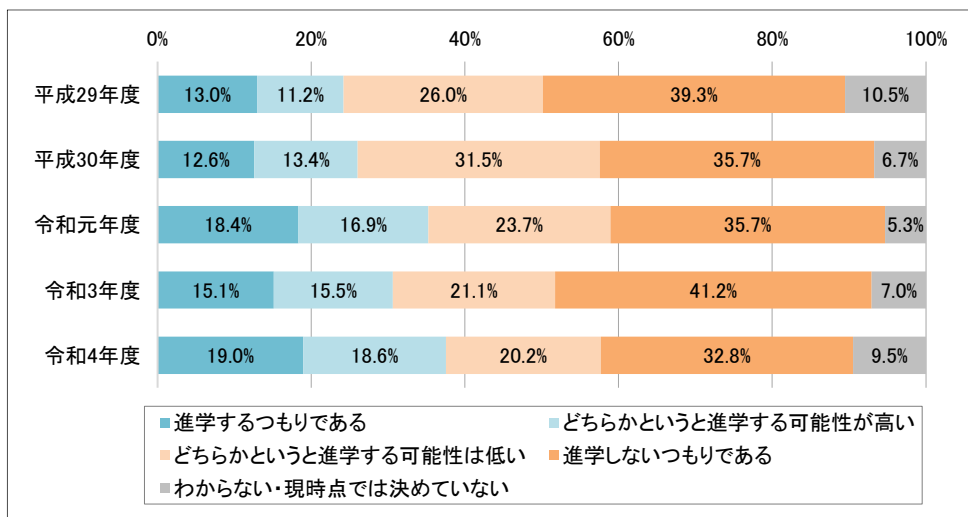
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	進学するつもりである	どちらかというに進学する可能性が高い	どちらかというに進学する可能性は低い	進学しないつもりである	わからない・現時点では決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	124	130	204	385	61	904
	割合	13.7%	14.4%	22.6%	42.6%	6.7%	100.0%
平成 30 年度	回答数	108	108	189	283	39	727
	割合	14.9%	14.9%	26.0%	38.9%	5.4%	100.0%
令和元年度	回答数	104	107	135	235	35	616
	割合	16.9%	17.4%	21.9%	38.1%	5.7%	100.0%
令和3年度	回答数	130	120	155	335	41	781
	割合	16.6%	15.4%	19.8%	42.9%	5.2%	100.0%
令和4年度	回答数	128	112	130	214	59	643
	割合	19.9%	17.4%	20.2%	33.3%	9.2%	100.0%

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点ではよく分からない」

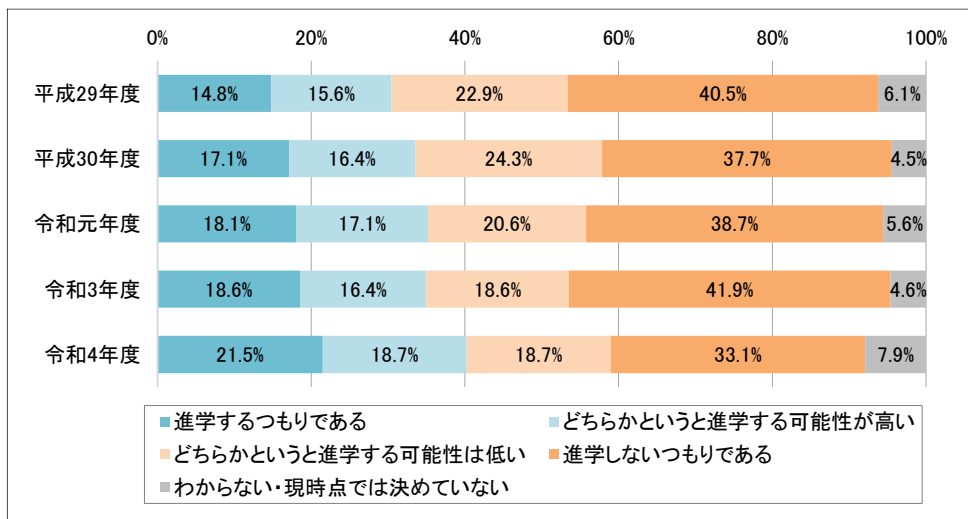
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	進学するつもりである	どちらかというに進学する可能性が高い	どちらかというに進学する可能性は低い	進学しないつもりである	わからない・現時点では決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	37	32	74	112	30	285
	割合	13.0%	11.2%	26.0%	39.3%	10.5%	100.0%
平成 30 年度	回答数	30	32	75	85	16	238
	割合	12.6%	13.4%	31.5%	35.7%	6.7%	100.0%
令和元年度	回答数	38	35	49	74	11	207
	割合	18.4%	16.9%	23.7%	35.7%	5.3%	100.0%
令和3年度	回答数	43	44	60	117	20	284
	割合	15.1%	15.5%	21.1%	41.2%	7.0%	100.0%
令和4年度	回答数	48	47	51	83	24	253
	割合	19.0%	18.6%	20.2%	32.8%	9.5%	100.0%

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点ではよく分からない」

ウ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	進学するつもりである	どちらかというに進学する可能性が高い	どちらかというに進学する可能性は低い	進学しないつもりである	わからない・現時点では決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	106	112	164	290	44	716
	割合	14.8%	15.6%	22.9%	40.5%	6.1%	100.0%
平成 30 年度	回答数	100	96	142	220	26	584
	割合	17.1%	16.4%	24.3%	37.7%	4.5%	100.0%
令和元年度	回答数	94	89	107	201	29	520
	割合	18.1%	17.1%	20.6%	38.7%	5.6%	100.0%
令和3年度	回答数	113	100	113	255	28	609
	割合	18.6%	16.4%	18.6%	41.9%	4.6%	100.0%
令和4年度	回答数	109	95	95	168	40	507
	割合	21.5%	18.7%	18.7%	33.1%	7.9%	100.0%

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点ではよく分からない」

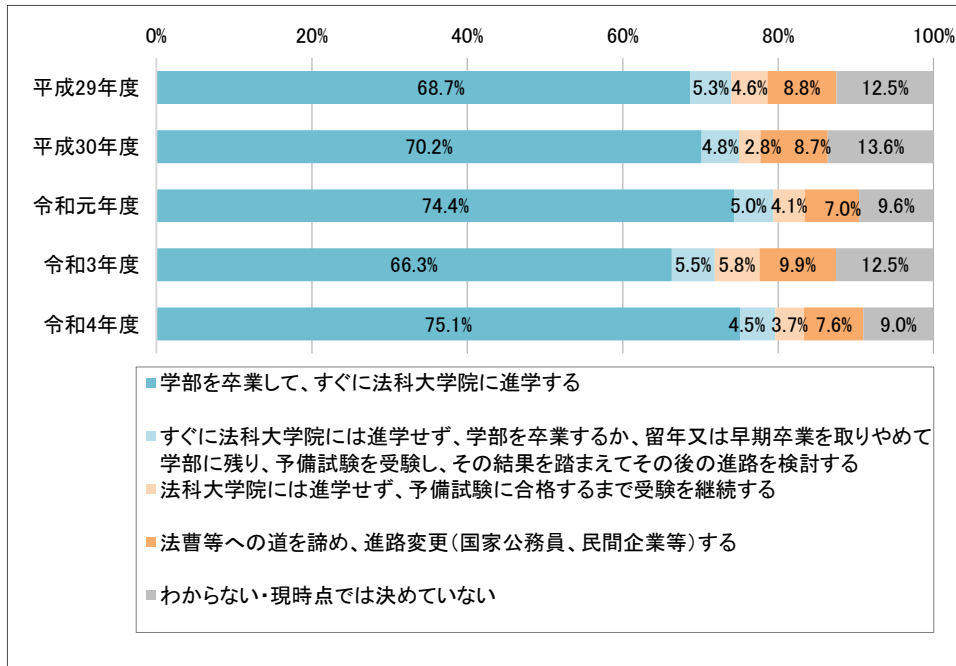
10. 予備試験に合格しなかった場合の法科大学院進学予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、大学在学中に予備試験を受験予定であると回答した学生に、在学中に予備試験に合格しなかった場合の進路について尋ねた結果、「学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する」との回答割合が最も高く、7割程度であった。

「わからない・現時点では決めていない」を除くその他の選択肢の回答割合は、おおむね5～10%にとどまった。

女性に限って見た場合もほぼ同様の結果であった。

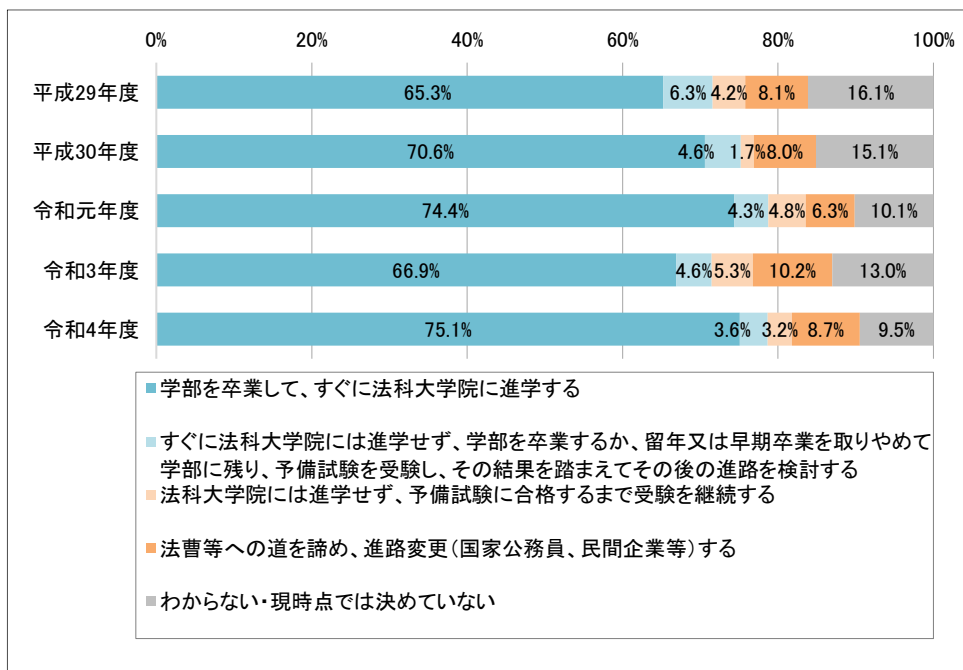
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する	すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業するか、留年又は早期卒業を取りやめて学部に残り、予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する	法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する	法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する	わからない・現時点では決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	621	48	42	80	113	904
	割合	68.7%	5.3%	4.6%	8.8%	12.5%	100.0%
平成 30 年度	回答数	510	35	20	63	99	727
	割合	70.2%	4.8%	2.8%	8.7%	13.6%	100.0%
令和元年度	回答数	458	31	25	43	59	616
	割合	74.4%	5.0%	4.1%	7.0%	9.6%	100.0%
令和3年度	回答数	518	43	45	77	98	781
	割合	66.3%	5.5%	5.8%	9.9%	12.5%	100.0%
令和4年度	回答数	483	29	24	49	58	643
	割合	75.1%	4.5%	3.7%	7.6%	9.0%	100.0%

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点ではよく分からない」

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する	すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業するか、留年又は早期卒業を取りやめて学部に残り、予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する	法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する	法曹等への道を諦め、進路変更(国家公務員、民間企業等)する	わからない・現時点では決めていない	回答者数
平成 29 年度	回答数	186	18	12	23	46	285
	割合	65.3%	6.3%	4.2%	8.1%	16.1%	100.0%
平成 30 年度	回答数	168	11	4	19	36	238
	割合	70.6%	4.6%	1.7%	8.0%	15.1%	100.0%
令和元年度	回答数	154	9	10	13	21	207
	割合	74.4%	4.3%	4.8%	6.3%	10.1%	100.0%
令和3年度	回答数	190	13	15	29	37	284
	割合	66.9%	4.6%	5.3%	10.2%	13.0%	100.0%
令和4年度	回答数	190	9	8	22	24	253
	割合	75.1%	3.6%	3.2%	8.7%	9.5%	100.0%

※5番目の選択肢について、令和3年度調査までは「現時点ではよく分からない」

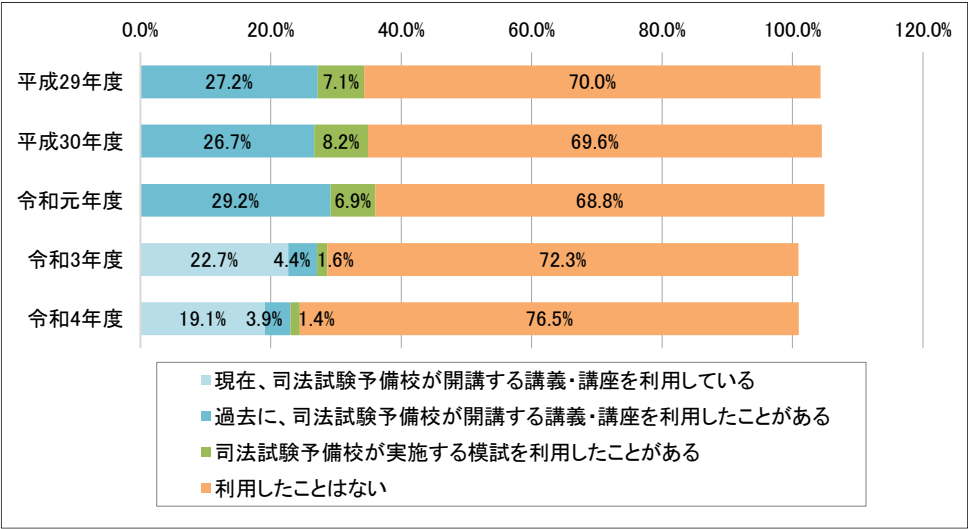
11. 司法試験予備校の利用の有無

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、司法試験予備校を利用したことがあるかを尋ねた結果、25%前後の学生が、現在利用している又は利用したことがあると回答した。ただし、その割合は令和元年度以降減少傾向にある。

女性に限って見た場合もほぼ同様である。

法曹等を志望している学生についてのみ見た場合には、司法試験予備校を現在利用している又は利用したことがあると回答した学生の割合は45%を超えていた。

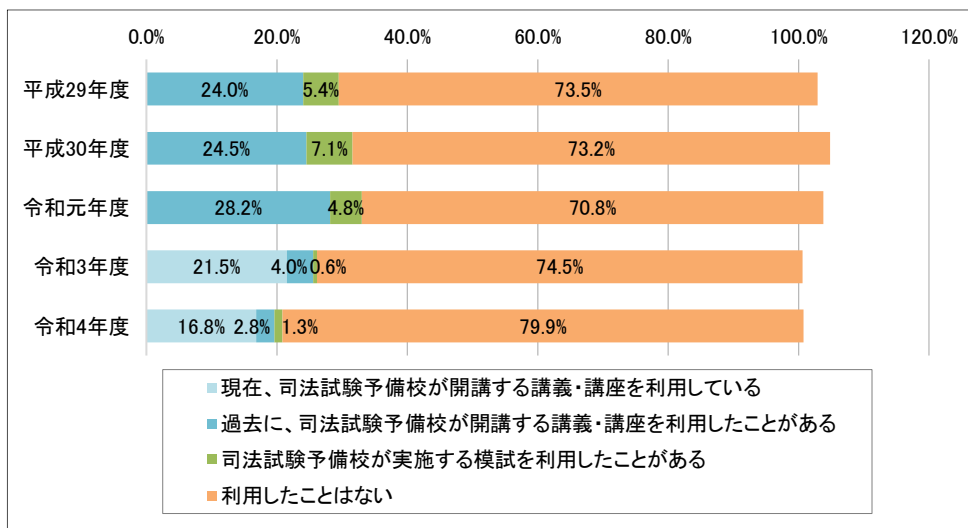
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している	過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
平成 29 年度	回答数	—	602	157	1,548	2,212
	割合	—	27.2%	7.1%	70.0%	—
平成 30 年度	回答数	—	467	144	1,219	1,751
	割合	—	26.7%	8.2%	69.6%	—
令和元年度	回答数	—	442	104	1,043	1,515
	割合	—	29.2%	6.9%	68.8%	—
令和3年度	回答数	537	104	37	1,710	2,366
	割合	22.7%	4.4%	1.6%	72.3%	—
令和4年度	回答数	397	82	30	1,591	2,080
	割合	19.1%	3.9%	1.4%	76.5%	—

※最初の選択肢(現在、予備校を利用している)は令和3年度調査から新たに設けたもの

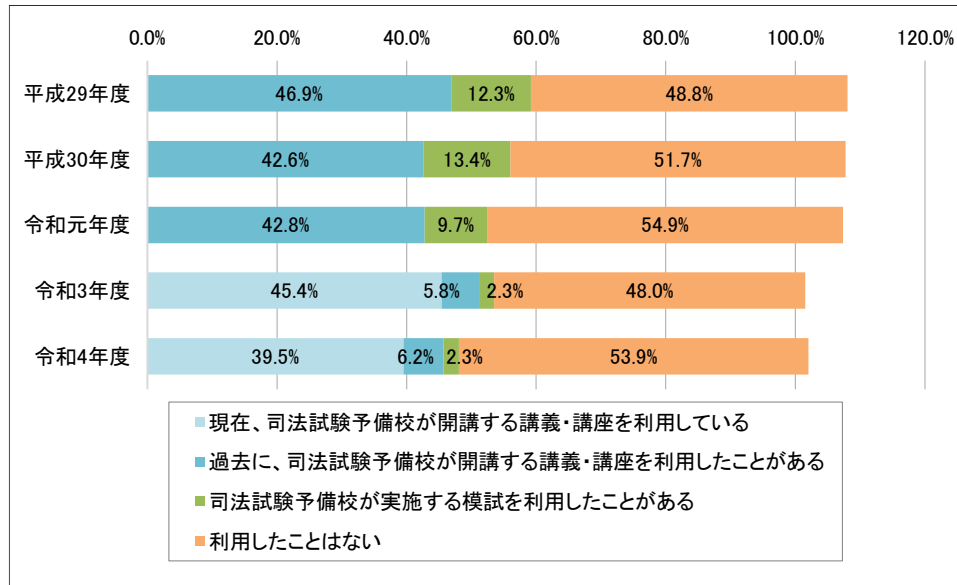
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している	過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
平成 29 年度	回答数	—	190	43	581	791
	割合	—	24.0%	5.4%	73.5%	—
平成 30 年度	回答数	—	163	47	487	665
	割合	—	24.5%	7.1%	73.2%	—
令和元年度	回答数	—	163	28	410	579
	割合	—	28.2%	4.8%	70.8%	—
令和3年度	回答数	219	41	6	758	1,018
	割合	21.5%	4.0%	0.6%	74.5%	—
令和4年度	回答数	161	27	12	766	959
	割合	16.8%	2.8%	1.3%	79.9%	—

※最初の選択肢(現在、予備校を利用している)は令和3年度調査から新たに設けたもの

ウ 法曹等を志望している学生



MA	選択肢	現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している	過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある	司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある	利用したことはない	回答者数
平成 29 年度	回答数	—	507	133	528	1,081
	割合	—	46.9%	12.3%	48.8%	—
平成 30 年度	回答数	—	376	118	456	882
	割合	—	42.6%	13.4%	51.7%	—
令和元年度	回答数	—	368	83	472	860
	割合	—	42.8%	9.7%	54.9%	—
令和3年度	回答数	449	57	23	475	989
	割合	45.4%	5.8%	2.3%	48.0%	—
令和4年度	回答数	337	53	20	460	853
	割合	39.5%	6.2%	2.3%	53.9%	—

※最初の選択肢(現在、予備校を利用している)は令和3年度調査から新たに設けたもの

12. 在学中受験の予定

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生の、法科大学院在学中の司法試験受験予定について、「受験することを考えている」との回答割合は約33%となっている。

女性に限って見た場合、「受験することを考えている」と回答した学生の割合は、全体より低く、この傾向は法曹コースの在籍又は進学希望状況によらず同様にみられる。

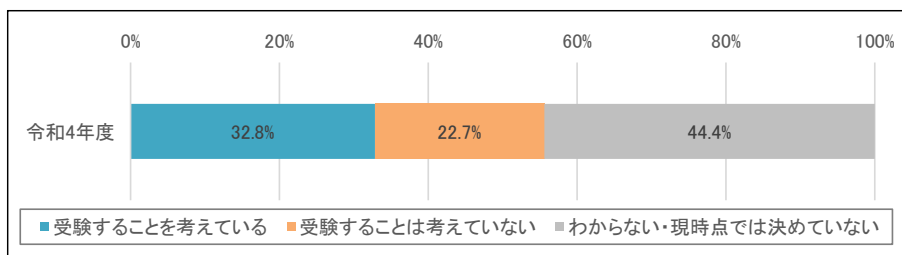
法曹等を志望している学生に限って見た場合、「受験することを考えている」と回答した学生の割合は約66%となっている。

法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生に限って見た場合、「受験することを考えている」と回答した学生の割合は57%となっている。

法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない学生に限って見た場合、「受験することは考えていない」との回答割合が約42%となっている。

法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である学生に限って見た場合、「わからない・現時点では決めていない」との回答割合が約75%となっている。

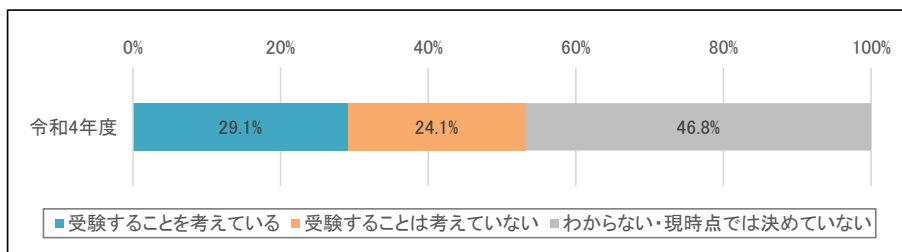
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	683	473	924	2,080
	割合	32.8%	22.7%	44.4%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

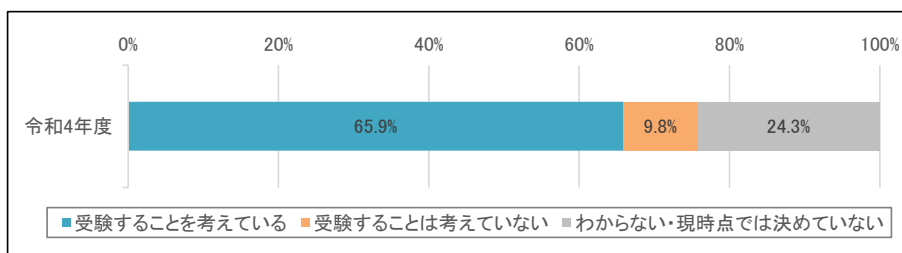
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	279	231	449	959
	割合	29.1%	24.1%	46.8%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

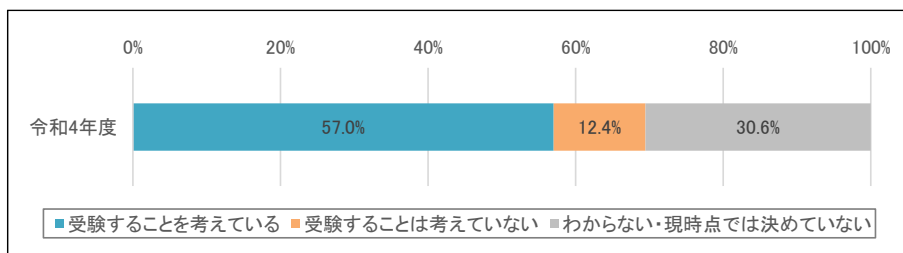
ウ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	562	84	207	853
	割合	65.9%	9.8%	24.3%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

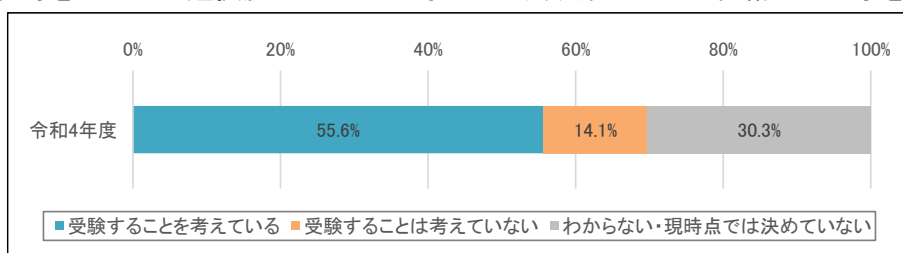
エ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している学生



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	487	106	261	854
	割合	57.0%	12.4%	30.6%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

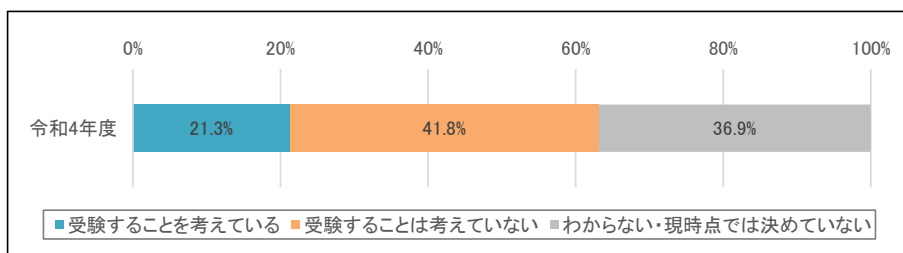
オ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに在籍又は進学を希望している女性



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	217	55	118	390
	割合	55.6%	14.1%	30.3%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

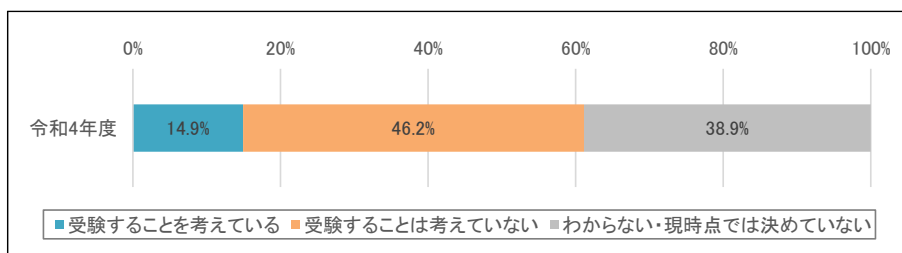
カ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない学生



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	142	279	246	667
	割合	21.3%	41.8%	36.9%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

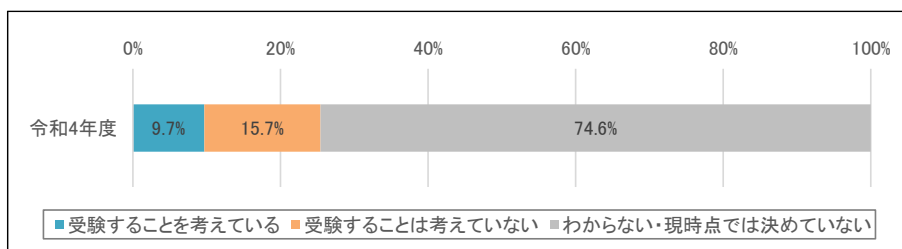
キ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースに非在籍又は進学を希望していない女性



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することとは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	43	133	112	288
	割合	14.9%	46.2%	38.9%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

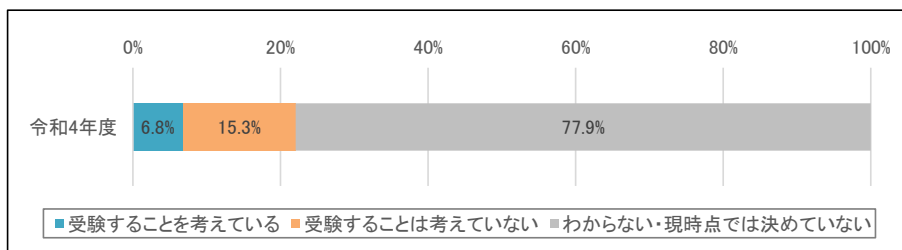
ク 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である学生



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することとは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	54	88	417	559
	割合	9.7%	15.7%	74.6%	100.0%

※令和4年度調査で新たに追加した設問

ケ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法曹コースへの進学は未定である女性



SA	選択肢	受験することを考えている	受験することとは考えていない	わからない・現時点では決めていない	回答者数
令和4年度	回答数	19	43	219	281
	割合	6.8%	15.3%	77.9%	100.0%

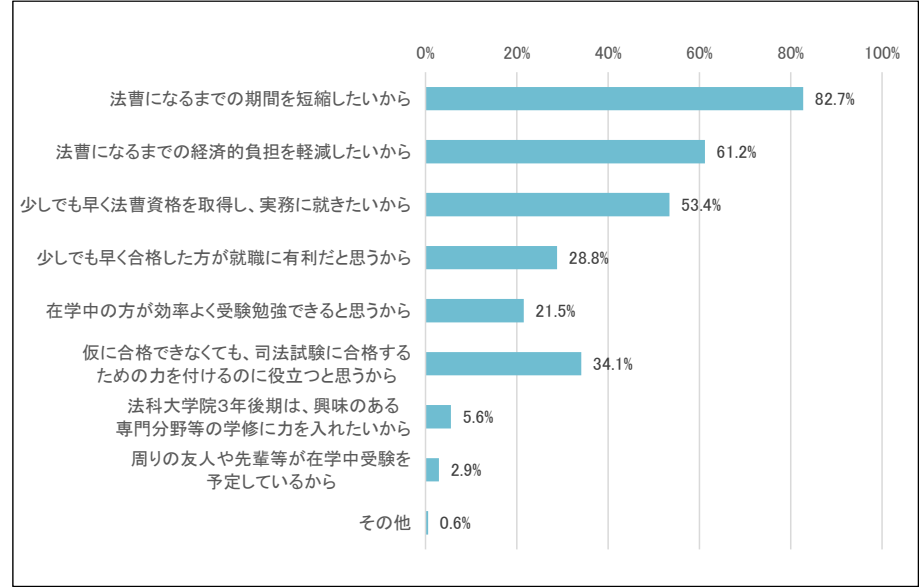
※令和4年度調査で新たに追加した設問

13. 在学中受験を希望する理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法科大学院在学中に司法試験を受験することを考えていると回答した学生に、在学中受験を希望する理由を尋ねた結果、「法曹になるまでの期間を短縮したいから」の回答割合が約 83%で最多であった。次いで、「法曹になるまでの経済的負担を軽減したいから」が約 61%、「少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから」が約 53%となっている。

女性や将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生に限って見た場合もほぼ同様である。

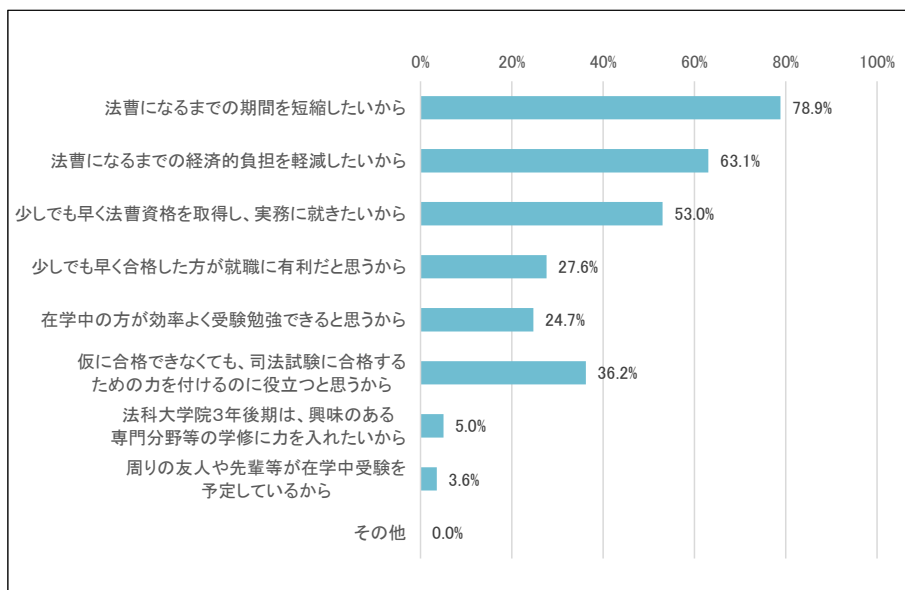
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	法曹になるまでの期間を短縮したいから	法曹になるまでの経済的負担を軽減したいから	少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	少しでも早く合格した方が就職に有利だと思うから	在学中の方が効率よく受験勉強できると思うから	仮に合格できなくても、司法試験に合格するための力を付けるのに役立つと思うから	法科大学院3年後期は、興味のある専門分野等の学修に力を入れたいから	周りの友人や先輩等が在学中受験を予定しているから	その他	回答者数
		565	418	365	197	147	233	38	20	4	683
令和4年度	回答数	565	418	365	197	147	233	38	20	4	683
	割合	82.7%	61.2%	53.4%	28.8%	21.5%	34.1%	5.6%	2.9%	0.6%	—

※令和4年度調査で新たに追加した設問

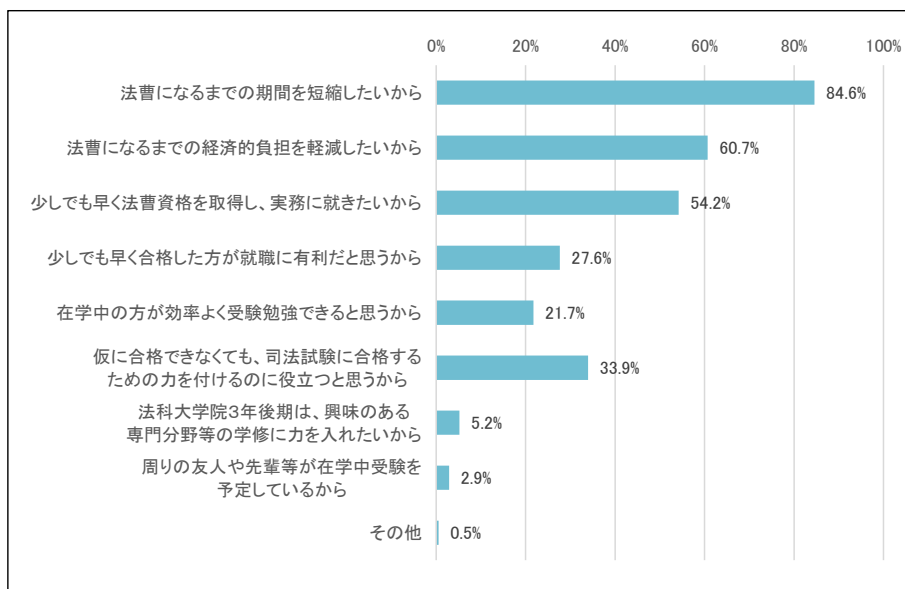
イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	法曹になるまでの期間を短縮したいから	法曹になるまでの経済的負担を軽減したいから	少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	少しでも早く合格した方が就職に有利だと思うから	在学中の方が効率よく受験勉強できると思うから	仮に合格できなくても、司法試験に合格するための力を付けるのに役立つと思うから	法科大学院3年後期は、興味のある専門分野等の学修に力を入れたいから	周りの友人や先輩等が在学中受験を予定しているから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	220	176	148	77	69	101	14	10	0	279
	割合	78.9%	63.1%	53.0%	27.6%	24.7%	36.2%	5.0%	3.6%	0.0%	-

※令和4年度調査で新たに追加した設問

ウ 将来の職業等を選択するにあたり、法曹コースの導入、在学中受験を大いに考慮した又は多少考慮した学生



MA	選択肢	法曹になるまでの期間を短縮したいから	法曹になるまでの経済的負担を軽減したいから	少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから	少しでも早く合格した方が就職に有利だと思うから	在学中の方が効率よく受験勉強できると思うから	仮に合格できなくても、司法試験に合格するための力を付けるのに役立つと思うから	法科大学院3年後期は、興味のある専門分野等の学修に力を入れたいから	周りの友人や先輩等が在学中受験を予定しているから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	471	338	302	154	121	189	29	16	3	557
	割合	84.6%	60.7%	54.2%	27.6%	21.7%	33.9%	5.2%	2.9%	0.5%	-

※令和4年度調査で新たに追加した設問

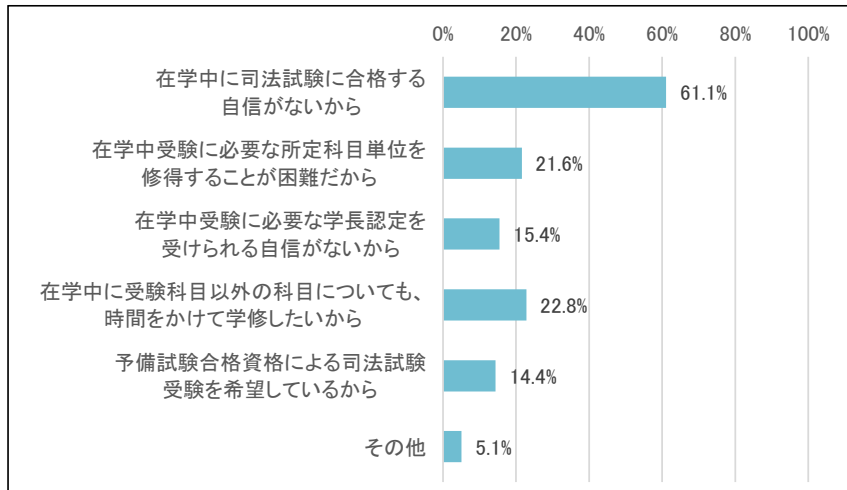
14. 在学中受験を希望しない理由

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、法科大学院在学中に司法試験を受験することは考えていないと回答した学生に、在学中受験を希望しない理由を尋ねた結果、「在学中に司法試験に合格する自信がないから」の回答割合が約61%で最多であった。次いで、「在学中に受験科目以外の科目についても、時間をかけて学修したいから」が約23%、「在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難だから」が約22%となっている。

女性に限って見た場合もほぼ同様である。

なお、「その他」として令和4年度調査では、「法科大学院に行くつもりがないから」、「就職先が決まったから」、「大学生のうちにやりたいことがあるから」などの回答があった。

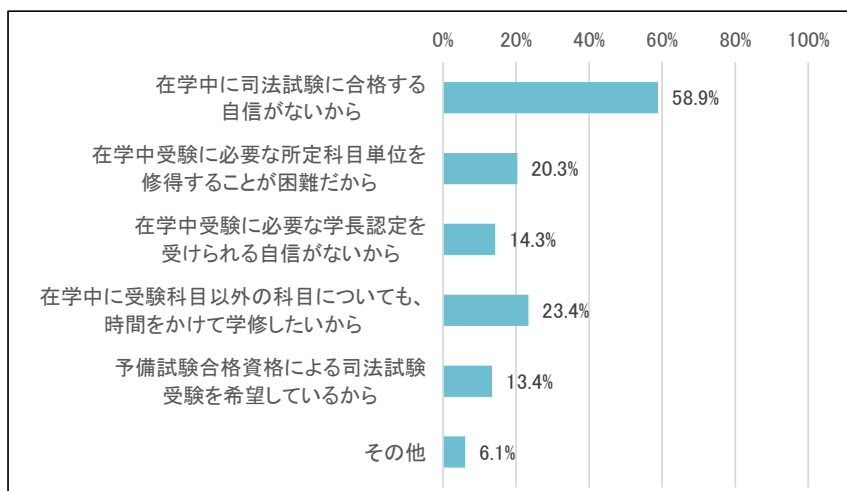
ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



MA	選択肢	在学中に司法試験に合格する自信がないから	在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難だから	在学中受験に必要な学長認定を受けられる自信がないから	在学中に受験科目以外の科目についても、時間をかけて学修したいから	予備試験合格資格による司法試験受験を希望しているから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	289	102	73	108	68	24	473
	割合	61.1%	21.6%	15.4%	22.8%	14.4%	5.1%	-

※令和4年度調査で新たに追加した設問

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	在学中に司法試験に合格する自信がないから	在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難だから	在学中受験に必要な学長認定を受けられる自信がないから	在学中に受験科目以外の科目についても、時間をかけて学修したいから	予備試験合格資格による司法試験受験を希望しているから	その他	回答者数
令和4年度	回答数	136	47	33	54	31	14	231
	割合	58.9%	20.3%	14.3%	23.4%	13.4%	6.1%	-

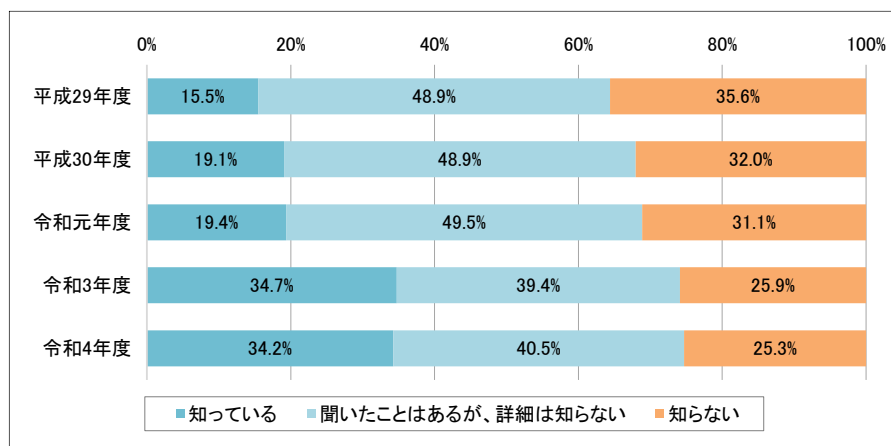
※令和4年度調査で新たに追加した設問

第7 法曹等の活動領域拡大についての認知度・関心

1. 法曹等の活動領域拡大についての認知度

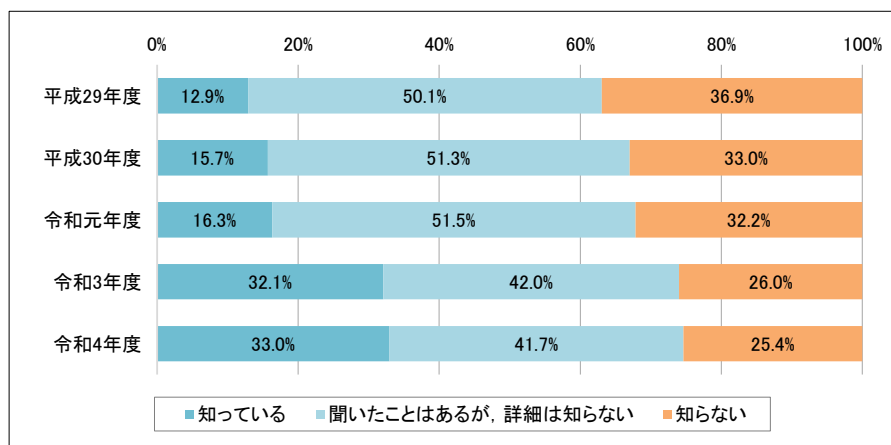
法曹等の活動領域の広がりについての認知度について、令和4年度調査では「知っている」との回答割合は約34%で、「聞いたことはあるが、詳細は知らない」を合わせると約75%となっている。同回答割合は、現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生においては88%、法曹等を志望している学生においては95%に及び、法曹等を志望していない学生においても約68%に認知されている。

ア 全学生



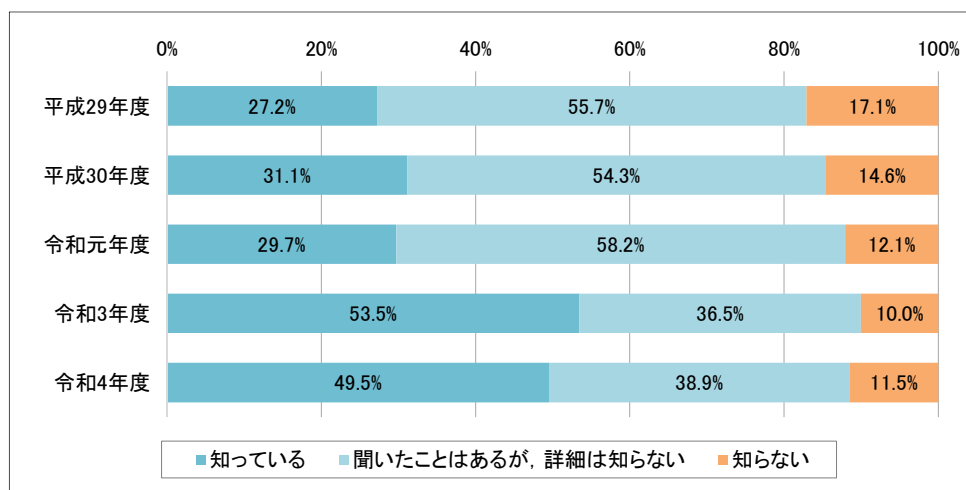
SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
平成 29 年度	回答数	1,498	4,720	3,440	9,658
	割合	15.5%	48.9%	35.6%	100.0%
平成 30 年度	回答数	1,285	3,296	2,158	6,739
	割合	19.1%	48.9%	32.0%	100.0%
令和元年度	回答数	1,126	2,877	1,811	5,814
	割合	19.4%	49.5%	31.1%	100.0%
令和3年度	回答数	2,401	2,721	1,789	6,911
	割合	34.7%	39.4%	25.9%	100.0%
令和4年度	回答数	2,093	2,474	1,547	6,114
	割合	34.2%	40.5%	25.3%	100.0%

イ 女性



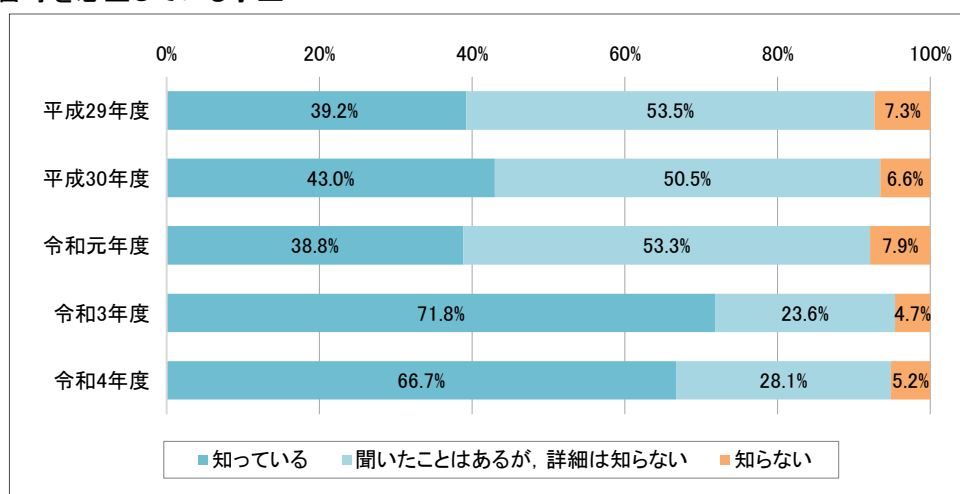
SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
平成 29 年度	回答数	511	1,984	1,462	3,957
	割合	12.9%	50.1%	36.9%	100.0%
平成 30 年度	回答数	458	1,498	963	2,919
	割合	15.7%	51.3%	33.0%	100.0%
令和元年度	回答数	414	1,304	815	2,533
	割合	16.3%	51.5%	32.2%	100.0%
令和3年度	回答数	1,032	1,350	836	3,218
	割合	32.1%	42.0%	26.0%	100.0%
令和4年度	回答数	1,008	1,275	776	3,059
	割合	33.0%	41.7%	25.4%	100.0%

ウ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



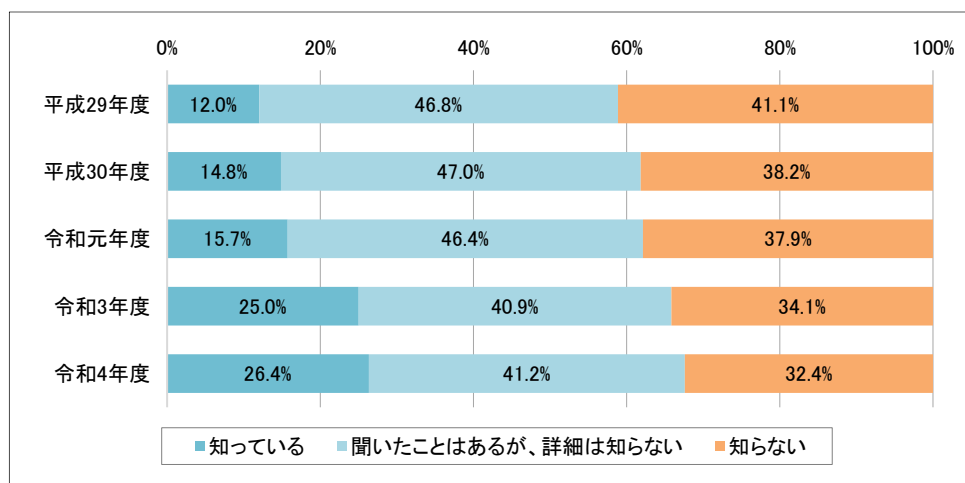
SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
平成 29 年度	回答数	602	1,232	378	2,212
	割合	27.2%	55.7%	17.1%	100.0%
平成 30 年度	回答数	545	951	255	1,751
	割合	31.1%	54.3%	14.6%	100.0%
令和元年度	回答数	450	882	183	1,515
	割合	29.7%	58.2%	12.1%	100.0%
令和3年度	回答数	1,265	864	237	2,366
	割合	53.5%	36.5%	10.0%	100.0%
令和4年度	回答数	1,030	810	240	2,080
	割合	49.5%	38.9%	11.5%	100.0%

エ 法曹等を志望している学生



SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
平成 29 年度	回答数	424	578	79	1,081
	割合	39.2%	53.5%	7.3%	100.0%
平成 30 年度	回答数	379	445	58	882
	割合	43.0%	50.5%	6.6%	100.0%
令和元年度	回答数	334	458	68	860
	割合	38.8%	53.3%	7.9%	100.0%
令和3年度	回答数	710	233	46	989
	割合	71.8%	23.6%	4.7%	100.0%
令和4年度	回答数	569	240	44	853
	割合	66.7%	28.1%	5.2%	100.0%

オ 法曹等を志望していない(選択肢の1つとしても考えていない)学生

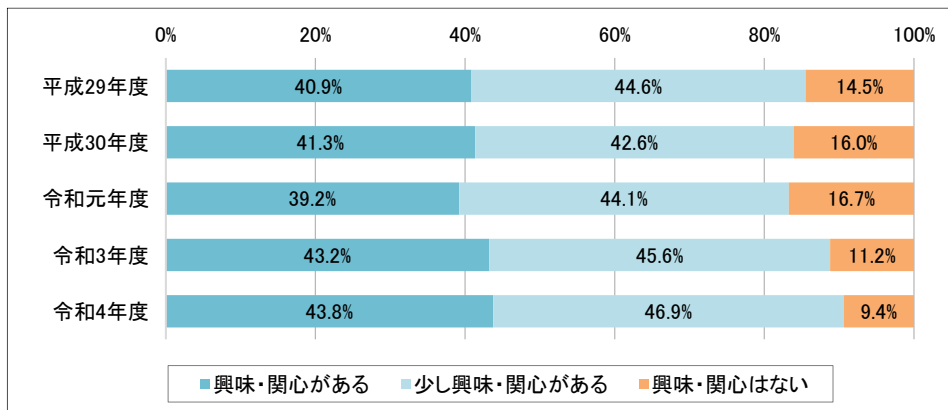


SA	選択肢	知っている	聞いたことはあるが、詳細は知らない	知らない	回答者数
平成 29 年度	回答数	896	3,488	3,062	7,446
	割合	12.0%	46.8%	41.1%	100.0%
平成 30 年度	回答数	740	2,345	1,903	4,988
	割合	14.8%	47.0%	38.2%	100.0%
令和元年度	回答数	676	1,995	1,628	4,299
	割合	15.7%	46.4%	37.9%	100.0%
令和3年度	回答数	1,136	1,857	1,552	4,545
	割合	25.0%	40.9%	34.1%	100.0%
令和4年度	回答数	1,063	1,664	1,307	4,034
	割合	26.4%	41.2%	32.4%	100.0%

2. 拡大領域への関心の有無

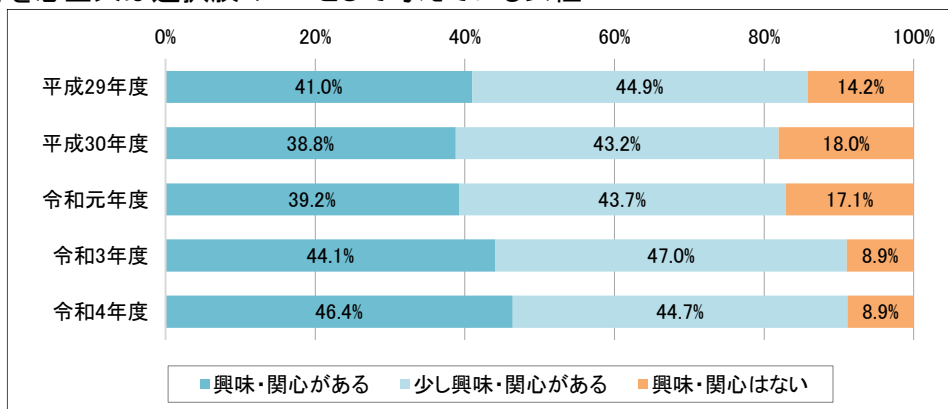
現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生に、将来の進路を考える上で拡大領域で働くことに興味や関心があるかを尋ねた結果、令和4年度調査では約44%の学生が「興味・関心がある」と回答した。「少し興味・関心がある」と回答した学生と合わせると約91%に及んでおり、両回答の割合は平成30年度以降増加傾向にある。女性に限って見た場合もほぼ同様である。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生



SA	選択肢	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
平成 29 年度	回答数	904	987	321	2,212
	割合	40.9%	44.6%	14.5%	100.0%
平成 30 年度	回答数	724	746	281	1,751
	割合	41.3%	42.6%	16.0%	100.0%
令和元年度	回答数	594	668	253	1,515
	割合	39.2%	44.1%	16.7%	100.0%
令和3年度	回答数	1,023	1,078	265	2,366
	割合	43.2%	45.6%	11.2%	100.0%
令和4年度	回答数	910	975	195	2,080
	割合	43.8%	46.9%	9.4%	100.0%

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



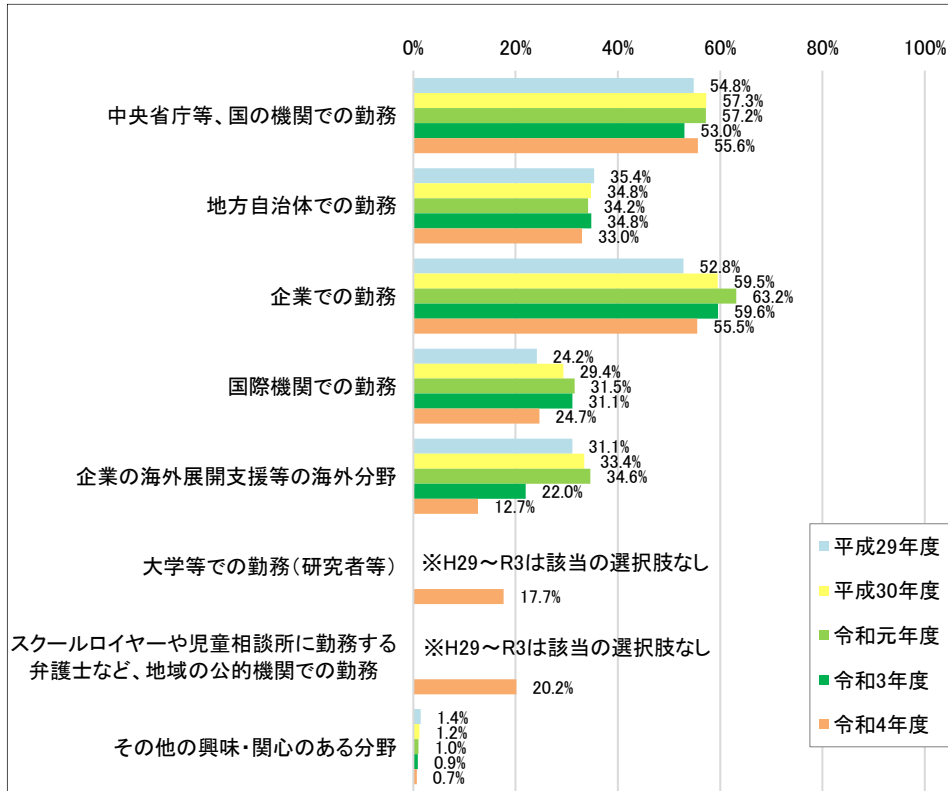
SA	選択肢	興味・関心がある	少し興味・関心がある	興味・関心はない	回答者数
平成 29 年度	回答数	324	355	112	791
	割合	41.0%	44.9%	14.2%	100.0%
平成 30 年度	回答数	258	287	120	665
	割合	38.8%	43.2%	18.0%	100.0%
令和元年度	回答数	227	253	99	579
	割合	39.2%	43.7%	17.1%	100.0%
令和3年度	回答数	449	478	91	1,018
	割合	44.1%	47.0%	8.9%	100.0%
令和4年度	回答数	445	429	85	959
	割合	46.4%	44.7%	8.9%	100.0%

3. 具体的な関心分野

現在法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えており、拡大領域で働くことに興味や関心がある又は少し興味・関心があると回答した学生に、具体的にどのような分野に興味・関心があるかを尋ねた結果、「中央省庁等、国の機関での勤務」、「企業での勤務」が令和4年度調査で約56%とほぼ同水準で高くなっている。「企業での勤務」の回答割合は平成29年度から令和元年度までは増加傾向にあったところ、令和3年度以降は減少傾向となっている。また、「企業の海外展開支援等の海外分野」との回答割合は、令和4年度調査において令和3年度から約9ポイント減少しており、令和元年度をピークに減少傾向が続いている。

女性に限って見た場合にもほぼ同様である。

ア 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている学生

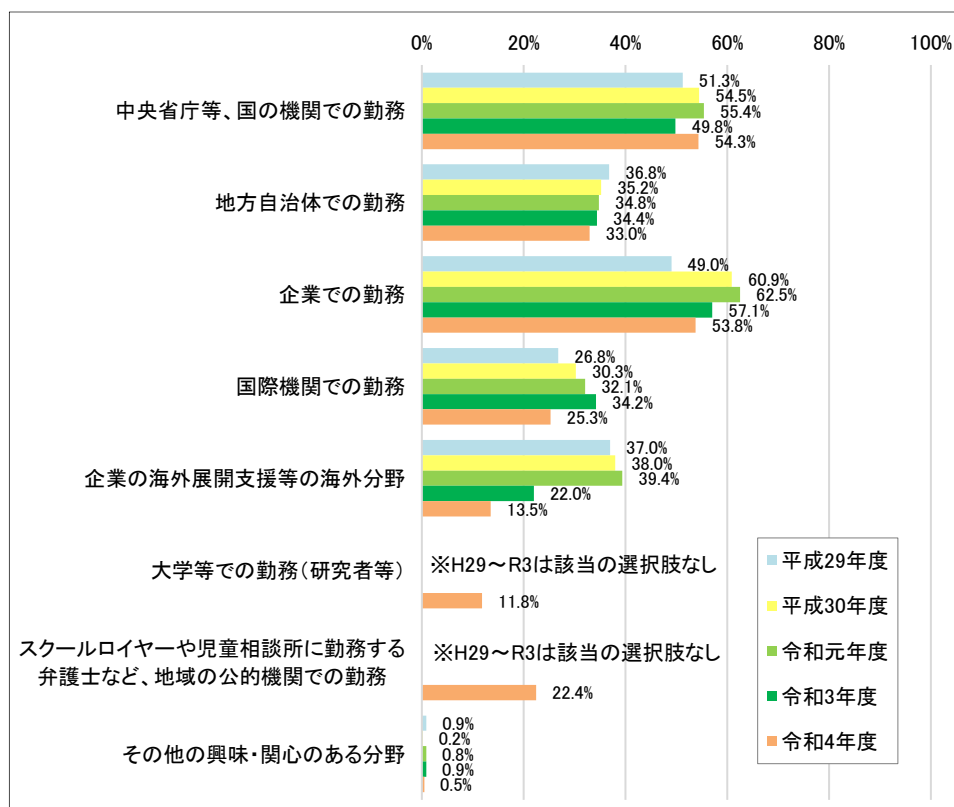


MA	選択肢	中央省庁等、国の機関での勤務	地方自治体での勤務	企業での勤務	国際機関での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	大学等での勤務(研究者等)	スクールロイヤーや児童相談所に勤務する弁護士など、地域の公的機関での勤務	その他の興味・関心のある分野	回答者数
平成29年度	回答数	1,037	669	999	457	588	—	—	27	1,891
	割合	54.8%	35.4%	52.8%	24.2%	31.1%	—	—	1.4%	—
平成30年度	回答数	842	511	875	432	491	—	—	18	1,470
	割合	57.3%	34.8%	59.5%	29.4%	33.4%	—	—	1.2%	—
令和元年度	回答数	722	431	797	398	437	—	—	13	1,262
	割合	57.2%	34.2%	63.2%	31.5%	34.6%	—	—	1.0%	—
令和3年度	回答数	1,114	731	1,253	653	462	—	—	18	2,101
	割合	53.0%	34.8%	59.6%	31.1%	22.0%	—	—	0.9%	—
令和4年度	回答数	1,049	622	1,047	465	239	333	380	13	1,885
	割合	55.6%	33.0%	55.5%	24.7%	12.7%	17.7%	20.2%	0.7%	—

※6番目の選択肢(大学等での勤務)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(地域の公的機関での勤務)は令和4年度調査から新たに設けたもの

イ 法曹等を志望又は選択肢の1つとして考えている女性



MA	選択肢	中央省庁等、国の機関での勤務	地方自治体での勤務	企業での勤務	国際機関での勤務	企業の海外展開支援等の海外分野	大学等での勤務(研究者等)	スクールロイヤーや児童相談所に勤務する弁護士など、地域の公的機関での勤務	その他の興味・関心のある分野	回答者数
平成29年度	回答数	348	250	333	182	251	—	—	6	679
	割合	51.3%	36.8%	49.0%	26.8%	37.0%	—	—	0.9%	—
平成30年度	回答数	297	192	332	165	207	—	—	1	545
	割合	54.5%	35.2%	60.9%	30.3%	38.0%	—	—	0.2%	—
令和元年度	回答数	266	167	300	154	189	—	—	4	480
	割合	55.4%	34.8%	62.5%	32.1%	39.4%	—	—	0.8%	—
令和3年度	回答数	462	319	529	317	204	—	—	8	927
	割合	49.8%	34.4%	57.1%	34.2%	22.0%	—	—	0.9%	—
令和4年度	回答数	475	288	470	221	118	103	196	4	874
	割合	54.3%	33.0%	53.8%	25.3%	13.5%	11.8%	22.4%	0.5%	—

※6番目の選択肢(大学等での勤務)は令和4年度調査から新たに設けたもの

※7番目の選択肢(地域の公的機関での勤務)は令和4年度調査から新たに設けたもの

令和4年度 法学部に在籍されている皆様に対する志望アンケート

法 務 省
文部科学省

※ 法学部（法学系課程を含む。）に在籍されているあなたの法曹志望等についてお聞きします。所要10分程度で終了しますので、御協力をお願いします。

※ 結果については、個人が特定できないように集計した上で、法曹養成制度の充実のために活用させていただきます。

問1 年齢（令和4年9月末日現在）について、以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | |
|---|-------|
| 1 | 18歳以下 |
| 2 | 19歳 |
| 3 | 20歳 |
| 4 | 21歳 |
| 5 | 22歳 |
| 6 | 23歳 |
| 7 | 24歳 |
| 8 | 25歳以上 |

問2 性別について、以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | | |
|---|-------|
| 1 | 男性 |
| 2 | 女性 |
| 3 | その他 |
| 4 | 回答しない |

問3 通学中の大学名、学部、学科と在籍学年を教えてください（学科について、設置されていない場合やまだ選択していない場合は回答不要です。）。

大学名		学部	
学科		学年	(年次)

問4 大学進学の際、法学部（法学系課程を含む。）を選んだ理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- | |
|---|
| 1 法律に興味があったから |
| 2 興味のある授業・コース・学科等があったから |
| 3 法曹志望だから |
| 4 法曹コース（連携法曹基礎課程）ができたから |
| 5 就職に有利だと思ったから |
| 6 公務員試験に有利だと思ったから |
| 7 資格試験に有利だと思ったから |
| 8 法的な考え方や法律の知識を身につけることは、社会人になる上で有用だと思ったから |
| 9 法学部を選んだというよりは、この大学に行きたかったから |
| 10 法学部を選んだというよりは、難易度や入試の方式を優先して選んだ結果 |
| 11 親や教師等の周りの人に勧められたから |
| 12 その他〔具体的に |

]

問5 令和元年の法改正により、大学を早期卒業（3年で卒業）して法科大学院（2年コース）に進学し、法曹を目指す「法曹コース（連携法曹基礎課程）」が創設されました。この「法曹コース（連携法曹基礎課程）」について知っていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | |
|---------------------|
| 1 知っている |
| 2 聞いたことはあるが、詳細は知らない |
| 3 知らない |

問6 将来の職業についてお尋ねします。

(1) 現時点で第一志望として考えている職業は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 国内企業
- 2 外資系企業
- 3 国家公務員
- 4 地方公務員
- 5 教員等教育関係者
- 6 国際機関職員（NGOを含む）
- 7 公益法人・特定非営利活動法人（NPO法人）職員
- 8 法曹等（※）
- 9 法曹以外の隣接法律専門職（司法書士、行政書士、弁理士、税理士、公認会計士など）
- 10 経営者、自営・自由業
- 11 研究者
- 12 その他〔具体的に 〕
- 13 わからない・現時点では決めていない

※ 法曹（裁判官、検察官及び弁護士）だけでなく、司法試験合格後、法曹資格を取得せずに活動する場合を含みます。以下の質問、選択肢についても同じとします。（参考）法曹になるには

法曹になるには、司法試験に合格する必要があります。

司法試験の受験資格を得るためには、法科大学院を修了するほか、経済的事情や実社会で十分な経験を経ているなどの理由により法科大学院を経由しない方のために設けられている司法試験予備試験（以下、「予備試験」という。）（※1）に合格する必要があります。また、改正司法試験法の施行により、令和5年の司法試験から、法科大学院在学中の方であっても一定の要件を満たした場合には司法試験の受験資格が付与されることとなります。

司法試験合格後、1年間の司法修習（※2）を経て裁判官、検察官及び弁護士等として活躍されている方のほか、法曹資格を取得せずに社会で活躍されている方もいます。

（※1）

予備試験とは、法科大学院課程の修了者と同等の学識及びその応用能力並びに法律に関する実務の基礎的素養を有するかどうかを判定することを目的とした試験です。同試験の合格者については、法科大学院修了者等と同様、司法試験の受験資格を得ることができます。

（※2）

司法修習生に対する経済的支援については、平成29年11月に修習を開始した第71期司法修習生から、修習給付金を支給する制度が実施されています（希望者全員に対して修習専念資金（基本額月額10万円、扶養親族を有する場合は月額12.5万円）を無利息で貸与する制度も併存）。

〔修習給付金の額〕

- ・基本給付金（司法修習生に対して一律に支給）
月額13.5万円
- ・住居給付金（住宅を借り受け、家賃を支払っている場合に支給）
月額3.5万円
- ・移転給付金（修習に伴い住所・居所を移転する必要がある場合に支給）
移動距離に応じた額

(2) 将来の職業を選択するに当たって重視することは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- | |
|---|
| 1 自分の興味・関心のある分野で活躍できること |
| 2 身に付けたスキルや専門的知識を生かせること |
| 3 仕事の内容が幅広いこと |
| 4 社会への貢献度が高いこと |
| 5 国際的な分野で活躍できること |
| 6 社会的地位・信用が高いこと |
| 7 高収入が期待できること |
| 8 経済的に安定していること |
| 9 希望する地域で働けること（転勤がないこと） |
| 10 ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現できること（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む） |
| 11 その他〔具体的に |

]

(3) 将来の職業として、法曹等を志望していますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | |
|------------------------------|
| 1 現在、志望している |
| 2 現在、選択肢の1つとして考えている |
| 3 志望していない（選択肢の1つとしても考えていない） |

(4) 問6(3)で「1 現在、志望している」又は「2 現在、選択肢の1つとして考えている」と答えた方にお聞きします。

大学を早期卒業（3年で卒業）して法科大学院（2年コース）に進学し、法曹を目指す「法曹コース（連携法曹基礎課程）」が創設されたことや、令和5年度から法科大学院在学中に司法試験を受験することができるようになることは、将来の職業として法曹等を志望する上で考慮しましたか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください

- | |
|-------------------|
| 1 大いに考慮した |
| 2 多少考慮した |
| 3 全く考慮しなかった |
| 4 わからない、各改正を知らない |

問7 現在、法曹等の活躍の場は、国内の裁判分野にとどまらず様々な分野へと広がっています。例えば、国や地方自治体の公務員となる者や、企業に就職する者、国際機関で活動する者など、その専門性を生かして多様な分野で活躍する法曹等が増えています。このような法曹等の活動領域の広がりについて知っていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、詳細は知らない
- 3 知らない

《以下、法曹を志望又は選択肢の1つとして考えている学生への質問》

以下、問6(3)で「1 現在、志望している」又は「2 現在、選択肢の1つとして考えている」と答えた方にお聞きます。

問8 法曹等を志望した(将来の選択肢の1つとして考えるようになった)のはいつ頃ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 中学生以前
- 2 高校生になってから
- 3 大学生になってから
- 4 その他〔具体的に

〕

問9 法曹等を志望した(将来の選択肢の1つとして考えるようになった)きっかけは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- 1 法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから
- 2 社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから
- 3 基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから
- 4 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから
- 5 テレビやドラマ、インターネット(Youtube等)、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから
- 6 学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから
- 7 法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから
- 8 親や教師等の周りの人に勧められたから
- 9 周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関心を持ったから
- 10 周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している(いた)から

- | | |
|-------------|---|
| 11 その他〔具体的に |] |
| 12 特になし | |

問 10 法曹等の仕事のどんなところに魅力を感じますか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- | | |
|---|---|
| 1 仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ | |
| 2 法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ | |
| 3 社会的弱者や困っている人を助けることができるところ | |
| 4 基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ | |
| 5 国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ | |
| 6 社会的地位・信用が高いところ | |
| 7 高収入が期待できるところ | |
| 8 経済的に安定しているところ | |
| 9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現できるところ（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む） | |
| 10 その他〔具体的に |] |
| 11 特になし | |

問 11 法曹等として、どのような進路を考えていますか。

以下の選択肢から、当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- | | |
|---------------|---|
| 1 裁判官 | |
| 2 検察官 | |
| 3 弁護士 | |
| 4 その他〔具体的に |] |
| 5 現時点では決めていない | |

問 12 将来の進路を考える上で、法曹等として、国や地方自治体、企業、国際機関などで働くことに興味や関心はありますか。

以下の選択肢から、当てはまるものを 1 つ選んでお答えください。

- | |
|-----------------------|
| 1 興味・関心がある（→問 13 へ） |
| 2 少し興味・関心がある（→問 13 へ） |
| 3 興味・関心はない（→問 14 へ） |

問 13 問 12 で「1 興味・関心がある」又は「2 少し興味・関心がある」を選択した方にお聞きします。

具体的に、どのような分野で働くことに興味・関心がありますか。

以下の選択肢から、当てはまるものを全て選んでお答えください(複数回答可)。

- | |
|--|
| 1 中央省庁等、国の機関での勤務 |
| 2 地方自治体での勤務 |
| 3 企業での勤務 |
| 4 国際機関での勤務 |
| 5 企業の海外展開支援等の海外分野 |
| 6 大学等での勤務(研究者等) |
| 7 スクールロイヤーや児童相談所に勤務する弁護士など、地域の公的機関での勤務 |
| 8 その他の興味・関心のある分野[具体的に] |

問 14 法曹等を志望するに当たって、現在、不安や迷いを感じていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | |
|---------------------------|
| 1 不安や迷いを感じている (→問 15 へ) |
| 2 少し不安や迷いを感じている (→問 15 へ) |
| 3 不安や迷いを感じていない (→問 16 へ) |

問 15 問 14 で「1 不安や迷いを感じている」又は「2 少し不安や迷いを感じている」を選択した方にお聞きします。

(1) あなたが法曹等を志望するに当たって感じている不安や迷いは何ですか。

以下の選択肢から当てはまる番号を3つまで選び、不安や迷いの大きい順に1位から3位まで順位を付けてお答えください(1位のみ、2位まででも可)。

- | |
|--|
| 1 他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)にも魅力を感じている |
| 2 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すことに迷いがある |
| 3 自分に法曹等としての適性があるか分からない |
| 4 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対している |
| 5 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がない |
| 6 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならない、負担が大きい |
| 7 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学し |

ても司法試験に合格できるか不安である

- 8 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きい
- 9 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きい
- 10 司法修習期間中の生計面に不安がある
- 11 司法試験に合格できても、就職できるか分からない
- 12 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安がある
- 13 法曹には激務というイメージがあり、ワークライフバランスに不安がある
- 14 その他〔具体的に

〕

1位 2位 3位

(2) あなたが感じている不安や迷いを軽減、払拭するために、あったらよいと思うものは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- 1 法曹等としての具体的な業務内容や待遇などについて、現役の法曹等の話を聞く機会
- 2 法科大学院での学修や司法試験対策などについて、法科大学院の在學生や修了者の話を聞く機会
- 3 法科大学院における、より充実した学修面でのサポート
- 4 法科大学院における、奨学金等のより充実した経済的支援
- 5 法科大学院における、進路指導や就職支援
- 6 司法試験に合格しなかった者の就職状況等に関する情報の提供
- 7 その他〔具体的に

〕

問16 現在、法曹コース（連携法曹基礎課程）（※）に在籍していますか。また、これからコース選択の時期を迎える方は、法曹コースに進みたいと考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

※ 大学によっては法曹コース定員を定めていなかったり、コース登録や選抜がなかったりしますが、法科大学院への進学に向けて体系的に編成されたプログラムを受講している方は「1 在籍している」を選択してください。

- 1 法曹コースに在籍している、又は、今後、法曹コースに進みたいと考えている（→問17へ）
- 2 法曹コースに在籍しておらず、今後進むことも考えていない（→問18へ）
- 3 わからない・現時点では決めていない（→問19へ）

問 17 問 16 で「1 法曹コースに在籍している、又は、今後、法曹コースに進みたいと考えている」と回答した方にお聞きします。

(1) 法曹コースを希望した理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- | |
|--|
| 1 早期卒業が可能で、法科大学院修了までの期間が短縮されるから |
| 2 早期卒業が可能で、経済的負担が軽減されたから |
| 3 大学生の時点で、法曹等になることを視野に入れた教育が受けられるから |
| 4 連携先の法科大学院に進学できる特別選抜制度があるから |
| 5 同じ法曹等を目指す学生と切磋琢磨して勉強できる環境だから |
| 6 法曹コースの学生に向けた特別な授業（法科大学院での科目等履修を除く。）があるから |
| 7 親や教師等の周りの人に勧められたから |
| 8 その他〔具体的に |

]

(2) 法科大学院への進学について、現時点でどのように考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | |
|-----------------------------|
| 1 現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する |
| 2 上記1以外の法科大学院に進む |
| 3 進学するつもりはない |
| 4 わからない・現時点では決めていない |
| 5 その他〔具体的に |

]

問 18 問 16 で「2 法曹コースに在籍しておらず、今後進むことも考えていない」と回答した方にお聞きします。

(1) 法曹コースを希望しない理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- | |
|---|
| 1 現時点で将来の職業志望が固まっていないから |
| 2 学習についていけるか不安だから |
| 3 在籍・希望していたが、選抜に漏れたから |
| 4 制度開始時期により、法曹コースを選択することができなかったから |
| 5 法曹コースを知らなかったから |
| 6 3年生での早期卒業に魅力やメリットを感じなかったから |
| 7 他の分野の学修やサークル活動なども含め、4年間の大学生活を充実させたいから |
| 8 予備試験の合格を目指している、又は予備試験に合格したから |
| 9 その他〔具体的に |

]

(2) 法科大学院への進学について、現時点でどのように考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 進学するつもりである
- 2 進学するつもりはない
- 3 わからない・現時点では決めていない

問 19 問 16 で「3 わからない・現時点では決めていない」と回答した方にお聞きします。

法科大学院への進学について、現時点でどのように考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 進学するつもりである
- 2 進学するつもりはない
- 3 わからない・現時点では決めていない

問 20 問 17(2)で「1 現在通学している大学の連携先の法科大学院に進学する」若しくは「2 上記1以外の法科大学院に進む」と回答した方、問 18(2)で「1 進学するつもりである」と回答した方、又は問 19 で「1 進学するつもりである」と回答した方にお聞きします。

あなたが進学する法科大学院を選択する時に重視することは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを3つまで選び、重視する順に1位から3位まで順位をつけてお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- 1 大学としての知名度が高いこと
- 2 法科大学院修了生の司法試験合格率が高いこと
- 3 法科大学院修了生の司法試験合格者が多いこと
- 4 法科大学院における学修環境や大学の設備が充実していること
- 5 奨学金などの経済的支援制度が充実していること
- 6 著名な研究者教員が在籍していること
- 7 実務家教員による実務教育科目や専門的な法律科目が充実していること
- 8 現在の住居や実家等から地理的に近いこと
- 9 現在在籍している大学の法科大学院であること
- 10 就職したい地域に立地している法科大学院であること
- 11 大学の友人・先輩等が多く在籍していること
- 12 入学試験の難易度
- 13 その他〔具体的に 〕

1 位 2 位 3 位

問 21 令和5年度から法科大学院在学中に司法試験を受験（以下「在学中受験」といいます。）することができるようになります。現時点で、在学中受験することを考えていますか。

※在学中受験資格は、法科大学院の課程に在学中であっても一定の要件を満たす者に付与される受験資格です。法科大学院2年次（未修者コース2年目、既修者コース1年目）までに所定科目単位を修得し、3年次に司法試験を受験することが想定されています。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | |
|------------------------------|
| 1 受験することを考えている（→問 22 へ） |
| 2 受験することは考えていない（→問 23 へ） |
| 3 わからない・現時点では決めていない（→問 24 へ） |

問 22 問 21 で「1 受験することを考えている」と回答した方にお聞きします。

在学中受験を希望する理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- | |
|---|
| 1 法曹になるまでの期間を短縮したいから |
| 2 法曹になるまでの経済的負担を軽減したいから |
| 3 少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから |
| 4 少しでも早く合格した方が就職に有利だと思うから |
| 5 在学中の方が効率よく受験勉強できると思うから |
| 6 仮に合格できなくても、司法試験に合格するための力を付けるのに役立つと思うから |
| 7 法科大学院3年後期は、興味のある専門分野等の学修に力を入れたいから |
| 8 周りの友人や先輩等が在学中受験を予定しているから |
| 9 その他〔具体的に] |

問 23 問 21 で「2 受験することは考えていない」と回答した方にお聞きします。

在学中受験を希望しない理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- | |
|---|
| 1 在学中に司法試験に合格する自信がないから |
| 2 在学中受験に必要な所定科目単位を修得することが困難だから |
| 3 在学中受験に必要な学長認定を受けられる自信がないから |
| 4 在学中に受験科目以外の科目についても、時間をかけて学修したいから |
| 5 予備試験合格資格による司法試験受験を希望しているから |
| 6 その他〔具体的に] |

問 24 予備試験について、現時点で、大学在学中に予備試験を受験することを予定していますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | |
|-------------------------|
| 1 受験するつもりである（受験したことがある） |
| 2 受験するつもりはない |
| 3 わからない・現時点では決めていない |

問 25 問 24 で「1 受験するつもりである（受験したことがある）」と回答した方にお聞きします。

(1) 大学在学中に予備試験を受験した、又は受験しようとする理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを3つまで選び、要因の強い順に1位から3位まで順位を付けて番号でお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

- | |
|---|
| 1 経済的余裕がなく法科大学院に進学できないから |
| 2 経済的に法科大学院に進学することは不可能ではないが、経済的負担を少しでも軽減したいから |
| 3 少しでも早く法曹資格を取得し、実務に就きたいから |
| 4 法曹等になるためには、必ずしも法科大学院で学ぶ必要はないと考えているから |
| 5 司法試験に合格するためには、法科大学院で学ぶよりも、予備試験対策を行う方が効率的であると考えているから |
| 6 法科大学院で学んだとしても、司法試験に合格できるか不安があるから |
| 7 自分に適性があるか見極めたり、実力を試したり、法律の知識を身に付けるのに役立つと考えているから |
| 8 予備試験に合格しておいた方が就職等の面で有利であると考えているから |
| 9 仮に合格できなくても、より良い法科大学院に進学するための力を付けるのに役立つと考えているから |
| 10 周りの友人や先輩等が予備試験を受験している（いた）から |
| 11 その他 [具体的に |
|] |

1 位 2 位 3 位

(2) 大学在学中に予備試験に合格した場合、法科大学院に進学する予定はありますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | |
|----------------------|
| 1 進学するつもりである |
| 2 どちらかというと進学する可能性が高い |

- 3 どちらかというに進学する可能性は低い
- 4 進学しないつもりである
- 5 わからない・現時点では決めていない

(3) 大学を卒業できる年次（3年次又は4年次）までに予備試験に合格しなかった場合、どのような進路を考えていますか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- 1 学部を卒業して、すぐに法科大学院に進学する
- 2 すぐに法科大学院には進学せず、学部を卒業するか、留年又は早期卒業を取りやめて学部に残り、予備試験を受験し、その結果を踏まえてその後の進路を検討する
- 3 法科大学院には進学せず、予備試験に合格するまで受験を継続する
- 4 法曹等への道を諦め、進路変更（国家公務員、民間企業等）する
- 5 わからない・現時点では決めていない

問 26 学部在学中に司法試験予備校を利用したことがありますか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- 1 現在、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用している
- 2 過去に、司法試験予備校が開講する講義・講座を利用したことがある
- 3 司法試験予備校が実施する模試を利用したことがある
- 4 利用したことはない

《以下、法曹を志望していない（選択肢の1つとしても考えていない）学生への質問》

以下、問6(3)で「3 志望していない（選択肢の1つとしても考えていない）」と答えた方にお聞きします。

問27 これまでに法曹等を志望したことはありますか。

当てはまるものを選んでお答えください。

- | |
|--|
| 1 以前、志望していた、又は、選択肢の1つとして考えたことがあった
(→問28へ) |
| 2 志望したことはない (→問29へ) |

問28 問27で「1 以前、志望していた、又は、選択肢の1つとして考えたことがあった」を選択した方にお聞きします。

(1) 法曹等を志望した（将来の選択肢の1つとして考えるようになった）のはいつ頃ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください。

- | |
|-------------|
| 1 中学生以前 |
| 2 高校生になってから |
| 3 大学生になってから |
| 4 その他〔具体的に |

〕

(2) 法曹等を志望した（将来の選択肢の1つとして考えるようになった）きっかけは何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- | |
|--|
| 1 法律に興味があり、法律に関する専門的知識を使った仕事をしたいと思ったから |
| 2 社会的弱者や困っている人を助けるなど、人に役立つ仕事をしたいと思ったから |
| 3 基本的人権の擁護や社会正義の実現に興味や関心を持ったから |
| 4 国際的な分野も含め、多様な分野で活躍できると思ったから |
| 5 テレビやドラマ、インターネット（YouTube等）、書籍等を見て法曹等に憧れを持ったから |
| 6 学校等で法曹等の講演を聞いたり出前授業を受けたりするなどして、興味や関心を持ったから |
| 7 法廷傍聴や法曹関係者が主催するイベントに参加し、興味関心を持ったから |
| 8 親や教師等の周りの人に勧められたから |
| 9 周り又は身内にいる法曹等の話を聞いたり、その姿を見たりして、興味や関 |

心を持ったから

10 周りの友人や先輩等が司法試験や司法試験予備試験を受験している（いた）から

11 その他〔具体的に〕

12 特になし

(3) 法曹等の仕事のどんなところに魅力を感じていましたか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

1 仕事の内容に多くの選択肢があり、自由度が高いところ

2 法律に関する専門的知識を使った仕事ができるところ

3 社会的弱者や困っている人を助けることができるところ

4 基本的人権の擁護や社会正義の実現に寄与できるところ

5 国際的な分野も含め、活躍できる分野が広がっているところ

6 社会的地位・信用が高いところ

7 高収入が期待できるところ

8 経済的に安定しているところ

9 働き方に多くの選択肢があり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現できるところ（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む）

10 その他〔具体的に〕

11 特になし

(4) 大学を早期卒業（3年で卒業）して法科大学院（2年コース）に進学し、法曹を目指す「法曹コース（連携法曹基礎課程）」が創設されたことや、令和5年度から法科大学院在学中に司法試験を受験することができるようになることは、将来の職業として法曹等を志望した際に考慮しましたか。

以下の選択肢から当てはまるものを1つ選んでお答えください

1 大いに考慮した

2 多少考慮した

3 全く考慮しなかった

4 わからない、各改正を知らない。

(5) あなたが法曹志望を断念した（選択肢から外した）理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを3つまで選び、要因の強い順に1位から3位まで順位を付けてお答えください（1位のみ、2位まででも可）。

1 他の進路（例えば、国家公務員、民間企業や研究職等）に魅力を感じたから

2 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指すこ

とに迷いがあったから

- 3 自分に法曹等としての適性があるとは思えなかったから
- 4 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対したから
- 5 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がなくなったから
- 6 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから
- 7 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思ったから
- 8 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから
- 9 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから
- 10 大学在学中に司法試験予備試験に合格できなかったから
- 11 司法修習期間中の生計面に不安があるから
- 12 司法試験に合格できても、就職できるか分からないから
- 13 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じたから
- 14 その他〔具体的に

〕

1 位

2 位

3 位

問 29 問 27 で「2 志望したことはない」と答えた方にお聞きます。

あなたが法曹等を志望しない(選択肢の1つとしても考えない)理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを3つまで選び、要因の強い順に1位から3位まで順位を付けてお答えください(1位のみ、2位まででも可)。

- 1 他の進路(例えば、国家公務員、民間企業や研究職等)に魅力を感じているから
- 2 法曹等の仕事に魅力を感じないから
- 3 民間企業の就職状況が良いので、民間企業に就職せずに法曹等を目指す必要を感じないから
- 4 自分に法曹等としての適性があるとは思えないから
- 5 保護者等の周囲の者が法曹等を志望することに反対しているから
- 6 司法試験に合格できるか、自分の能力に自信がないから
- 7 司法試験の受験資格を得るまでに複数の試験を受けなければならず、負担が大きいから
- 8 法科大学院修了者の司法試験合格率が全体として低く、法科大学院に進学しても司法試験に合格できないと思うから
- 9 大学卒業後法科大学院修了までに2～3年の期間を要し、時間的負担が大きいから
- 10 大学卒業後法科大学院修了までの経済的な負担が大きいから
- 11 司法修習期間中の生計面に不安があるから

- 12 司法試験に合格できても、就職できるか分からないから
- 13 司法試験に合格できても、就職後の収入面に不安を感じているから
- 14 その他〔具体的に

〕

1 位 2 位 3 位

問 30 問 29 で「2 法曹等の仕事に魅力を感じないから」を選択した方にお聞きます。

あなたが法曹等の仕事に魅力を感じない理由は何ですか。

以下の選択肢から当てはまるものを全て選んでお答えください（複数回答可）。

- 1 訴訟対応が仕事の中心で活躍の場が限られている仕事だと思うから
- 2 社会に大きく貢献することができる仕事と思えないから
- 3 国際的な活躍をすることが難しい仕事だと思うから
- 4 社会的地位・信用が低下していると思うから
- 5 高収入が期待できないと思うから
- 6 経済的に安定していないと思うから
- 7 ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の実現（結婚、出産や育児等のライフイベントに有利であることを含む）が困難であると思うから
- 8 体力的・精神的に負担が大きい仕事だと思うから
- 9 その他〔具体的に

〕